

# や

…や【助動詞】 1) だ。である。や。接尾語。上代語。状態を表す。造語要素についてそうゆう感じで有る事を表す。(志(鶴方、神明、立神、志島、国府)、阿)  
2) 終助詞。文末に有って動詞及び動詞形、助動詞の活用形について、命令、勧誘、希望、表現などに用いられ、話し手がその事態の実現を望むと言う気持ちを表す“行こや”。3) 軽く言い放つよおな気持ち、又ははなげやりの気持ちを表す。4) 文末に有って、らに代わる。走ったや、泣いたや [会話] ② くれや (下さい) とか 後言に “や” を使うのなあ (のです)。

やあ【矢】【名詞】 木や石を割る時に用いるくさび(楔)。矢に同じ。やの二拍化した語。(志(布施田)、三、鈴、鈴市、一、松、多、阿、張、名、伊、北、尾) [会話] きい (木) 割る時に、割り木 (薪) やなんか (など)。かね (金属) のヤア (矢) と、きい (木) のヤアと有って。あれすると パアンと割れんね (割れるのです)。あれ かけや (大きな槌) で、どづかな (叩かなければ) はざん (駄目です)。木のかったい (堅い) 樗とか、やいこい (柔かな) 木は はざんの (駄目なのです)。金のヤアは 此の位 (十五〜二十糎) よき (斧) のはあ (刃) 位より 出来やせんやんない (出来ないでしょう)。木のヤアや (だ) 言うとおつきい (大きい) のおな (のが) こしゃえて (作って) 有って 金のヤアで 突いといて (ておいて) 口な (が) あいたとこ (所) そのおつきい のおで (ので) どづく (強く打つ) と。ふし (節) の有る木は そげん (そんなに) せな (しなければ) 割れやせん の (割れないのです)。ちっちゃい (小さい) ヤアでは 口な (が) よけあかせん (あまり開かないのです) ふし で 瘤な (が) ついとんの (付いて居るのを) 割る時や (は) 弱んねてや (困るのです)。まつもと すぎうらか 言うて 松のもと (根本) や 杉のうら (梢) を 割るよおん (に) になると ふしばっかで (ばかりで) どいらい (大変) 割りのくいんやんかい (ぬくいのです)。金のヤアだけでは 割られやせん の (割れないのです) そして 金のヤアで 口開けて いて 木のおつきいのおで (大きいので)。

やあ【矢】【名詞】 矢。武器の一つ。弓につがえて射るもの。(志、三、鈴、鈴市、一、松、多、阿、張、名、伊、北、尾)

やあ【名詞】 綱につける錘

やあ【名詞】 はち。八。やの長音化した語。数を数える時に使用。[会話] ひいや (一) ふうや (二) みいや (三) よおや (四) いつ (五) むや (六) なに (七) ヤア (八) こな (九) とお (十) 言うて。なな ヤア ここ (九) とお 言うて。どんつばき (お年玉) すんのん (するの)に ひいや ふうや みいや よおや 言うて、皆 下い やあつて。

やあ【感動詞】 1) 相手に聞き返す時の言葉。(志(立神)、鳥(神島)、張) 2) 相手に呼びかける時の言葉。(志) [会話] ② たま (久し振り) に逢うとなあ お おて (逢って) 挨拶すんのん (するの)に、ヤア 言うてなあ。おなご (女) やったら (だったら) これ、言うんけど (言うのだが) 男の人ら ヤア 言うやんかなあ (言います)。相手ん (に) 挨拶すんのん 今日は言や (言えば) ええよおな (よいよな) もんや けど (もののだが) ヤア、言うてな、気安い人ん (に) 心安い人をなあ。

やあい【感動詞】 人を呼びかける時に用いる。大声で遠くに居る場所に多く用いられる。相手に対し、強く言い放つ時に用いる。親しみや軽蔑の意を込めて言う場合に多く用いられる。ヤイの長音化(広辞苑)(志(布施田)) [会話] ヤアイ おんのかい (居ますか) 言うて、したしもん (親しい者) に 会うと、やい (やあ) 会わんと (ずに) おってなあ (居た) 言うて、やい 言うて 先い (へ) 言うといて (ておいて)。呼び掛ける時ん (に) ヤアイ お前 (貴方) 何処い (へ) 行くねどい (行くのですか) 言うて。今し (今) で言うとおおい 言うて 呼ぶのを、ヤアイ 言うて したし人に 言う時ん (に) ヤアイ 言う言葉なあ (です)。そして (そうして) ちよいと (少し) きづかいな (気を使う) よおな人にや (には) “これ” 言うし。きづかいな人 言うのは、えんりよ (遠慮) する 目上の人とか あんまり (あまり) ちやあちやあと言わん (言わない) 人んなあ (にです)。  
…やあか …か知らん。かも。死ぬヤアカ知らん。(志(布施田)) [会話] そおヤアカ 言うて 疑うよおな言葉。人 待つとて (て居て)、おっそおて (遅くて) やがてくられ (来る) 言う時ん (に) そおヤアカノオ (そうだろうか) 言う時や (は) 疑いな (が)、来るか、来んか (来ないか) 判らんよおなのおなあ (のを)。来るヤカノオ (来るでしょうか) とか言う

て ちよいと (少し) 疑いしん (心) な (が) 有る時 ん (に)。

**やあが** でしょう。ですね。そうヤアガ (志)

**やあかな** 1) ですか。2) です。(志) [会話] 1) そおヤアカナア、疑う時ん (に) なあ (です)。ほんと (本当) ヤカナ 嘘ヤカナ (だろうか) 思う時 そおヤアカナア 人な (が) わざ (悪事) して すんの (するのを) ほんとヤアカナ そや (それは) 言うて。うたごどる (疑っている) 時んなあ (に) 嘘やかな、ほんとやかなあ 言うてな。嘘やか (だか) ほんとやか か 知らんけど (知らないが) こげん (こんなに) 人ら 言うけど (けれど)、ほんとんえ (本当ですか) 言うたり そおヤアカナア 言うたり。

**やあがな** でしょう。だね。(志)

**やあかのお** でしょうか、疑問を表す、やあか参照

**やあさん**【名詞】 やくざ者

…**やあし** です。[会話] それヤシなあ 言うてな、そおヤシな 言うたりな。どげで (どんなので) こげで (こんなので) 言うて それもそおやなあ (です) そおヤシなあ 言うてな。

**やあつき**【名詞】 妊娠八ヶ月。[会話] 妊娠のヤアツキ。ヤアツキめ 言うて 妊娠八ヶ月。

**やあつぎご**【名詞】 妊娠八ヶ月目で生れた子供。

**やあとお** (やあとう)【名詞】 剣術。剣道。[会話] けんじつ (剣術) しとると (していると) ヤアトオ しとんない (している) 言うて。

**やあとこせ**【感動詞】 祝宴。祝宴の時、やあとこせ (伊勢音頭) の囃しのある事から転じて。盆踊歌の囃 [会話] 盆の囃。ヤアトコセエ 言うて、くどきの囃 ヤアトコセエとか、やととまかせとか。ヤアトコセエ よおいやなあ 伊勢音頭やよって (だから) ええ (よい) 時も 使うわい (使います)。

**やあひき**【名詞】 網の重りを引き揚げ人。

**やあめた** 止めた。

**やあやあ**【感動詞】【副詞】 1) 一心に、せっせと。

2) やかましく言うさま。

**やあやあいごく** 一心に働く。

**やあやあゆう** 激しく責めたてる。やいのやいの。

**やあらかい** 柔かい。(三、鈴市、松、伊)

**やあらぐ** やわらぐ。痛みなどが少なくなる。雨や風が弱くなる。(桑郡)

**やあらし** 嫌らしい。

**やあれ** です。だ。(度) [会話] こや (これは) なん (何) ヤアレ、かあ ヤアレ 言うて。何々です 言

うの (のを) こや なつと (なんと) 言う芋どい (ですか) 言うて こげな (こんな) 芋を さつま芋 言うね (言うの) ヤアレ 言うたりな。ぜんこじ芋言うねヤレ 言うてな、そいな (そんな) 時 ヤアレ 言うてな これは芋です 言うのを、芋ヤアレ 言う。

**やあわり** (やあはり)【副詞】 物静かに。柔らかく。

(志 (布施田)) [会話] 猫なで声や (だ) 言うて ヤアワリ 撫でるよん (ように) 言うとる (言っている) 人な (が) 有るわい (有ります)。

**やい**【感動詞】 呼びかけたり、はやしたりする時に用いる。親しみや、さげすみなどの意を込めて言う場合が多い。相手に対し強く言い放つ時に用いる。(志 (波切、片田、布施田、甲賀)、鳥 (答志)、三、津、一、久、松) [会話] ヤイ 言うて、子供らな (が) わるさ (悪戯) したり しとる (して居る) 時に、怒る言葉で こら ヤイ なとしとんねど (何をして居るか) そいなどこで (そんな所で) わり (悪い) 事 すんなよお (するな) 言うて。怒る時の言葉や (です)。

…**やい**【副詞】 人名の下につけて、様よのよを表す。よい、とも

…**やい** あい。動詞の後についてその動作を争うて居る事を示す。走りヤイ。なぐりヤイ。(多) [会話] 走りヤイとか 泣きヤイとか。おおた 走りヤイしてなあ 言うてな。その時 ヤイ言うのは 競争やなあ (です)。泣きヤイヤ (だ) 言うて、較ベヤイしよおや (しましよう) 言うて 競争しよおや 言う事やなあ (です)。較べつこしよおや 言うの 較ベヤイしよおや (しましよう) 言うて。飯、食いヤイしよおや、だな (誰が) 一番よお (よく) 食うか (食べるか) 言うて。

…**やい**【接尾語】 動詞の後ろについて否定を表す、だなるヤイ (誰がするものか)

**やいき**【名詞】 元気。威勢。勢い。精力。(志 (浜島、布施田、神明、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥 (鳥羽)、南、熊) [会話] ヤイキな (が) ええなあ (よい)、勢いな (が) ええと (よいと)、あやれ (あれ) 赤裸 (すっぱだか、丸裸) で あの ヤイキ 見よまあ (見なさい) てやら (とか)、肌のぎか (脱ぎかけて) あの ヤイキ 見よまあてやら 言うて 勢いな (が) ええ時ん (よい時に) ヤイキや (だ) 言うて、元気な (が) ええ (よい)。

**やいきづける** 元気づける。励ます。[会話] せえ入れたらな (元気づけてやらなければ) 言うてだ、ヤイキツケンのを 言うんやろなあ (言うのでしよう)

**やいこい【形容詞】** 1) 軟らかい。柔らかい。(志(浜島、御座、布施田、片田、畔名)) 2) 男にだらしない。淫らである。[会話] 1) ヤイコイ おた (おゝ、感動詞) こや (これは) ヤイコオテ (柔らかくて) 美味いねなあ (のだ) とか、飯もヤイコオテ おかい (粥) やれ (だ) たらなあ (とかです)。なんでもヤイコイもん (物) を。此のたか (蛸は) どいらい (大変) ヤイコイなあ 言うたり、此のたか (蛸は) うですぎ (茹で過ぎ) かして (と思えて) かったい (固い) われ (です) 言うたり。柔らかい 言うの (のを) ヤイコイ 言うのなあ (のです)。ヤグイ とは 又 感じな 違うの (のです)。やぐい 言うの (のは) 弱いよおなのおを (のを) やぐい 言うのなあ (のです)。きい (木) でも ほっそい (細い) のおな (のが) 登って 曲がるよおなのおを (のを) やぐいなあ (です) こや (これは) 曲がって やぐうて 危ないわれ (です) 言うて。

**やいこもんづくし** やわらかずくめ参照 1) 絹織物などで身を包む事。2) 食べ物が柔らかい物のみである事。

**やいと【名詞】** 灸。焼き所の転。やきと(焼処)の転(志(甲賀、立神)、鳥、桑市、員、鈴市、安、津、松、多、阿、張、名、北、尾、南)[会話] “ヤイト据えるも、あなばち (新鉢、処女) 割るも、末の為やと思やこそ。”ヤイト あたとおて (熱くて) こいな (こんな) あたたいもん (物) なんの 因果やかなあ (だろう) おもて (思つて)。病気な (が) なおや (治れば) あたたいのも しんぼ (辛抱) せな (しなければ) おもて そげんして (そんなにして)、昔の人らおなご (女) と男の仕事も それん (に) 例えて 先の為やと 思やこそ 言うて。

**やいと【名詞】** 魚。すま。サハ科の海魚全長1mに達す。カツオに似て居るが体側に縞模様は無い。胸鰭の下に灸の跡の様な黒斑が数ヶ有るので、やいとの名が有る。肉は刺身にして美味。(志、鳥、熊)

**やいとすえる** 1) 灸を焼く。(四、安、鈴市、多、阿、尾、北、南) 2) 叱る。折檻する。[会話] 1) やいと、灸の事なあ (です)。2) わり (悪い) 事したら ヤイト スエタンネド (てやるのだ) 言うて、子供らをなあ、おこんのんなあ (怒るのに)、おのれ やいとやどお (だぞ) 言うてな。ヤイトスエル 言うのは 灸すえる言うのと 2) 叱る 言うのと やいとやどお 言うて ものすごお (物凄く) 腹の立つると時んなあ (に)。

**やいとやかれた** 1) 灸すえられた。2) 叱られた。

[会話] 1) 灸すえられる事をなあ 2) わるわれて (叱られて) ヤイトヤカレタ 言うねよってなあ (言うのだから)。

**やいとやく** 1) 灸をすえる。2) 叱る。[会話] 1) 灸すえる 言うのを ヤイトヤク 言うね (言うのです)。灸すえたんどお (てやるぞ) 言うのを、ヤイトヤイトンドオ 言うてな。

…**やいな【接尾語】** のでしょうか。なつとするヤイナ。[会話] なと (なんと) するヤイナ。こやなあ (これは) なつとも (なんとも) かつとも (かとも) 出来やせん (ない) やんかあ (でないか) 言うてな。しのくい (しにくい) 事な (が) 有るとなあ こや まあなんも (何も) 出来やせんやんかあ (ないでないか) たら (とか)。

**やいのやいの【副詞】** せわしく催促される様、する様。

**やいや【感動詞】** いやだ。否否の転か。いやを強めた語。相手の言葉や自分の前言を打ち消す語。(志(浜島、布施田)、員、鈴市、安、上、阿、張、名、南(阿田和)) [会話] ヤイヤ もおその どぐらしたる (叩いてやる)、そこん (に) 居つて見よ 言うて。わり (悪い) 事した時や、こらいてくれ (こらえて下さい) 言うても ヤイヤ こらえやせん (許さない) 言うて。いやいや 言う。そいなもん (そんな物) いややれ (だ) 言う事 ヤイヤ 言うのなあ (のです)。こらいてくれ 言うて、こらら (子供) な (が) 泣くと ヤイヤ こらいたらせん (許してやらない) やいと (灸) 焼いたる (てやる) 言うて おどしおつたなあ (脅して居ました)。いかん (いけない、駄目だ) 言う事を ヤイヤ 言うて ヤイヤ 聞かせん (ない) まあ (もう) くんなよお (来るな) 言うても、ヤイヤ行く 言うて。

**やいやい【副詞】** 1) 気が焦る状態。急ぐさま。

2) 人に呼び掛ける時の言葉。(感動詞)(志(畔名)、鳥(相差、答志)、桑郡)[会話] 1) ヤイヤイ 言うて 言うな (のは)、きなきな 言うのを。きい (気) 揉んですんのを (するのを) ヤンヤン言うてな やんやん 言うて 来たれ (来た) 言うてな。急いで来るとな。いそんで (急いで) ヤイヤイ言うて 来たれ とか いたれ (行った) とか、言うてな。2) 人ん (に) 呼び掛ける時ん (に) ヤイヤイ 言うて。やいやい 言うて 呼ぶ時な (が) 有るなあ (有ります)。

**やいんやいん【感動詞】** 櫓拍子。よっしんえいえい参照 [会話] どお (櫓) 漕ぐ時ん (に) ヤインヤイン 言うて。

**やうち【名詞】** 1) 家内。家の中。家の中に居る者。

(志(布施田、浜島、鶴方、神明、志島、国府、安乗)、鳥(国崎)、員、三、一、伊、度、北) 2) 親類の者。親族。(志(布施田、浜島、鶴方)、鳥(国崎)、度、伊、尾) 3) 仲間一味(志、北) [会話] ヤウチサウチな(が)来て 言うて。家内中が来て 言う事を、ごっつお(御馳走)しても ヤウチサウチな 呼ばれて(御馳走になって) 言うて。1) 呼ぶ(招待する)時でも ヤウチな(が) 来いよお(来なさい) 言うて、家内ごち(家族全員)来い 言うのを ヤウチな来いよお 言うて。あの家い(へ) いたら(行ったら) ヤウチな(が) どしゃげて来て(押しかけて来て) 言うたり(言ったり)。自分とこ(所)の 家の中 一軒に入っとる人だけ ヤウチ 言うて。3) そして 此処い(に) 寄っとても(集まって居ても) ヤウチな そおより(総寄り、全員が集まって居る) や(だ) 言うて みんな(皆)が 言う事を ヤウチや(だ) 言うの(のです)。家内だけで居る時も ヤウチ 言うし そして 此処らい(に) 会(集会)な(が)有って 寄っとても(ていても) ヤウチな(が)来て 言うて。ヤウチな(が) こげん(こんな)に しょおやんか(しましよう)とか ヤウチな(が) いて(行って) あげん(あんなに) したるやんか(してやりましよう) 言う時も 有んなあ(有るのです)。その時は 仲間のもん(者)を そこん(に) ひととこ(一ヶ所)に 居るにげ(人間)を。2) 親戚の人も おらげ(俺家)の ヤウチどおし(同志) や(だ) 言うて。親戚のヤウチ 言うのは、ちい(血)な(が) つながとる(連なって居る) 言う意味やし(です)。ヤウチな(が)今日は なんかして喰をか(食べようか) てやら(とか) しゅうせん(金を出しあつて) しょおか(しましようか) 言うたり、かないごち 言うな(のは)家内中 言う事。

**やうちさうち【名詞】** やうちに同じ。さうちは総内か(志)

**やうちどおし【名詞】** やうちに同じ。

**やうちのつかい【名詞】** 血縁の有る人の死者の報告。報告と同時に手伝いを依頼する。[会話] やうち(親類)の家は 兄弟とか 従兄とか 言うて ヤウチノツカイな(が)有るやんない(でしよう)。あした(明日)まあ 気の毒なけど(だが) やうち(一同)な(が)御苦労してくれえ(下さい) 言うて、つかいまありな(が) 言うとくね(言っておくのです)。そすとまあ てったいんも(手伝いにも) いたりなあ

(行ったり) 帷子もかぶったり せな(しなれば) はざあらったね(いけませんでした)。

**やうちばい【名詞】** 親族一同

**やうつり(家移)【名詞】** 転宅。引っ越し。(志(鶴方、神明、立神、志島、国府)) [会話] ヤウツリ 引っ越し。引っ越しの事 ヤウツリ 言うて。今日は 普請な出来上がって(新しい家が出来上がって) ヤウツリやよお(です) 言うて、こんだ(今度は) ヤウツリの おりや(時は) てったい(手伝い) ん(に)来て くれえ(下さい) 言うて。

…**やえ【接尾語】** 1) ですか。2) だと。なんヤエ(何だと)

**やえこい【形容詞】** 軟らかい。[会話] ヤエコイ 言うて 言う人な(が) あんねやる(有るのでしょうか)。やいこいとく やわらかいとく やわらこい 言う人も有るし(有ります)。やいこいなあ 飯もぐちゃぐちややなあ(だ) 言うし。そして(そうして) おなご(女)でも 男狂いすると、あやまあ(彼女は) やいこおて ずるいねよつて(性にみだらなのだから) 言うて。やいこい 言うのは 男にだらしないう事や やいこい 言うて。身持ち(体の保ち方、性交に対する態度)な(が) かつたい(堅い) 言うのの反対で やいこい。小麦の団子みたよおななあ(ようなのは) あや(彼女は) かつとおて(堅くて) 言うし、ちよいと(少し) 柔らかいなあ(のは) あやまあ やいこおて ずるうて 言うて。そして 観音さんで あしか(あすこは) 御利益な(が) 有んね(有るのだ) 言うて、男の人らな(が) 御利益の有るとこ(所) 行こやんか(行きましよう) 言うて。行くと 戻しておこさせん(おこさない) ねやして(寝させて) おこすのを 観音さんで あしこい(あすこへ) 行くと、どいらい(大変) 御利益な(が) 有んねよお(有るのだ) 言うて 男らな(が) 夜になると そげん(そんなに) 言よおったわい(言っていました)。

**やえば(やへば)【名詞】** 犬歯。犬歯の突き出して居るもの。(志(布施田))

**やお【形容詞】** 柔らかい。抵抗が少ない。手ぬるい。

**やおい【形容詞】** 柔らかい。手ぬるい。(志(布施田))

**やか【形容詞】** 1) もろくて弱いさま。力弱いさま。(度) 2) 少しの事。ちよつとの事。たやすいこと。容易なこと。[会話] 1) ヤカななあ(だ) こや(此れは) 言うて、ぐにやぐにやしとると(して居ると) 弱いのおを(のを) 脚な(が) ぐにやぐにやしとて(して居て) あんまり(大変) ヤカやれ(だ) 言うて。見

ためや (目は) 上品なけど (だが) こや (これは) ヤカやれ (だ)、こや はざんわれ (駄目だ) 丈夫なのお (のを) せな (しなければ) 言うて。2) ヤカナ事で 出来よかれ (出来ない) 言うて ちょっとやそつとで 出来やへん (出来ない) 言う事を、ヤカナ事で 出来やせんどお (出来ないぞ) 言うて、むつかしわれ (難しいです) こや 言うて。

…やか【**接尾語**】疑問。だろうか。かも (志、安) [会話] 来るヤカのお 言うて ちよいと (少し) 疑い しん (心) な (が) 有る 時ん (に)。

やが だが (四、鈴市、松、上、阿)

やがく (夜学)【**名詞**】夜、勉強する事。昼間仕事の為、時間が無く、夜 教えて貰う事。

やかす させる。(志、鳥) [会話] 世話ヤカス。ヤカス 言う時は させる。世話ヤカシテまあ 言うてな、よけ (あまり) 世話ヤカスなまあ 言うて。

やかすな させるな。やかす参照

やかた【**名詞**】仮小屋。真珠の核入れ以外の作業を行うため、筏の上に組まれた簡単な小屋。[会話] ヤカタ組んで なんやかや (いろいろ) すんのんなあ (するの) 仮の小屋みたいなの (のようなのを) すんの (するのを)、ヤカタ建ててまあ言うて。仮小屋 みたよな (のような) のおを (のを) ヤカタや (だ) 言うて。真珠のタンポの上ん (に) ある あや (あれば) ヤカタ。

やかったら のだったら (志)

…やがって【**接尾語**】して、する、居るの卑語 [用例] 怒ったると (てやると) すぐん 泣きヤガッテ。

…やかて でも わしヤカテ (私でも)。

やかて 然し

やがて【**副詞**】いつか、今に近い時間。

やかな【**形容詞**】抵抗が少ない。丈夫でない。(志 (波切、布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥 (加茂)、度、伊) [会話] ヤカナ 言うな (のは) 弱いもん (物、者) 言うな (です)。こいな (こんな) 弱いもん (物) はざおかれ (駄目だ) 言うの (のを)、こいな (こんな) ヤカナもん (物) はざおかれ 言うて 弱しけない (弱弱しい) のな (です)。おおた あの人 ヤカナよおな人やなあ (だ) 言うて 弱弱し (弱々しく) しとん (している) の (のを)。

…やかな。…やがな でしょう。ですよ。聞きなおす事。(志、鳥、桑郡、鈴市、亀、安、上、松、北、尾、南) [用例] あんな (彼が) 行くね (行くの) ヤガナ。

やかなあ でしょうか。[会話] あや (あれば) なつと

(なんと) 言う 虫ヤカナア。

やかに 柔かく、簡単に、丈夫、頑固でない事を表す。

やがの だが

やかのお でしょうか。[会話] ぜん (銭) よけ (沢山) もてて (持って行って) なん (何を) 買うん (買うので) ヤカノオ。

やがのお ですが (志) [用例] お前な (が) 言う通り ヤガノオ。理屈では 世の中 通らせんの (通らないのです)。

やかまし (喧)【**形容詞**】1) やかましい。うるさい。

(志、三、阿、伊) 2) 厳格である (志 (布施田))

[会話] 1) よけ (多く) 喋ると ヤカマシわれ (ぞ) 言うて、ヤカマシのん (のに) よけ 喋んなまあ (喋るな) 言うて。“や (八) かまに し (四) かまは十二かまやれ” (だ) 言うて。ぐちっぼい (愚痴) 事言うて よけ (沢山) 喋ると、ヤカマシて おしやべ (お喋り者) や (だ) 言うて 言われんの (言われるのです)。おとなし (おとなしい) らら (は) よお (よく) 喋ると ごおわかって (腹立てて) おしやべで ヤカマシ 言うて。

やかましや (喧屋)【**名詞**】やかましい事を言う人。理屈や小言をよく言う人。(名) [会話] ぐどぐど 言うとなあ ヤカマシヤで 言うてなあ。ちよいとした (少しの) 事でも そや (それは) はざんやんかあ (駄目だ) あや (あれば) はざんやんかあ、言うて。こお (子供) わるいて (叱って) すんのをなあ (するのを) ほん (本当に) ヤカマシヤで ぐどぐどで おぞげやれ (腹が立つ) 言うてな。年中ぶつぶつ、ぶつぶつ 小言言うとる (言っている) よおな人を ロヤ かまして (しくて) 言うて。

やから (輩)【**名詞**】やつ。野郎。(志 (片田、浜島) 鳥) [会話] あいな奴ら (あんな奴) 言うよおな意味で、あのヤカラ言うて。あげなもんや (あんな者だ) てやら (とか)、あいつやとやら (だとか)、一緒の事 やわい。(です) あいつな (が) 言うたり あの餓鬼 な (が) 言うたり、そのにげ (人間) を 軽蔑して言う事なあ (です)。あいつ やてやら あ餓鬼 やてやら あげなもん (あんな者) てやら 言うな (のは) 一緒の言葉やけど (です)。

やから【**名詞**】我儘。(志 (片田、布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥、津、飯、松、多、伊、尾、北)

やから だから (志、鳥、桑市、三、四、一、飯、松、多、張、北、尾、熊)

**やがら** 魚。あかやがら。矢の幹の様で有る所から。ヤガラ科の海魚。体は細長く。約 1.5m、長い管状の口先を持ち尾鰭の後端が長く糸状に伸びて居る。乾燥した物は漢方薬として肝臓病に用いられる。(鳥、度、伊)

**やからきり**【名詞】我儘を言う人。暴言をはく人。ごんじきり参照(志(鶴方、神明、志島、甲賀、安乗)、鳥(国崎)) [会話] やからきって、酒のおで(呑んで)言うて。てっか(鉄火、文句)きる 言うのをやから 一緒の事やけど(です)。鉄火きって 言う人も有るし やからきって 言う人も有るし(有ります)。ヤカラキリ 言うと なんやかや(何彼)喧嘩ふっかけてするよおな事 する人を、やからきって言うて。あんな(彼が)今日は やからきって来てなれ 言うて、わがと(自分) な(が)意見と喰い違いと どなって(怒鳴る、大声で叫ぶ) すんのを(するのを) やから きりん(に)来た 言うて。

**やからきる** 1) 駄々をこねる。(志(鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥、阿、張、名、津、松、北) 2) 無理を言う。酒を飲んで無茶を言う。[会話] 1) ヤカラキル言うて。こららな(子供達が) てっかきんの(無理言うのを)を ヤカラキル 言うて。てっか や(だ)言うのを やからや(だ)言うて 駄々こねる。2) 酒飲みな くだまくと 酒のおで(飲んで) ヤカラキル言うてな 無理言う。

…**やがる**【助動詞】している。相手や他人の行動を軽蔑したり、ののしったりして言う語。(志、鳥、桑郡、桑市、員、三、四、鈴、鈴市、安、津、一、久、松、多、上、阿、張、度、伊、北、南) [会話] 泣いてヤガル、喧まし(ましい) のおに(のに) 言うて、なん(何を) シヤガンネド(しているのだ) 言うてな。なとして(なにをして) けっかんねど(居るのだ) 言うのを なんシヤガンネド 言うてな。遊んでばっか(ばかり) けっかつて(居て) 言うて、遊んでばっかおって(居て) 言うのをな。なんやかや(色々) しとると(していると) そいな(そんな) 事 よけ(沢山) シヤガッテ また わるわれんど(叱られるぞ) 言うて、そいな事して 言うのをな シヤガル 言うて 口汚い言葉やなあ(です)。怒つとる(ている) 時使う言葉やなあ。子供らな(が) あんまり(あまり) 言う事聞かせん(聞かない) もんで(ので) ごおわかして(腹立てて) 使う言葉や(だ)。

…**やがれ** しなさい、せよ。(鳥(坂手)) [用例] 泣きヤガレ

**やかん** (やくわん) (薬缶)【名詞】湯沸かしの総称。ヤツカンの約 もと葉を煎じるのに用いたので言う(広辞苑)(上、阿) [会話] ゆう(湯)沸かす ヤカン。昔や(は) くうろおい(黒い) のな(のが) ヤカン 言うて有りおったけどのお(有りました)。真っ黒なのを ヤカン 金柑 酒の爛。

**やかんあたま** (やくわんあたま)【名詞】薬罐頭。禿げ頭。(一、伊) [会話] ヤカンアタマ 言うな(のは) 頭な禿げてくると ヤカンアタマ。

**やかんでり**【名詞】よく照る。焼きつけるように照る。かんかんでり。[会話] 日な(が)かんかん照ると、ヤカンドリ(薬缶照り) な(が)して 言うて、ものすごお(大変) あたたい(暑い) ひい(日) な(が)有るやんない(でしよう)。おんなし(同じ) 照つとても(て居ても)道 通ると 此処らな(が)(皮膚が) ひらたく(ひりひりする)よおな 日な(が)有るやんかい(有ります)。ほすと(すると)今日は ヤカンドリで 何処も彼も ひらたいたれ(ひりひりした) 言うて。ヤカンドリや(だ) 言うて。かんかん照り 言うのも 一緒やわい(です)。雲な(が) 一つぺん(片) 無しん(に) 照つとん(て居るのを) かんかん照りやなあ(だ) 言うて。

**やかんのたこ** 何処へでも表れる。匍い出して来る。[会話] 薬缶へ 蛸入れとくと(ておくと) 蓋しといても(しておいても) 足ちよろちよろと出して、しまいにや(終りには) 持ちやげといて(持ちあげて) どおがら(胴体)も ほおてくるもんで(匍って来るので) ヤカンノタコや(だ) 言うて。おっさん(和尚さん)とお寺へ泊まって 男もおなご(女)も 一部屋い(へ) 寝よや(寝ましよう) 言うて 寝んな(寝るのは) ええけど(よいが) ヤカンノタコで、てえ(手) な(が) 出え 足でえして来ると はざんよつて(いけないから) おっさん(和尚さん)の方い寝やせん(寝ない) 言うて。

**やき**【名詞】海魚 小鯛(志)

**やぎ**【名詞】海松。フトヤギ科の腔腸動物の一種。群体は樹枝状で緻密な黒い角質の骨髄を持つ。相模湾以南に分布する。ウミウチワ 枝を不規則に分岐して扇状に広がった群体を作る。群体は真黒色で、老成した物は高さが約1mにもなる。ポリブは枝の全面に分布するが、枝端では密集する。ハネウチワ(度) [会話] ヤギ 網い 引っ掛かって来る かつたあい(固い)よおなな(のを) ヤギや(です) 言うて。てえ(手) 突くよおな のをな かちんと へし折れるよおなの

を。ヤギな(が) よけ (沢山) 掛かって 言うて。

**やきだま (焼玉) 【名詞】** 焼玉エンジンの略、2サイクル内燃機関の一つ、シリンダーの上部に有る。鋼鉄製の焼玉を熱し、此にピストンで圧縮した混合ガスを噴出させ爆発させる機関。

**やきつける (焼付) 【他カ下一】** よく照る。夏の日が暑く照る。

**やきなます 【名詞】** 1) 魚の表面を軽く焼き刺身にしたもの。(志) 2) 焼いた小魚の身をほぐして、大根なますに入れたもの。[会話] ① さいら (秋刀魚) や (とか) 鱈 焼いて 骨抜いて 切っというて (ておいて) だいこ (大根) なますして 食うと 美味いね (のです)。ヤキナマス 美味いね。魚 焼いというて (ておいて) 骨抜いというてな ほっちょ (包丁) で こまこお (小さく) 切っというて なますい (に) こねて 食うとな 美味いねてや (のです) どいらい (大変)、ヤキナマスは 美味いなあ (です)。生でも するやんかな (します)、さんまの三杯漬けや (だ) 言うてな、なますい (へ) してなあ (入れて) さいらの 塩したのおを (のを) ぜにぎり (丸切り) ん (に) 切っというて 入れるとなあ それも 美味いねてや (のです)、なますな (が) 美味いなあ。そやけど (しかし) 生な (が) 嫌いななあ (は) ヤキナマスな (が) ええし (よいのです)。ヤキナマスはまた 味な (が) 格別違うね (違います) 美味いなあ。

**やきば 【名詞】** 火葬場

**やきばん (焼判) 【名詞】** 焼き印などに使う屋号印。鉄製で火で焼いて、木製品などに使用する。[会話] 其の家の屋号を焼いたり その家の頭文字だけを判にしたり ヤキバンや (だ) 言うて、磯桶や (とか) たあご (たご) や にない (担い桶) 御櫃やとか (だとか) かけご (木製の長方形の浅い箱) やとか 人ん (に) 貸しても 判らんよん (判らないように) なっ てくもんで (なっていくので) ヤキバンを ほんと。取られたらんよおん (てやらないように) おもて (思っ) ておく (担い棒) やてやら (だとか) 鍬の柄や 鎌や、かいどし (草取り、又は 小穴を掘るため 一本爪の熊手) を 皆ヤキバン押し おったね (居たのです)。畑の事、手伝いん (に) いても (行っても) やうち (皆一同) な (が) もてくと (持って行くと) どれやか (だか) 判らんやんかい (判りません) 鍬やど けでも (なども) 休むとどれやんか 言わなはざん (言わなければいけない) わしげや (私の家は) ヤキバンな (が) してあんねよって (して有るから) 言う

て みんなな (皆が) ヤキバンして。

**やきめし (焼飯) 【名詞】** 握り飯の表面を焼いたもの。(志 (片田、浜島)) [会話] 握り飯 焼いてなあ ヤキメシ 言うけどな (言います)。ヤキモチ 焼こ とて (として) 手をやいた (火傷した、面倒だった) 言うて。

**やきもき 【副詞】** 気を揉んで苛々するさま。(志 (布施田)) [会話] 気な (が) 苛苛しとる (している) 事をなあ ヤキモキシとる (している)。

**やきもち (焼餅) 【名詞】** 沖で弁当の残りを握り飯にして焼いたもの。[会話] 握り飯 焼いてなあ ヤキモチ 言うけどな (言います)。

**やきもん 【名詞】** 1) 瀬戸物。陶磁器類。(志 (鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、桑郡、鈴市、安、一、上、阿、張、名、伊、尾、南) 2) 焼き魚。(志 (鶴方)、上、阿、張、名) [会話] ① ヤキモン。せともん (瀬戸物) でも ヤキモンや (だ) 言うし。② そして (そうして) なんやかや (色々) 魚 焼くの (のを) ヤキモン せなまあ (しなれば) 言うてな、焼き魚の事 ヤキモン 言うの (のです)。

**やきやき 【副詞】** 心がいらだちあせるさま。やきもきに同じ。[会話] 苛苛する 言うの ヤキヤキする 言うの。

**やきやきする** いらいらする。やきやき。やきもきに同じ。気を揉んで、いらいらするさま。(上、阿、張、名) [会話] ヤキヤキスル。やきもきと 気な (が) もめんのを (揉めるのを) ヤキヤキスル 言うのなあ (のです)。気な揉めて やきもきしとたけど (して居たが)、ほん (本当に) 来やれんで (来れなくて) 言うて。心な (が) いらいらすんのを (するのを) せかせかすんのなあ ヤキヤキスル 気忙しい 言う事を 言うんやろなあ (言うのでしょうか)。

**やぎよお (やげふ) (夜業) 【名詞】** 夜間仕事をする事。よなべ。[会話] ヤギョオ よなべ。ヤギョオの事をよなべ しょおや (しましよう) 言うの。夜する仕事。

**やく (厄) 【名詞】** 厄年の略。男、四十二、二十五、女三十三、十九才。[会話] 四十二のヤクや (だ) とか 二十五のヤクや とか、災難、ヤク年やとか、

**やく (役) 【名詞】** 役目。受け持ちの仕事。[会話] なんやかや (色々) の ヤクスんのも (するのも) 世話 人。いろんな (色々な) ヤク してくれる人も ヤク について。

**やく (焼) 灸をすえる** (志、南)

**やくあたり 【名詞】** 厄当。厄年に災難にあったり、病気

したりすること。やくび参照 [会話] 災難にあうとヤクアタリやなあ(だ)言うて。ヤクアタリ言うともあ 厄の年に病氣したり 災難におおたり(逢ったり)する事やなあ(です)。

**やぐい【形容詞】** 1) 脆弱で有る。やいこい参照(志(浜島、布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、阿) 2) 病弱である。(桑郡、員、鈴市、一、上、阿、張、名、度、伊、鳥、北)

**やくおとし(厄落)【名詞】** 厄年の者が厄からのがれるようにする行事。又悪い事が起こったり続いたりした時それを除く行事。(志(布施田)) [会話] 物をおとす。ヤクヲオトス。ヤクオトシ 言うて 厄をはらう(除く)の(のを)。

**やくざ【名詞】** 道楽者。用にたたない者。迷惑ばかりかける者。乱暴者。放蕩者。博打うち。ならず者。無頼漢。やくざ。三枚ガルトで八、九、三の札が出るど負ける事から、役に立たない事。まともで無い事。つまらないもの。(志(安乗、片田)、鳥(加茂、長岡)、上、張、名) [会話] ヤクザよ そこな(其処の)言うて、言よおった(言っていました)。わるう(叱る)時でも ヤクザモナ(者は)言うて、言う事聞かへん(ない) ヤクザモナ 言うて。ヤクザモンの はてなしや(果て無し) 言うて よお(よく) 言よおった。俠客もん(者) や(とか) あいなの(あんなのを) ヤクザや(だ) 言うて、ヤクザの仲間に入っとん ねてない(入って居るのだそうだ) 言うて。言う事聞かん(のを) 子供ら わるうの(叱るのを) ヤクザモン(者)の はてなしや 言よおったけど(言って居たが)、ほんと(本当)のヤクザは 俠客もん(者)の どもならんのを 今し(今)で言うて 暴力団の事を あげん(あんなに) 言うんやろなあ(言うのでしょうか)。博打うちな(が) 博打打って あのヤクザモンら 言うて 言よおったんやんかい(言っているのです)。博打打ったり 賭け事して よけ(沢山) しんしょ(身上、財産) しもて(終って、失って) あや(彼は) ヤクザ仕事で しんしょ しもた 言うて 言よおった。“こおこ(香物)は ふたきれ(二切) 博打は みきれ(見切れ)” 言うて こおこは 二切れより 付いとらせんなあ(付いて居ません)。博打は 見切れ 言うて いつ迄も そげん(そんなに) しとると(していると) みいきらな(身を切らなければ) はざんよって(いけないから) そいなこた(そんな事は) はよ(早く) 見切って せな(しなければ) しんしょ ほら(洞、空) ん(に) す

る 言うて。みきれ(見切れ) 言うのは はよ(早く) けり(決着) つけえ(つけなさい) 言うの(のです)。

**やくざぼし【名詞】** やくざ。やくざもんに同じ。やくざ者。道楽者。ぼしは法師か。(志(片田)、張、南、熊) [会話] やくざ 言うのは、ごろつき みたよなの(のようなのを) やくざ。その時ん(に) ヤクザボシ 言うのは、やくざを も一つ わり(悪い) ことつけて ヤクザボシよ 言うね。 あんまり(あまり) わり ことばっか(ばかり) する人をな ヤクザボシ やなあ あや。

**やくざもん【名詞】** やくざに同じ。道楽者。やくざ者。博打うち。素行の悪い人、役に立たない人。(志(甲賀)、張)

**やぐし(矢串)【名詞】** 竹やぶの切り株。竹の切り株のように多数立って居る事。(志(鶴方)) [会話] おおた(おト) ヤグシン(に) なつとんない(なつて居る) こやあれ(これは) 言うて、じゃんじゃん とんとのおを(出ているのを) 竹のヤグシ みたよなの(のようだ) 言うて。昔や(は) 獄門台すると ヤグシな(が) 立つとるやんない(立って居るでしょう)。そやもんで(それで) なんやかや よけ(沢山) 出ると 筈でも よけ(沢山) 出ると ヤグシン(に) 筈な(が) よけ(沢山) 出て 言うて。芋でも よけ い つとると(入って居ると) ヤグシンなつとる(なつて居る) 言うて、じゃんじゃん 立つとる(て居る) 事を ヤグシや(だ) 言うて。竹の先な(が) 尖って しとんのお(して居るのを) あれを 竹のヤグシ みたよおん(のように) 言うて。それを 例えて ヤグシン(に) なつとる 言うねやろなあ(言うのでしょうか)。ヤグシ その物は 竹切った後の株も 竹の切り口も ヤグシン(に) なつとて(なつて居て) あぶのおて(危なくて) 言うて、そやけど なんかな(何かが) じゃんじゃん 立てると ヤグシみたいなあ(のようだ) 言うて竹のヤグシ。

**やくしゃ(役者)【名詞】** 1) 世間を上手に渡る人。世渡りの上手な人。誠実さがなく表面だけの人。2) 人に演劇を見せる人、俳優。[会話] 芝居するヤクシヤ。今し(今)で言うて 俳優や女優な(が) ヤクシヤの事なあ(です)。あや(彼は) ヤクシヤやどお(だ) 言うて。なんでも 人の よおせんよおな(出来ないような) 事でも したり、人の真似して上手な人をなあ。芸事の上手な人を ヤクシヤやなあ(だ) 言うね(言うのです)。人を騙したり すんのも(す

るのも) ヤクシャ言うて 世渡り 上手ん (に) して 表面だけよお (よく) 見せて。

**やぐしんなつとる** ひしめきあって居る。沢山寄り集まって居る。やぐし参照 (志 (布施田))

**やくそく** 【**名詞**】 婚約。結婚の約束。(上、阿、張) [会話] ヤクソクな (が) 出来て 言うて、婚約するものなあ (です)。

**やくそくごと** 【**名詞**】 定め。規則。互いにとりきめた事。[会話] ヤクソクゴトな (が) 有って 言うてな。ヤクソクゴト 言うのは お互いに決める 言うのか。今日は なになににしょおか (しましょうか) とか、あした (明日) は なん (何) しょおか 言うてな、相談して、そしたら あした そげん (そんなに) しょおか (しましょう) 言うて 約束したよお (しました) 言うて。規則とか そんなも (そんなのもの) ヤクソクゴト。そいな (そんな) 事を ヤクソクゴトな (が) 有って 言うて 言うのな。(です)

**やくたい** (益体) 【**名詞**】 【**形容詞**】 無茶。益体。整って居る事。秩序の有る事。(志 (片田 布施田)、員、鈴市、多、阿)

**やくたいもない** 何の役にも立たない。つまらない。めちやめちや。とんでも無い、又そのような。

**やくたいもん** 【**名詞**】 無頼漢。役に立たない者。[会話] ヤクタイモナ (者は) 言うて、家に極道 (ならず者) みたよおな (のような) のおな (のが) 有ると、あや (彼は) ヤクタイモンで 家の屑やれ (だ)。仕事せんと (せずに) 遊んで 博打打ったりすると ヤクタイモンで言うて やくざもん (者) 言うよおな 事やろん (でしょう)。

**やくたたず** 【**名詞**】 無能であること。働きの無いこと、またそのさまや、その者。[会話] なんも (少しも) 役ん (に) たたせんねない (ないのだ) 言うて。仕事あれせえ (しなさい) 言うても よおせん (出来ない)、これしええ 言うても よおせん 言うとな、なんも 役ん (に) たたせん (たたない) ヤクタタズや (だ) 言うね (言うのです)。

**やくだたん** 役に立たない。

**やくだつ** 【**自タ五**】 役に立つ。使用出来る。

**やくつき** 【**役付**】 【**名詞**】 1) 特別の職務や地位につくこと、またその人。2) 葬式の時、特別の役につく人。五役。位牌持ち、前吊り、後吊り、水持ち、飯持ち。(松) [会話] 1) あの人 何々の役ん (に) ついとる (ついている) 言うて。内会長しとる (している) とか、組長しとる とか、またそれ以外に 頼まれて

しとんの (しているのを) あの人 まあ ヤクツキでとか ヤクツキでとか言うてな。なんでも (何でも) 役 引き受けると 役好きや (だ) 言うしな。役ん (に) よけ (沢山) ついとると ヤクツキや (だ) 言うてな。2) 葬式の時の役、水持ち、飯持ち、後吊り、前吊り、いわい (位牌) 持ち。役な (が) 有ってなあ 役をする人をなあ (です)。

**やくどし** (厄年) 【**名詞**】 1) 凶年令。男子四十二才、二十五才、女子三十三才、十九才を言う。(志 (浜島)) 2) 凶年。不作の年。(志) [会話] 1) 初午 二十五や三十三や四十二や (と) 言うて、今年や (は) ヤクドシで 言うて。前には 前厄、後あ (は) あとや (後厄) 言うて 厄な (が) よけ (沢山) 有るけど (が)。初午やどけん (などに) になると 今年や (は) 前厄やどお (だ)、済んでた (で行った) あた (後は) 後厄やどお (だ) 言うて、いいに (大変) 昔や (は) 縁起を嫌いおったなあ (嫌っていました)。厄日は 二百十日とか 二十日や三十日や (だ) 言うて 厄日。にげ (人間) の ヤクドシや 四十二や二十五や言うて。十九や三十三。前厄 言うて 四十一は前厄。四十三は後厄。二十四は前厄で 厄年中心に二、三年は あとさき (前後) は 気いつけな (なければ) 言う訳やわい。(です) ヤクドシ 逃がれても後厄ん (に) 当てられる にげ (人間) も有るし、あのひた (人は) 前厄やよって (だから) 言う時な (が) 有るやんかい (有ります)。災難に会うと 後厄やよって (だから) あんな (あれが) 厄当たりやなあ (だ) 言うて 災難に会うと。

**やくねん** (厄年) 【**名詞**】 やくどし同じ。凶年令。不作の年。

**やくのこお** 【**名詞**】 父親、母親が厄年に生まれた子供。(度 (小俣)) [会話] ヤクノココ 四十二や二十五で生まれると ヤクノココ。厄年に 男でも、おなご (女) でも厄の時に 生まれると、捨て子して おやどり (親代わり) してもらうの (貰うのです)。ヤクノココ 言うのは いっぺん (一度) 捨てて 親を違うのん (の) (に) して もらうの。そしてな、一年になあ 三人の兄弟な (が) もおけるとなあ (お産すると) わたこ (綿入れ) 着せる 言うて 親の婆さんに。

**やくばらい** (やくばらひ) (厄拂) 【**名詞**】 厄年の時に神佛に祈って厄を祓うこと。災難を逃れるように、お拂をすること。[会話] ヤクバライ せな (しなければ) はざん (いけない) 言うてな。厄年やったり (だったり)、なんやかや (いろいろ) するとなあ、厄当

たり せんよおん (しないように) ヤクバライして貰え 言うて よお 神社へ 行く時も有るし。まっさか (松阪) へ よお (よく) 行くやんかい (行きます)。岡崎さんへなあ 四十二や十九の厄 祓うのおと (のと) そいな (そんな) 時や (で) のおても (なくても) わり (悪い) 事な (が) 続いて来ると ヤクバライして貰わな (なければ) 言うて、厄当たりする やら (か) 判らせん (判らない) 言うて。

**やくび (厄日) 【名詞】** 1) 災難の来る日。(志 (布施田)) 2) 月経の日。3) 二百十日など災難の訪れる特異の日。[会話] 2) 月経になった時でも 今日にはヤクビで言うて 言よおったやんかい (言うて居たでは有りませんか)。そげん (そんなに) 言う人も有るし、火な (が) わり (悪く) なった、火なおりた 言うて いつなんどき (どんな時に)、火な (が) おりる やら判らせん (判らない) 言うて、しょんがつ (正月) ん (に) になると 喰いのけ 言うて。

**やくびょうがみ (やくびやうがみ) (疫病神) 【名詞】** 疫病を流行させる神。転じて家に不幸をもたらす慢性病者又は徒食し人を困らせる者。

**やくまえ (やくまえ) (厄前) 【名詞】** 厄年の前の年。[会話] 前厄かい (ですか)。前厄 うしろ厄 言うのなあ (です)。四十一になると ヤクマエで 四十三になると、うしろ厄。

**やくまけ (厄負) 【名詞】** 厄年に災難にあう事。[会話] 厄年に 災難 よお逃れんと (ないと) ヤクマケな (が) した 言うて。此処らん (の) 人 厄当たり言うの (のです)。ヤクマケ 言わんと (言わずに) 厄当たり言うの。厄年に 災難おおたり (会ったり) 病氣したりすると 厄当たりな (が) したんなあ (した) 言うて。

**やくみ (薬味) 【名詞】** 食物に沿えて風味を増し食欲をそそる香辛料。(志 (布施田))

**やくよけ (厄除) 【名詞】** 厄を除く事。厄祓い。

**やくれえ (やくれい) (薬礼) 【名詞】** 薬代。治療費。[会話] 医者ヤクレエ よお拂わんで (拂えなくて) よけ (沢山) たまって しまいにや (終いには) かたえ (形見、代替) に 畑やらな (なければ) はざんわれ (いけない) 言うて。田地な (が) 有る家なら借金よお拂わな (拂えなければ) 田地売ってでも 拂わな (なければ) はざんやんない (いけないでしょう)。ヤクレエの代わりん (に) 畑 取られたんでない (たそうだ) 言うて。ヤクレエ 言うのは 医者代言うのか 治療費。

**やくわり (役割) 【名詞】** それぞれに役、仕事を割り当てる事。又その仕事。

**やけくそ (自棄) (焼糞) 【名詞】** やけを強めて言う語。やけ。自棄。絶望して結果を全く考えない行動を取る事。なげやりな振る舞いをする事。焼けと同源。[会話] ヤケクソん (に) なって、酒 よけ (沢山) の おで (呑んで) やけ酒呑んで 言うて。嫌な事な (が) 有ると、やけ酒呑んで ひにもまえにも (日日毎日) 呑どんねてない (で居るのだそうだ) 言うて。ヤケクソ、やぶれかぶれ、しょんべ (小便) かぶれ (皮膚炎) や (だ) 言うて。やぶれかぶれで わがと (自分) 気な (が) くしゃくしゃしとると (して居ると) きい (気) 晴す事な (が) ねえ (無い) もんで (ので) 酒のおで すんのを (するのを) やけ酒 言うて。

**やけだ (焼田) 【名詞】** すぐ水分の無くなる田。(志 (神明、甲賀、国府、亀) [会話] ヤケダ 言うと、水 な (が) じっきん (すぐに) すいてく (なくなる) よおな たあ (田) を ヤケダ。

**やけつく 【自カ五】** 1) 日に焼ける。2) 大変暑い。

**やけづつた** 火傷した。

**やけつり 【名詞】** 火傷 やけど 火傷の跡。(志 (畔名、志島、国府、片田、浜島、御座、船越、布施田、鶴方、神明、甲賀、安乗)、鳥 (相差、国崎、桃取、神島)、桑郡、員、三、四、鈴市、安、久、一、松、上、阿、度、伊、北)

**やけづり 【名詞】** 火傷。やけど。焼け処の意。(志 (鶴方、神明、立神、国府、安乗)、飯、桑郡、桑市、員、安、松、伊、鳥) [会話] ヤケヅリ。やけど (火傷) すんの (するのを) ヤケヅリや (だ) 言うて。ヤケヅリしてまあ言うて。磯いて (行って) ひい (火) な (が) 飛んどるの (で居るのを) 知らんと (ずに) したると (してやると) したび踏んで 足 ヤケツッテ (やけどした) 言うて、したびな (が) あたたいのな あ (熱いのです)。したび 言うのは ひい (火) を おき (燻) を あっちゃい (あちらへ) もったり (盛る。他の所に火を移す) する時な (が) 有るんなあ (有ります)。おらげ (私の所) も 火 焚きつけて くれの (下さい) 言うて 火 持つと 火のついとん な (ついて居るのは) おき (炭火) が、こぼれるやん ない (でしょう)。それを 知らんとおって (ずに居て) 踏んだると (でやると) したび 踏んで やけづつた 言うて。磯 行くと 浜で よお (よく) した び 踏んで やけづんねてや (火傷するのです)。そ

すとさいご (その時) 昔の人ら (は) おたべ (女性器) の汁 付けると 治んねてわい (治るそうだと) 言うて そすと (そうすると) こお 突っ込む真似しとけ (しておけ)。真似しても 治んねてわれ (治るそうだと) ひぶくれ (水泡) にならせん (ならない) 言うて、そげんして (そんなにして) 突っ込む真似 しよ おったわい (して居ました)。医者は無いし 薬は無いし いろんな事 しよおったんやろなあ (して居たのでしょう)。しよんべ (小便) 付けると 治る 言う時な (が) 有るもんなあ (有ります)。なんやかや刺されても しよんべ 付けると 治るもんで (ので) しよんべ したれ (しなさい) 言うて、もじら (プランクトン的一种) や とおちんこ (鯉の鳥帽子) に 刺された言うて わあわあ言うて 泣いとる (て居る) 時な (が) 有るわい (有ります)。はよ (早く) しよんべ つけえ (つけなさい) 言うて、薬ん (に) なる言うよおな もんやわい (ものです)。ヤケツリは やけど (火傷) の事やし (です)。やけどすると ヤケツツたよお あたとおて (熱くて) ま やがったよお 言うて。昔や (は) ヤケツリして ひきつつて 言うて ヤケツルと うじゃけた後な (が) 皆 ひきつりおったわい (居ました)。あのひた (人は) やけづったんかして (と見えて) ひきつ とられ (て居る) 言うて

**やけつる。やけづる** 火傷する。やけづり参照 (志 (布施田、鶴方、神明、立神))

**やけど【名詞】** 火傷。皮膚や粘膜が高温に接した時に見られる変化。発赤、水泡、炭化まである。(志 (片田、的矢、浜島)、鳥 (答志)) [会話] ヤケド。やけづる (火傷する) 事を やけづった 言うの (のです)。ヤケドする事を やけづりした 言うね (言うのです)。

…**やけど【接尾語】** …だけれど。だが。(志、鳥、桑市、三、四、鈴市、安、津、松、多、阿、度、伊、北、尾、南) [会話] あれヤケド、これヤケド、言うてな。あしこい (あすこに) 行くねヤケド (ののだが) とか、あの家い (に) あれ やんねヤケド (やるのだが) とか言うてな。そおだけれども 言うのを。此れを やるのだけれども 言うのを これやんねヤケド やらな (やらなければ) はざんねヤケド (いけないのだが) たら (とか) 言うてな。

**やけども** だけれども。だが。(四、阿、北)

**やけのかんばち** (勘八)。**やけのかんばちひやけのなすび**。**やけのやんばち**。**やけのやんばちひやけなすび**

**【俚諺】** 物事がうまく行かず、やけになる事を人名めかして言う語。(志 (浜島、布施田)、上、阿、北) [会話] ヤケノヤンバチ言うて、付け言葉やけどなあ (です)。ヤケノヤンバチで 酒のおで (呑んで) ぐれぐれ しとんねてない (して居るそうだと) 言うて。やけくそや (だ) 言う事を ヤケノヤンバチ。

**やける【自カ下一】** 手が掛る。世話な (が) ヤケル。

**やけど** だけれども (志)

**やご【名詞】** 1) 枝葉が茂る。子孫がふえる。2) 新芽 (志 (布施田、鶴方、立神、志島、国府)) [会話] <sup>1)</sup> ヤゴ 言うと、枝な (が) 咲くのな (出るのが) ヤゴや (です)。きい (木) でも 枝な (が) 出て来ると、ヤゴな (が) 咲いた言うて、家でも 子供な (が) 二人出来、三人出来するやんない (でしょう)。そや (それは) ヤゴや。又 その下ん (に) 子供な (が) 出来、ひこな (が) 出来 やしゃごな (が) 出来して みんな (皆) そや (それは) ヤゴん (に) な ってく (なつて行きます)。

**やごし(家越)【名詞】** 家を移住すること。[会話] 借家しとて (していて) そこから 出てく (出て行く) 時でも、あらける (片付ける)。今日は ヤゴシで あらけんね (片付けるのだ) 言うて、ヤゴシは、家変わる言う事。

**やごせ** 世話をやかせる。ごんぞ参照 [会話] ゴンゾセ ヤゴセ 言うて、幾ら言うても 聞かせん、世話やかす、言う事やろなあ (でしょう)。

**やこそ** だから (阿) [用例] それ ヤコソ おんな言うたやんない (俺が言っただろう)。

**やごだい【名詞】** さぎえの小貝に竹を刺して作ったキセル。(志 (片田、布施田、鶴方)) [会話] さぎい (栄螺) の こまかい (小さい) の、ヤゴダイ言うて。銭な (が) 無いもんで (ので) よごめ (蓬) を干して、もおどいて (揉んでおいて) それを ヤゴダイへこめて (詰めて) 吸いおったんやんかい (吸って居たで有りませんか) 煙草の代わりん (に)。やまかた (農村) の人らは はまきや (だ) 言うて 椿のはあ (葉) を こおしといて (巻いて) くわえとりおったなあ (喰わえて居ました)、年中。さぎえの ちっさいの (のへ) 竹、刺して 竹はなかな (中が) あいとるやんな (あいて居るでしょう) さぎい (栄螺) の これへ (殻へ) 穴 開けて 竹、刺して それを キセルの代わりに。磯 (海女作業) いても (行つても) ちっさい (小さい) さぎい 拾うと ヤゴダイ ばっかやよお (ばかりだ) 今日 言うて。子供らな ま

まごとして 遊ぶと、“鳥羽の爺な(が) 餅こおて(買って) 来たら のおばか(お前だけ) 呉れるよつて(から) ぼら(穴) な(が) ぼんと あけよ(あきなさい)” 言うて ヤゴダイ こさえんのん(作るのに) 石でつくと なかなかうまい事(上手) に あかせんねてや(あかないのです) あきよ(あけよう) 思うと おっきなつたりして(大きくなつたりして) なかなか その ヤゴダイするよおん(に) あけられやせんの(あけられないのです) ぼら(穴) な ぼんとあけ 言うて。ぼらや(だ) ぼんぼらや(だ) 言うて 穴の事なあ(です)。

**やごなさく** 枝葉が出来て茂る。家が栄える。

**やさあし**【形容詞】優しい。可愛らしい。

**やさかい**【接続詞】だから(志、多、張) [用例] それヤサカイ 前から言うて あんねやれ(有るのだ)。

**やさがし**(家探)【名詞】家の中を残らず探し廻る事。(志(布施田、鶴方、神明、立神、志島、国府)、北) [会話] 家中探すのを、ヤサガシ やけど(だが)、それを 例え事に こんだ(今度は) 何処も彼も せんぎり(充分) 探すのを ヤサガシ 言うて。簀 落としたて(てしまって) ヤサガシしたけど(が) 無いわれ(有りません) 言うたり、なんやかや物 失のたて(失つて) 探すのん(に) ヤサガシした 言うて。探し廻んのを(廻るのを) ヤサガシした 言うて。家の中だけやなしん(でなくて) 何処でも探し廻る事 ヤサガシ 言うて。

**やさき**(矢前)【名詞】事のまさに始まろうとする時。直前。(員) [会話] 此処へこお(来よう) おもて(思って) 出た時に、出るヤサキに 人な(が) 来て ちよいと(少し) きやれらつたんよお(来れませんでした) とかな、そいな(そんな) 時になあ。どっか(何処か) 仕事い(へ) いこ おもとる(思っている) 出る時になあ、仕事い(に) いこ (行こう) おもとる ヤサキん(に) あの人な(が) 来て 言うて。

…**やさけに**。…**やさけん**【接続詞】だから(飯) [会話] 今日まあ 伊勢い(に) 行くね(の) ヤサケン あんだ(貴方) くんええ(来ないで)、わしげ(私の家) え 言うたりな、だから 言うよおな。行かな(なければ) いかんねやから(のだから) いかんならん サケン言うて。行かんならんねヤサケン あんだ(貴方) まあ くんええ(来ないで) 言うて。用事な(が) あんねさけ(有るのだから) 言うのなあ、用事が 有りますから あんだ(貴方) 来たら いかんよ(いけません) 言うのをな。

**やさし**(優)【形容詞】1) 可愛い。かれんだ。小さい。(志(神明、鶴方、立神、志島、甲賀)) 2) やさしく。おとなしく。3) 簡単である。たやすい。[会話] 1) おおた(あ-) ヤサシニア(やさしい) 言うて。ちっさい(小さい) 可愛らしもん(可愛らしい物) 見ると 可愛らしなあ ヤサシニア 言うて。可愛らし(らしい) 言う事 ヤサシ 言うて。小さいもん(物) を 可愛らしなあ(らしい) こや(此れは) 言うて、子供らでも 小さい 子ららを(子供達を) ちっそおて(小さくて) ヤサシニア。2) 言葉でも どんぎつて(強く、切れ切れに) なとすんねど(なんとするの)か 言うのと こいな事して(此んな事して) 言うて ちよいと(少し) 柔らかい 言うのと。ヤサシ言葉 言うて、ちよいと 柔らかい 言うにげ(人間) を。おっきいて(大きくて) 怒つたよおん(に) 言うのを どんぎつて どんぎれ言葉して 言うて。言葉だけでも ヤサシ言うて くれやなあ(くれれば) 言うて。

…**やざつた** しなかつた。(志) [会話] せざつた 言うのを シヤザツタ。あれ しとけ(しておけ) 言うて 言うといてたけど(言っておいていったが) 用事な(が) 有つて せざつたねよお(しなかつたのです) 言うてな。シヤザツタ 言うたり、せざつたよお(しなかつた) 言うたり、シヤレラツタネヨオ(出来なかつたのです) 言うたり、せらつたねよお(しなかつた) 言うねなあ(言うのです)。しなかつた 言う事。

…**やざつて** しなかつて。(志) [会話] シヤザツテ。せらつて(しなかつて) 言うのを、シヤザツテ 言うね(言うのです)。しなかつた 言う事。

**やさやさ**【副詞】盂蘭盆の大念佛に行われる傘ぶく廻りの音頭。やさやさてんでこてん。やさやさは囃、てんでこてんは鉦を打つ音。[会話] ヤサヤサてんでこてん なもでやなもで 言うの(のを)、ヤサヤサや(と) 言うて、盆の傘ぶく、を ヤサヤサや言うて。てんでこてん 言うて するやんない(でしよう) 廻るのを。大念佛する前に せえしゅ(施主) な(が) きりきり舞いするやんない。はよ もおて(早く 廻つて) みんな(皆) の名前 よおで(読んで) する(します)。はよ(早く) まいさいしや(廻りさへすれば) ええので(よいので) 早よ 廻んと(ないと) はざん(いけません)、そやもんで(それで) わしら(私) でも 仕事な(が) 忙しと てんでこまい やつたよお(だった) 忙して(忙しくて) 言うて。な

もでの てんてこまい すんのな (するのが) 早よ 廻うと ええのやんかい (よいのです)。なもでやなもでヤサヤサてんてこてん 言うて、せいしゅの もん (者) な (が) 走りきって 踝で 尻つぼってしよ おったわい (して居ました)。中で せえしゅ (施主) だけな (が) 尻つぼって 踝で きりきり舞い しよ おったのおで (して居たので) てんてこ舞い 言うて。ヤサヤサ てんてこてん 言うて 鉦 叩いて 誰それの 菩提の為に ひと (一) 念佛言うて 鉦 てん、てん、てんと 三つ 叩くのおで (ので) てんてこてん 言うんやんかい (言うのです)。その鉦い (へ) 合わして (せて) 廻う (廻る) のを てんてこてん、てんてこ舞いやった (だった) 言うて 早よ (く) 廻ると ええんやんかい (よいのです)。

**やさやさし【形容詞】** 大変優しい。

…**やし【接尾語】**です。ですし。間投助詞 や、しの重なって出来たもの (志、安、上、阿、度、北) [会話] 行くね (の) ヤシ、言うてなあ。あっちゃい (あちらへ) 行くね ヤシ、あんた (貴方) こや (これは) まあ わし (私) の もん (物) ヤシ、あんた ん (に) やられやせんわい (やれませんか) とかな。

**やしえぎす (やせぎす)【名詞】** 痩せた人。(鳥 (答志)) [会話] 痩せとん (ている) のをなあ。痩せ乾いとん (ている) のをなあ。ヤシエギスやなあ (だ) 言うて。痩せ乾いて言うねん なあ (言うのです)。もの のごお (大変) 痩せとん のを (ているのを)。やせぎす 言う人も有るし ヤシエギス言う人と。ヤシエギス 言うけど な (言います) あのひた (人は) まあ 痩せて 痩せて ヤシエギスやれ (だ) 言うて。

…**やしえん (…やせん)** …しない。しヤシエン。来ヤシエン。(北、南)

**やしき (屋敷)【名詞】** 家屋の敷地。家を作るべき地所。庭。[会話] あのひた (人は) さいめんせせり (境界犯し) や (だ) 言うて 畑でも家のヤシキでも。

**やしきあと (屋敷跡)【名詞】** 居住者の無くなった家。建て物の無くなった敷地。(度 (小俣)) [会話] ヤシキアト 言うな (のは) 家 取った た (てやった) 後をなあ、ヤシキアト 言うの なあ (です)。家 な (が) 建った た (ていた) 後を ヤシキアト。

**やしきうち (屋敷内)【名詞】** 家の敷地 (南) [会話] ヤシキウチ 言うな (のは)、家のまわりのな 庭も皆まぜてな ヤシキウチ。自分と こ (所) の 土地全部。

**やしきざくら (屋敷桜)【名詞】** 観賞用に家の庭に植え

る桜。さとざくら。[会話] 屋敷まありん (周囲に) 咲くの ヤシキザクラ。

**やしきどり (屋敷取)【名詞】** 1) 埋葬の穴掘り。(志 (布施田)、鳥 (桃取)) 2) 建築予定の場所を測量し、杭を打って区画を定める事。[会話] 1) ヤシキドリ言うて、つぼ掘り (埋葬の穴を掘る事) すんのも (するもの) ヤシキドリ。つぼ掘り ん (に) 行くと ヤシキドリん (に) 隣の人ら (を) 頼んで 言うやんない (でしょう)。2) 家 建てん のん (るのに) えごと (きちつと) すんのも (するもの) ヤシキドリ、地盤なおしたりすると ヤシキドリも えごと として (よくして) 言うて。家 建てる 時 んだ (に)、地ならしたり 杭打ったり すん の (するのを)。杭 打って糸張って きい (木) すん の (するのを) ちよおはり (帳張) 言うて。ちよおはり した よって (したから) たて まえ (上棟式) (建築が始まる) 出来 られ (出来る) 言うて。ヤシキドリ 言うな (のは) 建てる その場所を じっばん (立派に) すん のを (するのを)。

**やしきぶしん【名詞】** 家を建てる土地の整理。宅地造成。(熊)

**やしきまあり (やしきまはり) (屋敷回)【名詞】** 家の外周。敷地。[会話] ヤシキマワリ。やしき (家敷 家の立って居る土地) の ふち くた (縁) を、ヤシキマワリな (です)。ヤシキマワリい (へ) なんやかや よ け (沢山) 植えて 言う やんかい (言います)。家のまわりを ヤシキマワリ 言うの なあ (のです)。自分の土地全部を 屋敷 言うの (のです)。ヤシキマワリ 家も と も と (外庭) も みんな を (皆を)。

**やしない (やしなひ) (養)【名詞】** やしなうこと。扶養すること。食事。

**やしないおや (やしなひおや) (養親)【名詞】** 子供を貰って養育する親。養い育てた人。[会話] ヤシナイオヤ 言うな (のは)、こお (子) を やし の て (養って) 来た その親を 言うのな 養われて来た親をなあ 養父母の事をな ヤシナイオヤ。

**やしないご (やしなひご)【名詞】** 養子。(志 (鶴方、神明、立神、甲賀、国府)、度、鳥) [会話] 貰お て (貰って) 来た子、貰い子の事を ヤシナイゴ。あの家や (は) こお (子) な (が) の お て (無くて) ヤシナイゴ し と る (して居る) 言うて。あのひた (人は) ヤシナイゴや て われ (だそうだ) 言うて。ちっさい 時 (小さい時) 伊勢で貰ろて来たん て われ、大阪で貰ろて来たん て われ 言うの な (のが) ヤシナイゴや

(です)。今しで (今で) 言う と 養子。昔や (は) こお (子) な (が) 有っても 百姓 (田畑) な (が) よけ (沢山) 有る家や (は) 使う のんなあ (の) に ヤシナイゴ しよおったわい (して居ました)。けご (女中) 置かんと (ずに) わがうち (自分の家) い (へ) 貰 (て) つこて (使つて) 嫁ん (に) 行きや (行けば) 嫁ん (に) やるし。昔や (は) 子な (が) 有っても 貰 (い) する家な (が) 有りおったわい (有りました) 百姓のよけ 有る家や。子な (が) のおて (無くて) 貰 (う) 家も有るし 有っても 使う のん (に) 貰 (う) 家も 有るしなあ (有ります)。

**やしなう (やしなふ) (養) 【他ワ五】** 1) 扶養する。育てる。(南) 2) 盗む。[会話] ヤシナウ。あの子 やしのて (養つて) 来た とかな。

**やしなかず 【他サ五】** 1) 盗む。2) 面倒を見る。3) 養子にする。(南) [会話] 2) 親 養う言うて、親 飼うのを 親 養う。親 養う力もない。親も兄弟も 皆 養のた (なった) ねえもん (のだから) 言うて、親の面倒 見るのを 養う 言うて。1) 引っ張 (つて) くんのを (取つて来るのを) 何処やらで (か) じっさん (すぐに) ヤシナカシテ 来る人な (が) おるやんかい (居るで有りませんか)。此処の 賽銭 ヤシナカシテ、外の のおなら (物なら) ともかく 此の中の 壺い (へ) 入れて 引き出しに 入れて 有ったや (たら) 皆、盗まれてて (てしまつて)、そして なんやかや うさる (失せさる。なくなる) もん (で) (の) で。ヤシナカス 言う な (のは) 親の面倒 みんのと (見るのと) 盗んで くんのと (来るのと)。盗んで くんのも なんやら (何か) ヤシナカシテ 来て、ヤシナカシテ 来たんかして (来たのか) 変つた もん (物) おいとられ (置いて居る) 言うて。

**やしなれてく** 1) 嫁に行く 2) 養子に行く 3) 盗まれてしまう

**やしなれてた** 1) 嫁に行つた。養われて行つた。2) 盗られた。[会話] 1) ヤシナレテタ 言う ななあ (のは) 貰 (わ) れて た (て行つた) 言う事なしな (です)。嫁ん (に) いた (行つた) のもなあ まあ あの家ん (に) ヤシナレテタ 言うて。嫁ん (に) もろ (て) (貰つて) もおたり (貰つたり) その家ん (に) やし (の) のて (養つて) もろたり (貰つたり)。ヤシナレテタ 言うのは 嫁に いた 言うね (言うのです)。そして 子供の無い家い (へ) 子供 養われてく (て) いく) やんない (でしょう) それも ヤシナレテタ。

**やしのお (やしのう)** 1) 扶養する 2) 盗む

**やしのて** 1) 養つて。扶養して。(伊) 2) 扶養して下さい。3) 盗んで。[会話] 1) あの子 ヤシノテ 来て 言うて。もろて (貰つて) 来た 言うのをなあ ヤシノテ 来て 言うてなあ。御飯 食べさせたり なんやかや (いろいろ) すんのもなあ (するの) あの子 養なわな (なければ) はざん (いけない) ので言うて。3) 盗んで来る 言うのも ヤシノテ 来て 言うてな。盗んで来た のお (のを)、あしこ (あすこ) で ヤシノテ 来たんよお (来ました) 言うて。のお (お前は) 小父さんと 行くかあ (行くか) 言うて ヤシノテ 来て言うて。

**やしのてく** 盗んで行く

**やしのとる** 扶養している。養っている。[会話] 食わしとんのを (ているのを) こおとる (飼っている) 言うのをなあ ヤシノトル。まあ おらな (俺が) こおとんね (飼っているのだ) 言うのを ヤシノトル。ええ (よい) 人らな (が) 言う と ヤシノトル 言うん けどな (言うのですが) あや (彼は) まあ 食わしとん ねど (ているのだ) 言うて。あの子 食わさんならん (食べさせなければいけない) のお (で) 言うのな。養う事をな、婆でも爺でも わがとら (自分) な (が) 食わしとると (ていると) おらな (俺が) ヤシノトル とか、食わしとる とか 言うのな (です)。

**やしやご 【名詞】** 玄孫。(志 (浜島、布施田、鶴方)、鳥 (鳥羽、答志)、桑郡、鈴市、安、一、多、度、伊、北、南) [会話] 孫、曾子、ヤシヤゴ。ヤシヤゴ 抱いとる (て居る) にげや (人間は) そげん (そんなに) よけ (沢山) ないわい (有りません)。ヤシヤゴ 四代目、五代目 ん (に) になると ずんずらごや (だ) 言うて ずんずらご は めつたん (に) 無いわい。ヤシヤゴは 結婚な (が) 早いと 有るわい (有ります)。ヤシヤゴは 九十も生きな (なければ)。子は白で 孫な (が) 赤で 曾孫な (が) 黄で ヤシヤゴな (は) 紫で。(葬式のぜんの綱の色)。

**やしよく (夜食) 【名詞】** 夕飯後、就寝前にとる簡単な食事。[会話] 夕飯喰うて 寝る前ん (に) 喰うのな (のが) ヤシヨク や (です)。ヤシヨクも 喰わな (なければ) 腹な (が) へつたれ (すいた) 言うて。しよおろさん (精霊様、先祖) にも 昔や (は) 皆 ヤシヨク 喰わしおつたんなあ (食べさせて居たのです)。瓜 供えたり 西瓜切つて供えたりして ヤシヨク 供えな (なければ) はざんわれ (いけない) 言うて。昔や (は) ヤシヨク 喰わしおつたわい (食べさせて居ました)。

**やじろ (弥次郎)。**やじろもち【名詞】うるちの混じた餅。弥次郎(よく嘘をつく者)から来た語か(志(鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、度、津、松、鳥、北、尾、南) [会話] ヤジロモチ言うて ただまい (うるち米、飯用の米) を もちねい (餅米に) 混ぜると、ただまいは 餅ん (に) ならせんね (ならないのです)。そやもんで (それで) もちね 一升い (へ) ただまい 五合でも 一升でも 混ぜる やんない (でしょう)。そすと (そうすると) もちね は 餅みたよん (のように) なるし ただまいは 粒なり (粒のま) で おるよって (いるから) いもくさ (あばた面) みたよおなのおで (のようなので) そんで (それで) なんでも (何でも) ぶつぶつしとると (して居ると) ヤジロモチ みたよななあ (のようだ) 言うの (のです)。もちね 足らん時に ヤジロモチ 搦こやんかれ (搦きましょう) 言うて ただまいを混ぜると そんな (それが) ぶつぶつと 米粒そのま おんねやんかい (居るのです)。そやもんで (それで) ぶつぶつしとると (して居ると) ヤジロモチ みたいななあ 言うて。にきびで こお しとんの (して居るのを) 見ると あの顔 見よまあ (見なさい) ヤジロモチ みたいななあ 言うたり、なんでも ぶつぶつしとると (して居ると)。

**やしんぼ【名詞】** 食い意地の張った人。いやしん坊。(上、阿、張、名)

**やす【名詞】** 安く。(伊)

**やす** 動詞についてさせるの意。(桑市、員、上、阿、張) [用例] 用事 シヤス

**やすあがり (安上)【名詞】**【形容詞】 安い費用で済むこと。

**やすあがる** 安くなる。安くつく。[会話] 二軒な 分けて すや (すれば) ヤスアガル やんかあ (でないか) 言うて。やすなる 言うのを。

**やすい (安、易)【形容詞】** 1) 安価である。2) 容易だ。たやすい。(志、北、南) 3) 安産である。さんなヤスイ。(志、北、南) [会話] 1) 物な (が) ヤスイ。今日は 売り出して 卵な (が) ヤスイ 言うて。売り出し やよって (だから)、今日は ヤスイね (のだ) 言うて。紙 こおたり (買ったたり) 野菜もん (物) 買おたり。2) それと 簡単に出来る事なあ (を) タヤスイ。なんでも (何でも) あげん (あんなに) もの タヤスウ 言うて、からうけやいして 言うて。タヤスイ そんな (それが) タヤスウ (簡単に) 出来る事 やらかれ (事で無い) 言う時もあるし、

そいなもんなあ (そんなものは) タヤスイわれ (です) 言うて 軽々し 言う時もあるし (有ります)。

ヤスイ タヤスイ 言うね (言うのです)。

**やすう【形容詞】** 安く(三、伊、北) [会話] 安く 言うんかい (言うのですか)。ヤスウ こおて (買って) 来た事。こや (これは) ヤスウ かったんど (かったのだ) 言うてな ものすごお (大変) 安いとな。今日は まあ さいら (秋刀魚) な (が) ヤスウてな こおて (買って) 来たれ (来ました) ヤスウ かったれ (かったのだ) 言うてな。

**やすうに** 1) たやすく、容易に 2) 安くに、安価に。

**やすうもおけた** 安産だった。簡単に産んだ。(志)

**やすかるかい。やすかるかな (女性語)。**やすかるかれ 安く無い。高価だ。

**やすだ** 休んだ。寝た。[会話] 今日は ものぐそおて (調子が悪くて) 仕事ヤスダ。

**やすだかい** 寝ましたか。

**やすだらんかい。やすだらんかな (女性語)。**やすだらんかれ 休みなさい。休んでやりなさい。やすだれ参照

**やすだれ** 1) 休みなさい 2) 寝なさい 3) 休みました 4) 寝ました [会話] やすんだれ (休みなさい) やなしん (でなくて) ヤスダレ。ヤスダレ まあ ヤスダランカレ (休みなさい) まあ そげん (そんなに) かいだりきや (だるければ) 言うて。休みなさい 言うのと 寝なさい 言うのと。

**やすつく** 安上がりだ。安くつく。(上、阿) [会話] そやまあ (それは) 二軒 な (が) 分けて すや (すれば)、やすあがる (安くなる) やんかあ (でないか) 言うて。ヤスツク 言うの やすあがる 言うのも やすなる (安くなる) 言うの (のです)。

**やすでくれえ** 1) 夜、別れの挨拶。おやすみなさい。2) 休みなさい。

**やすどく** 1) 休んでおく 2) 寝ておく

**やすどこ** 1) 休んでおこう 2) 寝ておきなさい 3) 休んでおきなさい 4) 寝ておこう

**やすどる** 1) 休んで居る。どる。とる。して居る。(志、度) 2) 寝て居る。[会話] 1) 今日は ものく そおて (だるくて、病気で) ヤスドル (休んで居る) 言うて。工場 い (に) でも 何処いも (へも) 行かん と (行かずに) おると 今日は ものく そおて 休ん どんねよお (休んで居るのだ) 言う時もあるし。ものく そおて 仕事 ヤスダ (休んだ) とか。休憩 しとる (して居る) 時も ヤスドル (休んで居る)。

**やすない** 安くない。高価だ。  
**やすなる** 安くなる。やすつく参照  
**やすまる** (休)【**自ラ五**】1) 楽になる。静まる。やすまる。2) 疲れが取れる。  
**やすまんかい**、**やすまんかな** (女性語)。**やすまんかれ**  
1) 休憩しなさい。2) 寝なさい。  
**やすまんせ** 1) 休憩しなさい。2) おやすみなさい。  
**やすみざけ**【**名詞**】就寝前に飲む酒。晩酌。[会話] ヤスミザケ ぐらいなら ええんけど (よいのだが)、まあ あくらかいん (目茶苦茶に) 飲む やんない (でしょう)、そいな (そんな) 人を さけくらい (大酒飲み) や (だ) 言うねんなあ (言うのです)。  
**やすむ**【**自マ五**】1) 休憩する。2) 寝る。(志(片田)) [会話] 1) 仕事なあ よけ (沢山) しとて (して) かいだり (疲れた) もんで (ので) ヤスモカ言う時も ヤスモ 言うしなあ。2) そして よさり (夜) 寝よやあ (寝なさい) 言うのも まあ やすまんかれ (寝なさい) 言うてな。会社も えらい時 (疲れた) ん (に) ヤスムの まあ やすめまあ えらい (大変だ) 言うてな きつかったら やすめえ 言う時も 有るしなあ。(有ります)。ヤスモ 言うのは休憩する 言うのと、寝る 言うのと。夜はなあ 訪問しとて (して) 帰る時んなあ (に) やすめやあ 言うのは 寝よや (寝なさい) 言う事や (です)。さよなら 言う言葉やけど (だけれど) まあ 行く時ん (帰る時に) やすめやあ 言うといて (ておいて) くんね (来るのです)。寝よや 言うといて くんね。夜やもんでなあ (なので)。昼はまあ 自分が 仕事して かいだりと、まあ やすもか (休みましょうか) 言うと やすもや (休みましょう) 言うてな。  
**やすめ** (休) 1) 休みなさい。休憩しなさい。2) 寝なさい。3) 夜の別れの挨拶。おやすみ。[会話] 2) おや (俺は) 行くわ (帰ります)。ヤスメヤア言うて、行く時んなあ (に) さよなら 言うて 行くのを、ヤスメヤア言うて、ヤスメエ とかな。ヤスメエ 言うて 男の人ら 言うしな (言います)、おなご (女)の人ら ヤスメヤア言うて。1) ヤスメエ 言う時は休憩しなさい 言う時と 寝なさい 言う時と。よさり (夜) 行く時ん (帰る時に) ヤスメヤア 言うな さよなら 言う事をなあ。行くのん (帰るのに) まあ遅なってくよってん (ていくから) 行くわ (帰ります) ヤスメヤア まあ言うてな。  
**やすめえ** 1) 寝なさい。男性言葉。やすめ参照(北)  
2) 休憩しなさい。

**やすめまあ** 1) 休みなさい 2) 休憩しなさい 3) おやすみなさい  
**やすめや**、**やすめやあ** 1) 寝なさい 2) 休憩しなさい。やすめ参照 3) おやすみなさい。女性言葉。(南)  
**やすめよ**、**やすめよお** 1) 寝なさい。夜、別れの挨拶。目下の者に。2) 休憩しなさい。(南) [会話] 2) 目下のもん (者) に 言う時 ヤスメヨオ 言うて。目上の人ん (に) 言う時 やすめえ とか、ヤスメヤア とかな (です)。ヤスメヨも やすめやも 一緒や (です)。“よお”も“やあ”も一緒や。  
**やすめる** (休)【**他マ下一**】1) 気を落ちつかす。安心する。2) 体を労る。休憩する。休む。  
**やすも** 1) 休憩しよう。休もう。(志) 2) 寝よう。[会話] 1) ヤスモ 言うと 自分な (が) 一人でおつてなあ (居て) おら (俺は) まあ ちよいと (少し) ヤスモ 言うてな。一人で 言う時は ヤスモ 言うてな、みんな (多勢) で おる (居る) 時は ヤスモヤ (休みましょう) 言うたりな、ヤスモカ (休みましょうか) 言うて “や”か “か” つけんのなあ (つけるのです)。ヤスモ言うて 休憩しよお言うのと 2) 寝よ言うのとな。  
**やすもか** 1) 休みましょうか。やすも参照 2) 寝ましょうか。  
**やすもに** 1) 休憩しましょう 2) 寝ましょう  
**やすもや** 1) 休憩しましょう。やすも参照 2) 寝ましょう。  
**やすもん** 1) 休憩しよう 2) 寝しよう  
**やすもん**【**名詞**】値の安い物。安物。  
**やすもんかい**【**名詞**】値の安い物を買う事、又その人。安物買。[会話] ヤスモンカイノ ゼニウシナイ。じつきん (すぐに) ヤスモン (安物) 買うね (買うのです)。ヤスモン 買うと じつきん たんのして (飽きて) ぜん (銭) ほったるよおな (捨ててやるような) もんや (ものだ) もんで (ので)、銭失い 言うてな。安いもん (物) ばっか (ばかり) 買うと じつきん 飽きな (が) 来るやんない (来るでしょう)。じつきん 破れてたりな (ていったり) 壊れてたり するしなあ そやもんで (それで) ヤスモン買いの 銭失い言うて。  
**やすやす** (安)【**副詞**】非常に安い値。ヤスヤスで売った。  
**やすやど** (安宿)【**名詞**】宿泊料の安い粗末な宿屋。  
**やすらぐ** (安)【**自ガ五**】安らかな気持になる。おだや

かな気持になる。

**やすり【名詞】** 暗礁 固有名詞になっている。(志)

**やすんだかい。やすんだんかな【女性語】** 寝ましたか。

[会話] 寝たかい (寝ましたか) 言うな (のは) ヤス  
ンダカイ 言うて

**やすんだれ** 1) 休みなさい。2) 寝なさい。3) 休み  
ました。4) 寝ました。[会話] 1) まあ そげん (そ  
んなに) ぐあい (調子) な (が) わりきや (悪けれ  
ば) 今日は ヤスンダレ。そげん かいだりきや (だ  
るければ) ヤスンダレ 言うてな 休みなさい 言う  
のを。ヤスンダレ やなしん (でなくて) ヤスダレ。  
ヤスダレマア やすだらんかれ そげん かいだりき  
や 言うて 休みなさい言うのと 2) 寝なさい言うの  
と。

**やすんで** 1) 休憩して 2) 寝て

**やすんでえ** 1) 休憩して下さい。2) おやすみなさい。

**やすんでくれえ** 1) 夜 別れの挨拶 2) 休んで下さ  
い

**やすんどる** 休んで居る。寝ている。やすどる参照  
[会話] 今日は ものくそおて (調子が悪くて) ヤス  
ンドル。

**やせ【瘦】【名詞】** 痩せている人。[会話] ヤセギツ  
ヨ。痩せて痩せて しとんのを (しているのを) あの  
人 まあ ヤセやれ (だ) 言うて やせぎすやなあ  
(だ) 言うてな。

…**やせ** 動詞についてさせるの意。寝ヤセ。来ヤセ。  
(志)

**やせいん【名詞】** 痩せ犬。痩せている犬。[会話] 痩せ  
犬の事を、あや (あれば) まあ ヤセイんやなあ  
(だ) 言うて。痩せとると (ていると)。犬 言うの  
を いん言うね (言うのです)。犬の子 言うのを  
いんの子や (だ) 言うて、犬言わんと (言わずに) い  
んや (だ) 言うて ヤセイんや (だ) 言うね。

**やせかわく【自ワ下一】** 1) 痩せてひからびる。2)  
精気がなくなる。[会話] 1) ヤセカワク。まあなあ  
あやな (彼は) ぐわい (調子) な (が) わりいて (悪  
くて) ヤセカワイてたれ (ていった) 言うてな。骨と  
かあ (皮) ぼかやれ (ばかりだ) 言うてな、随分 瘦  
せとんのおを (ているのを)。

**やせぎす【名詞】** 1) 体がやせて、骨ばって見える事、  
又そのさま、そのような人。(志 (浜島、布施田、鶴  
方、神明、立神、志島、国府)、上、阿、張、名、  
南) 2) 物が小さくなる事。[会話] 1) 痩せとる (て  
居る) 人を ヤセギスやなあ (だ) あや (彼は) 言う

時も 有るし。2) 不景気ん (に) なって げんつ (店  
の名前) の餡な (が) ちっそおなつたや (小さくなっ  
たら) やせてたや (ていったら) 夏痩せした 言うて。

**やせぎつちよ【名詞】** 痩せて居る人。[会話] 痩せて  
痩せて しとんのを (ているのを) あの人 まあ ヤ  
セギツちよやれ (だ) 言うて。

**やせぐすり【瘦薬】【名詞】** 痩せるための薬。[会話]  
痩せるための薬 ヤセグスリ。

**やせこ【瘦子】【名詞】** 痩せている人。特に子供。[会  
話] ヤセこやなあ (だ) 言うて、痩せとんのを (な  
あ (ているのを))。ヤセこや (だ) 言うて。痩せとる子  
供を 言うんかい (言うのですか)。大人でも あ  
の人 ヤセこやなあ (だ) 言うて 言うんかい (言  
います) 痩せとる (ている) 人見るとなあ、ヤセこやな  
あ あのひた (人は) よお (よく) 痩せとんなあ (て  
いる) 言うてな

**やせこける【自力下一】** 痩せる。大変痩せる。こける  
(憔悴) クク (漏) の意の移った語 (大言海) [会話]  
痩せて ものすごお (大変) ヤセコケトル事も げつ  
そり 痩せとんなあ (て居る)。

**やせこ、はいなたかる【俚諺】** 弱い者は更に害を与えら  
れる。

**やせぢ【瘦地】【名詞】** 痩せている土地。肥料の少ない  
畑。(南) [会話] ヤセぢで なんも (少しも) 出来  
やせん (ない) 言うて。土な (が) 痩せとんの (て  
いるのを) ヤセぢや (だ) 言うて。此の畑や (は) ヤセ  
ぢやなあ (だ) 言うて。

**やせつち【瘦土】【名詞】** 地味の豊かでない土地。痩せ  
て作物のよく育たない土。[会話] この土や 痩せと  
て (ていて) なんも (少しも) 出来やせん (ない)。  
堆肥やらな (やらなければ) はざんわれ (駄目だ) 言  
うてな。やせぢで なんも 出来やせん 言うて、土  
な 痩せとんの (ているのを) やせぢや (だ) 言うて。  
此の畑や やせぢやなあ (だ) 言うて ヤセツチ。

**やせつびいのみなはいつたよおな【俚諺】** 苛々言う。  
[会話] ヤセツびい (女陰に) ノミナ (が) ハイッ  
タヨウな (だ) 言うて。苛々 言うて ヤセツびい ノ  
ミナ (が) ハイッタヨオン (ように) いらくら いら  
くら 言うて。

**やせつぶ【名詞】** 痩せて居る貝。

**やせばたけ【瘦畑】【名詞】** 肥料の効いていない畑。作  
物の育ちの悪い畑。[会話] 堆肥 よけ (沢山) やる  
と、土な (が) くうろお (黒く) なるわい (なりま  
す)。ヤセバタケや (だ) 言うて 土な (が) ちよい

と (少し) あっかい (赤い)。

**やせほそる** 非常に痩せている。やせかわく。やせこける。(志 (布施田))

…**やせん** 打消。しない。(志、鳥、桑市、桑郡、三、四、鈴、鈴市、亀、安、一、久、津、阿、度、伊、北、尾、南) [会話] 仕事も おら (俺は) かいだりて (だるくて) シヤセンネ (のだ) 言うて。どじもんぐさ (怠け者) で、なんも (少しも) 仕事も シヤセン あや (彼は) 言うてな。自分な (が) する事も シヤセン 言うて。おら (俺は) シヤセン 言うて 言うし。人な (が) シヤセン のも どじもんぐさ (怠け者) で なんも シヤセン 言うてなあ。しない なんも しない。ぼさっとしとて (していて) まあ あや (彼は) 言うてな。ぼさっとしとて あや (彼は) どじもんぐさ (怠け者) やどお (だ) 言うてな。おら (俺) も なんも (全く) シヤセン 肩な (が) 凝って言うて。

**やぜん** (夜前) 【名詞】 昨夜。夜前。きのうの夜。昨晚。(志、鳥、松、桑市、員、鈴市、一、多、上、阿、張、北、尾、南) [会話] ヤゼン 渡した あの文を おまはん なんと 読まはした 言うて 前の晩の事、ヤゼンや (と) 言うて。

**やせんま** 【名詞】 瘦馬。痩せた馬。痩せて居る人。[会話] あや (あれは) ヤセンマやなあ (だ) 言うて、痩せとる (ている) 馬はなあ。にげ (人間) でもなあ 痩せとる (ている) もな (者は) ヤセンマやなあ (だ) 言うなあ。痩せとる人、見ると言う時も 有るけどなあ (有ります)。

**やぞ** 【助動詞】 だぞ (志、桑郡、桑市、飯、松、多、阿、度、北)

**やぞい** 1) ですか。何ですか。2) です (志) [用例] 1) そやなんヤゾイ (それは何ですか)。

**や、そおな** だそうだ (四)

**やた** 稲穂の穂首より落ちたもの、又榎のついた穂先。(志 (甲賀)、一 (境)、鈴市、安、松、上、阿、張、名) [会話] ヤタ。稲こくと こいても えごっと (完全に) こけん (と) (ずに) ほお (穂) な (が) 折れて しとんのおを (して居るのを) ヤタ 言うの (のです)。穂な (が) 折れて しとんのおを 又 干し といて (ておいて) 叩きおったわい (居ました) ヤタ 叩く 言うて。稲こきで こくと 皆 ばらばらん (に) なつてく (て行く) やんない (でしょう)。それが ならんと (ならず) 穂な (が) 千切れて へ しよれてくと (折れて行くと) 機械へ かからせんも

んで (ないので) 穂なり (のまゝ) 残つとるもんで (て居るので) 穂ばつか (ばかり) のおを (のを) 干 して ヤタ 叩く 言うて。穂首から 取れてく (て行く) のを ヤタや (だ) 言うて。麦のすっぽや (です)。麦や (は) すっぽ 言うし (言います)。米は ヤタ 言うし。麦は 穂な (が) みい (実) な 落ちて かんと (落ちていかずに) おんのおを (いるのを) すっぽ。すっぽな (が) よけ (沢山) 出来て 言うて。すっぽな (が) よけ (沢山) 有つて すっぽ 叩かな (なければ) はざん (いけない) 言うし。ヤタ 叩かんとおつて (叩かずにいて) 言うて、すくで (藁のくず) あらし (風) で 吹っからかして (吹き分けて) みい (実) だけ残つて ヤタ 干しといて (ておいて)。機械かけると ばらばらん (に) 靱な (が) なつてくんやんかい (なつて行くのです)。そやけど (しかし) 穂な (が) しとるもんで (付いて居るので) とおし (篩) で 通すと ヤタ だけ残るんやんかい。(残るのです) ごみと ヤタと してあんの (有るのを) 又 たてといて (風でより分けて) ヤタ だけ残つて それ 干しといて (ておいて) 叩くんやんかい (叩くのです)。叩くのおな (のが) つらまし (つらい) かった。はしこおて (はしかくて) つらましかりおつた (かったのです)。

**やたい** (屋台) 【名詞】 屋台。祭礼の練物。山車。

**やだいく** (家大工) 【名詞】 家を建てる大工。船大工などに対して。[会話] 船大工 今しや (今は) ヤダイクや (です)。

**やたけ** 【名詞】 【形容詞】 無茶苦茶に。いよいよ激しく。勇み立つこと。[会話] 坊主 抱いて寝や (れば) ヤタケ に 可愛い 何処を撫でて も すべすべと。

**やたけた** 無茶苦茶 (志 (神明、志島、甲賀、安乗)、度)

**やだつた** 動詞について、しなかつた意。[用例] なんも シヤダツタ (何もしなかつた)。(志)

**やだつて** 動詞について、しなかつての意。(志)

**やたら** 【形容詞】 1) 無闇 2) 無茶。でたらめ。

…**やたら** だとか。(安、上、阿) [会話] すき焼の具 ヤタラ、五目 (ませ飯) のぐ。

**やたらん** 無闇に。無茶に。(志 (片田))

**やつ** (奴) 【代名詞】 1) 他人を卑しめて言う語。(松、多、張、伊、北) 2) 物、そこん有るヤツ。[会話] 1) あのヤツ あ (は) 言うて。あのヤツめ このヤツめ 言うて。腹の立つとる (ている) 時 になあ。あの人 な (が) 言うのを、あのヤツな (が) まあ 言うてな。

そして こいつな (が) 言うたりな。子供やどけ (などが) すると こいつな (が) まあ あんごして (馬鹿で) 言うてな。名瀬のうい (に) 行くとなあ やつめを 売りん (に) 来て 道ばた で 売とる (ている) もんで (ので)、けえさつ (警察、巡査) ななあ (が) <sup>1)</sup> このヤツめ (奴め) 言うたら はい このヤツめ は 三銭 です 言うて、太いヤツめ 言うたら (言ったら) 太いヤツめ は 五銭 です 言うて。みちなか (道中) で 売とる もんで、けえさつ な (が) みちなか (道中) で 売とる 言うて このヤツめ 言うたや (言ったら) そげん (そんなに) 言うて けえさつ (警察) あ (は) 弱ったね (困ったのです)。

**やっかい** (厄介) 【名詞】 面倒を見ること。世話すること、また面倒を見てもらう事。世話になること。  
(南) [会話] ヤッカいな 奴やなあ (だ)。ヤッカイもん (者) やなあ 言うて。なんも ならんで (役に立たなくて) ごろごろ しとる となあ (していると)、なんも (何も) ならんと ヤッカイもんで まあ 仕事 も よおせん しなあ (出来ないし) ぜん (銭) も 稼 ぎん (に) 行かんと (行かずに) おるやんない (居るでしょう)。まあ ごろごろ と遊んで そすと (すると) このヤッカイもん な (が) 言うてな、食わさん ならん (食べさせなければいけない) ヤッカイもんで へえ (屁) ん (に) も ならせん ねない (ならないのだ) 言うて。ヤッカイ 言う時は 面倒。なんも (何も) せん (しない) 面倒 ばっか (ばかり) かけとる (ている) もん (者) を ヤッカイもん や (だ) 言うてな。

**やっかいかける** 面倒を見て貰う。世話になる。仕事などをして貰う。[会話] ヤッカイカケテマア 言うて。なんも (何も) せんと (せずに) おって (居て) その家で 世話ん (に) なつとると (していると) ヤッカイカケル 言う。

**やっかいもん** (やくかいもん) 【名詞】 厄介者。他人に迷惑をかける者。世話のかかる人。慢性の病人。老人。子供にも言う。やっかい参照 (鳥、上、阿、張、南) [会話] じゃまもん (邪魔物) の事や (です)。畑に こおぶし (雑草) 田に びりも (水草) 本家に 小母 (未婚の女性) は いなん (いらぬ) もん 言うて。本家ん (に) 小母 (未婚の女) な (が) 有るとなあ ヤッカイモン や (だ) 言うて 言われん (言われるのです)。

**やっからかい** 倒れる。

**やっからかい** った。やっからかえ った 倒れた。転んだ。  
[会話] ヤッカラカエッタ てやら (とか)、ひっくり返 った てやら 倒れた言うの (のを) ヤッカラカエッタ 言うの (のです)。

**やっからかえる** 倒れる。

**やっからかさ** 倒される。

**やっからかす** 倒す。倒れる。こぼす。まける。[会話] 風 な (が) 吹いて ヤッカラカス 言うて、なんやかや な (が) 吹けると よけ (沢山) 吹いて なんも か も (なにもかも) ヤッカラカス。まけた るやん ない (こぼすでしょう) それも ヤッカラカス 言うの な し (です)。いれもん (入れ物) に あんの を (有るのを) ヤッカラカシタタレ (てしまった) 言うて か やす (ひっくり返す) と ひっくり返 した て (てしまつて) 言うて。小屋 組 んだり して 倒れても ヤッカラカエッテ タ (て行った) やら (とか) ひっくり返 つて た やら でんぐり返 つて た やら 言うて。昔の事 嘘 や か (だと) 思う けど (けれど) ほん と (本当) も 有ん ね なあ (有るのです)。三隣亡 ん (に) 建 てもん (物) する とか え つ て く (ひっくり返つて行く) 言うて。朝鮮行て (行つて) 工場 かけ ご や み たい な のお や けど (のようなものだが) や うち (一同) な (が) いっしよ けん め (一生懸命) で 小屋 組 み した や その日 三隣亡 知ら んと (知らずに) し た や (したら) あ した (明日、翌日) 朝 ん (に) な つ たら か え つ と た の (ひっくり返つて居たのです) そのかけご や な (が)。かけ ご や (掛け小屋) 言うと じ っ き ん (すぐに) うち や つ た ん ね よ つ て (壊してやるのだから) ト タン 葺 き と か か や 葺 き と か 言 う て す ん の を (するのを) かけ ご や 言うて。かけご や 言うて 完全 な 家 や (で) ない けど (が) や う ち (仲間) な (が) 半年は 住 まい な 出 来 ん ね や ん か い (出来るのです)。

**やつき** 【名詞】 八月。妊娠八ヶ月。[会話] 妊娠のヤ ツ キ (八ヶ月) か い (ですか)。ヤ ツ キ (八ヶ月) め 言うて 妊娠八カ月。や あ つ き ご (八ヶ月子) は 育 つ 言うてな。こ こ の 月 ご (九ヶ月子) は 育 た せ ん (ない) 言うて ヤ ツ キ ゴ 言うのは 八ヶ月で 出 て 来 て も それ は 育 つ ん け ど な あ (のだが) 九ヶ月の こ お (子) は 育 た せ ん (ない) 言うて。

**やつき** (やくき) (躍起) 【名詞】 【形容詞】 一生懸命。熱中して事を行うさま。

**やつきご** 【名詞】 妊娠八ヶ月で生まれた子供。やつき参照 (張)

**やつきばら【名詞】** 妊娠八ヶ月の腹。一番目立って大きい。

**やつきんなつとる** 一生懸命になって居る。(志(布施田))

**やつくち(八口)【名詞】** 癰、癤が密集し、蜂巢状をなし、皮下に拡大したもの。[会話] ヤツクチ 言うて 昔や(は)出来もん(物)な(が) しよおったね(して居たのです)。口な(が) 幾つも有って どいらい(大変)としる(分泌物)な(が) 立って、治りのくいのおな(治りぬくいのが) あんねてや(有るので)。ヤツクチやなあ(だ) 言うて 穴な 口な(が) やつつ(八ヶ) あんねてや。れえこん(蓮根) みたよん(のように)。出来もん(物)な(が) 出来て うじゃけて(化膿して) 腐肉な(が) 付くやんない(でしよう)。それを えごっと(完全に) 拭いて(ておいて) 見ると 幾つ 言うて。 れえこん みたよん 穴な(が) あいとんね(あいて居るので)。まままま こや(これは) ヤツクチや(だ) 言うて。 膿な(が) 出て 治りのくうて(にくくて) いつなたっても(いつ迄も) うじゃうじゃ したると(して居ると) ヤツクチやよつて(だから) 治りのくいんよお(にくいのです) 言うて。れえこんは 蓮根の事。

**ヤッケ【名詞】** Wind Jaekkeの略。防風用の上衣。

**やつこ。やつこだたみ【名詞】** 縁どりのして無い畳。(志(甲賀)) [会話] ヤッコダタミ 言うて、ヤッコ 言うけどなあ(言います)。へり(縁) 付きと、ヤッコと 言うて。へり付きは 上品やけど(だが) もちな わりし(悪いし)、ヤッコは いかつうて(強くて) ええね(よいのです)。

**やつこらしよ。やつこらせ【感動詞】** 1) 重い物を動かす時の声。どっこいしよ 2) どうにかこうにか

**やつさもつさ【副詞】** 1) 大勢でごった返すさま。大勢で争うさま。大騒ぎ。もめごと。いざごぎ。(志(布施田)、松) 2) 口やかましく言うさま。3) 気の急ぐさま [会話] 1) はよ(早く) 此れも したらな(してやらなければ) はざんわれ(いけない) 言うたや(ら)、ヤッサモッサで やうち(一同) な(が) したよお(しました) 言うて。ヤッサモッサで した言うし。くちあらそい(口争い) すんのも(するもの) ヤッサモッサ 言うて、せりやい(争い) したれ(しました) 言うて、口喧嘩する事 ヤッサモッサ 言うて。1) 仕事でも早よ やうち な 寄って来て

(集まって) したろやんかれ(してやろうでないか) 言うと、やうちな 寄って来て ヤッサモッサで やつたれ(してしまえ) 言うて。大勢な(が) ちやつちやと(じきに) 早よおに(早く) したる(してやる) 事、3) ヤッサモッサに。今日の内 決めたれ(終わってしまえ) 言うて。2) 口争いしする時も なんやら(何か) ヤッサモッサ 言うて せりやい(喧嘩) したたなあ(して居た) 言うて。3) ヤッサモッサと 気が揉める 言う時も 有るわい(有ります)。気な(が) 揉めて 気な揉めて仕方ない時。

**やつし【名詞】** 身なりを整える事。おしゃれ(志、鳥、阿、張、名、南)

**やつしころばす** 飾り立てる。最大限にめかす。

**やつして** おしゃれして、めかして。

**やつしやり【形容詞】** 細く弱々しいさま

**やつしんよいさ。やつしんよいよ【感動詞】** 櫓を漕ぐ時の拍子。[会話] どびよおし(櫓拍子) ヤッシンヨイヨイ 言うて。ヤッシンヨイサ 言う

**やつす【他サ五】** めかす。めかしこむ。化粧する。身なりや顔などを飾る。(志(布施田、鶴方、神明、甲賀)、鳥(答志)) [会話] ヤツス 言うな(のは) お洒落する事。あやあれ(あれ) ヤツシテ あやまあ(彼女は) おじ な あんのかして(有るのか) 言うて よお言うやんかい(よく言います)。伊達こく てやら(とか) 伊達こいて 来たよつて(から) おじ(情夫) な(が) 出来たんかいなあ(出来たのか) えらい(大変) 伊達こいて来たない(来ました) 言う時もあるし(有ります)。お洒落する事を 伊達こくとか ヤツスとか 言うのなあ(のです)。“お洒落 洒落ても 惚れてな(が) なけな(なければ) 付けた おしろい(白粉) 無駄になる 井戸に 釣瓶 の無い如く” 言うて 釣瓶な(が) のおて(無くて) 水な(が) 汲まれやせん(汲めない) 言うのも 一緒でお洒落洒落ても 惚れ手(惚れる人) な 無けな(れば) なつとも(なんとも) しょおな無い(仕方がない)。

**やつすい【形容詞】** 1) 安い(安) 2) 簡単だ。(南、熊) [会話] 2) 産(出産) な(が) やすい とか、1) 物がやすい とかな。安い 言わんと(言わずに) ヤッスイ 言う。おおた(ああ) ヤッスイよ(です) 言うて、ものすごい(大変) 安いのを 見るとな。2) こいな(こんな) 事 ヤッスイやんか(でないか) おんな(俺が) したられ(してやる) 言うて。仕事も ヤッスイ言うしな(言います)。こいな もな(も

のはしやすういわれ (です)、だれ (どれ) おんな  
(俺が) ちょいちょいと したるわ (してやる) 言う  
てな。

**やすうい** やすい参照 1) 非常に安い。2) 非常に  
簡単だ。

**やった** 1) 仕上げた。終わった。2) 与えた。あげた。  
3) だった。(肯定の意を表す)。(志(片田)、鳥、桑  
市、三、四、鈴市、亀、安、津、一、松、上、阿、張  
度、伊、北、南) 4) なかった(否定を表す)(志  
鳥、松) 5) 失敗した。[会話] 3) 此れ ヤッタ (だ  
った)、あれ ヤッタ 言うて。1) それから 仕事し  
とて (して居て) 完成すると ヤッタ 言うて 喜ぶ時  
な(が) あんなあ (有ります) 男の人らな (が)。5)  
なんやかや (何、彼) うちやったても (壊してしまっ  
ても) ヤッタヨオ (やってしまった) 言うて 失敗  
した時。2) 人に物 やんのも (やるのも) ヤッタ。 ヤ  
ッタレ (やりました) 言うて あんたん (貴方に) 此  
れ やるわい (あげます) とか、仕事して来たのおで  
も なんでも やってきたんかい (きたのですか) 言  
うて 言うし (言います)。飯 喰う時でも ヤッタ  
カイ (食べましたか) 言うのも 有るやんかい (有り  
ます)。 やらんかい (食べませんか) てや (と見え  
ば) やって来た (食べて来た) 言うて わしら (私  
達) 笑いおった (笑いました)。変な とこい (とこ  
ろへ) 取ると、やったかい てや やって来た 言う  
て。 おらまあ (俺は) あの事 (性交) やって来た 言  
うて 男の人ら 言うし (言います)。 やらかした  
(しました) かい (か) 言うて やらかして来た 言  
う

…**やった** だった、であった

**やったかい** 1) 食べましたか。2) しましたか

…**やったかい** そうでしたか。

**やったけど** 1) だったけれども(鈴市) 2) しまし  
た

**やったた** 1) してしまった。壊してしまった。(北)  
2) やっつけた。3) 与えた。4) 逃した。[会話]  
1) おんな (俺が) 此れ したたもんで (してしまっ  
たので)、ヤッタ もんで 言うて なんやかや  
(色々) しもたても (悪くしても)。

**やったたもんで** 1) してしまつたので。2) 与えたの  
で。3) やっつけたので。[会話] 1) おんな (俺が)  
此れ したたもんで (してしまつたので) ヤッタ タモ  
ンデ 言うて。 なんやかや (色々) うちやったても な  
(壊してしまつても)。

**やったない** 1) 与えた。呉れた。2) しました。終  
りました。[会話] 1) あれん (彼に) ヤッタ ナイ 言  
うて くれたても (くれてやつても) ヤッタ ナイ 言  
うて。

…**やったない** でした

**やったねもん** あげたのだから

…**やったねもん** だったのだから。だったから。[会話]  
始めから そおヤッタ ネモン

…**やったのや** だったのだ

**やったのん** 1) あげたのに。与えたのに。2) したの  
に

…**やったのん** だったのに。[会話] 今日は するつも  
り ヤッタ ノン よお せだつた (しなかつた)。

**やっためくしん** 無茶苦茶に

**やったもんで** 1) 与えたので呉れてやつたので。  
2) だったので。なので。(鳥、松、多、張、度)  
3) してしまつたので。

**やったら** 1) だったら。(志、鳥、桑市、員、三、鈴  
市、安、一、松、多、上、阿、度、伊、北、南) 2)  
したら 3) あげたら [会話] 1) 昔の人 ヤッタ ラ  
しよおやんこ (しましよう) 言うて。

**やったりとったり** 1) 与えたり、もらつたりする事。

2) A家から嫁(婿)をB家に貰い、B家から又A家  
に嫁(婿)行く。(志(布施田)) [会話] 1) 節句の草  
餅 ヤッタ リトツタ リ 言うて、節句になると 草餅 し  
て (作つて) あつちや (あちら) い (へ) やったり  
(与えたり)、こつちい (此処らへ) もおたり (貰つ  
たり)。

**やつたる** 1) やつつける。苛める。やりこめる。

(志(布施田、鶴方、神明、立神、国府)、鳥、三、  
安、上、南) 2) してやる。(志、鳥、南) 3) くれ  
てやる [会話] 2) おんな (俺が) ヤッタ ルワ。 そや  
まあ (それは) 置いとけ (しないでおけ) 言うて、な  
んでも (何でも) 仕事するのをなあ、おんな そや  
(それは) ヤッタ ル おいとけ 言うて 言うたりな  
あ。物でも もてくの (持つて行くの) でも、そや  
(それは) おんな (俺が) ヤッタ ルワイ、あんた (貴  
方) な (が) 行かんでも もてたるわい (持つて行っ  
てあげます) 言うの(のを) ヤッタ ルワイ 言うてな。  
1) おんな (俺が) あいつ 一つ拳固 ヤッタ ル 言う  
て 拳固で むくんのを 拳固やつたんどお。此の時  
は やつつける 苛める 言う事な。拳固むくつたん  
どお 言うて 撲る事を むくる 言うね (言うので  
す)。

**やったれ** 1) やっつけてやれ。やっつけよ。(志(片田)) 2) 終わりました。3) くれてやれ。[会話]  
1) 拳骨やったらな(やってやらなければ) はざんわれ(いけない) 言うて よお言うやんかい(よく言います)。一つまあ あれも(彼も) あんまり(あまり) ゆいたいごお(言いたい放題) ばっか(ばかり) 言うて とて(て居て) 一つ やったらなはざんわれ 言う時もある。こらしめる事を ヤツラレ 言うて。拳骨で ヤツラレ 言うて 子らら(子供達) でも あんまり ほたえんのん(騒ぐのに) 一つ やっとな(なければ) はざんわれ(駄目だ) さんねんぶつ 一つ こつ いとけ(叩いておけ) 言うて。さんねんぶつ、一つ げんこ(拳骨) むくると 三年も うずいとる(づくづく痛みが有る) 言うて 三井寺の鐘な (が) 響くよおん(に) 三年も。そして うずいとんのおで(て居るので) さんねんうずきや(だ) 言うて、さんねんうずき、やっつけ言うて。やっつけは やっつけたれ(てやれ) むくつとけ 拳骨むくつとく まいこましとけ(ておけ) とか、ヤツラレ とか言うて。やっつけ 言うな(のに) 酒 呑んどても(で居ても) まだ やっとかんかい(やっておきなさい)。もお一杯 やっつけえ言うて、も一つ やっつけえ 言うて 御飯でも もお一杯 やっつけ 言うて。まあええてや(もうよろしい) 言うて そげん(そんなに) 言わんと(言わずに) もお一杯 やっつけえ 言うて すずめる時ん(に)。

**やったれ** でした。[用例] 沖 行たや(行ったら) 大漁ヤツラレ。

**やったる** 1) してあげます。させてやろうか。2) やっつけてやろう。[会話] 2) あの子 ヤツラロヤ 言うて、泣かしたるや(泣かせてやろう) とか 叩いたるや(てやろう) 言うのをな。やうち(一同) な(が) 寄つといて(ておいて) あの子 ヤツラロカ、ヤツラロヤ 言うてな。あのか(子は) いつでも おっちやく(乱暴) して わり(悪い) 事ばっか(ばかり) しとて(して) こんだ(今度は) おらな(俺達が) ヤツラロヤ 言うてな。撲つたるや(てやろう) とか、泣かしたるや 言う時ん(に) ヤツラロヤ 言うね(言うのです)。1) ヤツラロ 言うので あげましよう あげます 言うのも これ ヤツラロ くれたる(くれてやる) 言うのを ヤツラロ 言うの(のです)。

**やったるか** 1) してあげましようか。2) やっつけてやろうか。やったる参照

**やったるどよ** やっつけてやろうぞ。[会話] あれ(彼) ヤツロドヨ 言うて 相談しとんね(しているのです)。

**やったるや** 1) やっつけてやろうでないか(相談) やったる参照 2) してしまひましよう

**やったるん** 1) して上げましよう、して上げます(志(立神)) 2) やっつけてやるぞ

**やったんけど** だったが。[会話] これ すんね(するの) ヤツタンケド、出来らつたね(なかつたのだ) とか、あしこい(あすこへ) 行くね(の) ヤツタンケド、まあ 行かれらつたね とかなあ。そおするところだったが 言うよおな意味やなあ(です)。これまあ おんな(俺が) くたんね(食べてしまうのだ) ヤツタンケド まあ おいといたれ(置いておきました) 言うて。

**やったんけど** 終わりましたが。しました。

**やったんで** だったので。(志、鳥、多、張、度)

**やったんで** したので

…**やったんでわい** だったそうです。[会話] あの家や(は) 昔や(は) 金持ちヤツタンテワイ、今しゃ(今は) あげん(あんなに) びんぼ(貧乏) しとるけど(しているが) 言うたりなあ。昔や(は) いしゃどん(医者) ヤツタンテワイ 言うてな。そおやつた(だった) そおな(そうだ) 言うのをなあ。

**やったんどお** 1) やっつけてやるぞ 2) 盗んだのだ

**やったんや** 1) だった。だったのだ。(亀、松、北) 2) したのだ。

**やったんやで** だったのだから

**やっぢや**【名詞】 午後の間食。(志、桑郡、度、南、熊)

**やっちやうえした** 上と下と息の合う事。二人の意見が一致すること。性行為についても言う [会話] 上と下と びちつと おおて(合つて) ええのを(よいのを) ヤツチャウエシタ 言うやんかい(言います)。芝居 見いんいても(見に行つても) 上手なと(だと) そげん(そんなに) 言いおつた(言いました)。夜のこと 言うねやろなあ(言うのでしよう)。

**やっちん**【名詞】 座る事。お座り。幼児語。(志、北、尾) [会話] ヤツチン せえ(しなさい) 言うて。座れ 言うのを ヤツチン せえよお、ヤツチン せんかれ(しなさい) 言うて。子供の 座りかけ(座り初め) の 時分(頃) ヤツチン よおすんねなあ(よくするのですね) 言うて。

**やっつ**【名詞】 四月二日より十二月三十一日迄に生まれ

た子供。小学校入学時に言う。[会話] 七つ あがり (入学) は 早生まれ、ヤツツな (が) おそうまれや (です)。

**やっつ** 【**名詞**】 八 やつの音便 (大言海) (三)

**やっつけたらな** やっつけてやらなければ

**やっつけたる** やっつけてやる。こらしめてやる

**やっつけたれ** やってやれ。こらしめてやれ (命令)

**やっつけたるや** やっつけてやろうでないか (相談)

**やっつける** 【**他力下**】 1) 衝突する。やりつける。

2) する。し終る。3) 苦しめる。[会話] 2) ヤツツケタレ (てやれ) 言うね (言うのです)。仕事でもなあ これ 皆、したろや (してしましましょう) 言うものな これ 今日のうちん (間に) ヤツツケタラナ (てやらなければ) 言うし。3) 人 苛めたる (てやる) 事でも ヤツツケタロヤ (てやりましょう) 言うね。仕事 終わらしたろや 言うのと、人を ヤツツケル 言うのと。御飯も 全部食べたると (てやる) 皆 ヤツツケル 言うて。はんたい (お櫃) 空ん (に) したたよお 言うて。1) 衝突すんのも (するの) も やりつけてたんよお (行ったのだ) 言うてな、柱い (へ) やりつけてて (て行って) 頭もも (瘤) ん (に) したたよお (しました) 言うて、やりつけてた (て行って) 言うね。とびやげてく (衝突して行く) のを とびやげてた (突き当たった) 言う時もあるし、ヤツツケル 言う時もあるし、やっつけてた (ていった) 言うてな。

**やっ** だった。だそうです。やて。(四、一、度、北、尾)

**やっ** して、行なった。行なって。

**やっ**てえ 1) して下さい。(南) 2) あげて下さい。

**やっ**てかれやせん。やってかれやへん 生活出来ない。

やってく参照

**やっ**てかれられ 生活出来る

**やっ**てかれんねど 生活出来ない。ん、は、るの訛 ねど、は否定

**やっ**てかんかい。やってかんかな (女性語)。やってか

**ん**かれ 食べて行きませんか。飲んで行きませんか。して行きませんか。[会話] 御飯 食べてかんかい (行きませんか) 言うのをな、ヤツツケカンカイ 言うてな。やって来たよお (食べて来ました) 言うてな。くわんかい (食べなさい) 言わんとな (言わずに) やらんかい (食べなさい) 言うて やって来たよお 言うね (言うのです)。酒でもな やらんかい (飲みませんか) 一杯 言うてな。

**やっ**てきた 食事をすませた。[会話] 喰うとる (食べている) とこい (所へ) 心やすいもん (者) な (が) 来ると、やらんかい (食べませんか) 言うて、やらかして来たよお (食べて来た) ヤツツケタヨオ 言うて。

**やっ**てきた 盗んで来た。[会話] ヤツツケタ 言うのもの、人ん (の物) とて来ると (取って来ると)

**やっ**てきたない やって来た。

**やっ**てきたのおこ。やってきたのこ 食事はすんで来たのですか。食事時に訪問を受けた側の挨拶。[会話] ヤツツケタノコ 言うな (のは) 食事が済みましたか まあ 済んで来たんこ (来たのですか) 言うのを、ヤツツケタノコ。で やって来たよお言うて やらかして来たよお 言うて。“よし (人名) な (が) 四つで嫁取って ほおずきちんぼで やらかした” 言うて よお (よく) かまいおった (からかいました)。ヤツツケタノコ と 一緒みたい な (のような) 意味で すんだかい (済みましたか) 言うて、済まして来たよお 言うて、御飯どき (時、時分) になると 済んだか な (済みましたか) 言うな (のは) ちよいと (少し) 上品な言葉やし (ですし) やって来た 言うな ちよいと わり (悪い) 言葉や (です)。それと 一緒で まだかい (まだですか) 言うのも、まだ 御飯食べとらへんのかい (食べて居ないのですか) 言うのに、まだかい 言うて。まだやよお (です) これからやよお 言うて。

**やっ**てきたのこ 来たのですか。出かけて来たのですか。

**やっ**てきたんこ 1) 食べて来ましたか。2) 来たのですか。

**やっ**てく 【**他力五**】 やっていく。生活が出来て行く。

(南) [会話] 生活な 出来ない言うのを。ヤツツケカレヤヘン ヨオ (れない) 言うてな。生活な (が) 出来やへん (ない) まあ ぜん (銭) 稼ぎな (が) のおて (無くて) くてかれやせん (食べていけない) ヤツツケカレヤセンワレ (いけない) ぜん (銭) 稼ぎな (が) のおて、こんだ (今度は) ぜん (銭) 稼ぎな (が) 出来て来て まあ ちよいと (少し) やってけそおやよお (だ) 言うてな。やってかれられ (行けます) こんで (これで) まあ 言うてな。こんだけ (此れだけ) 稼ぎな (が) 無かったら なかなか、ヤツツケカレヤセンナア (行けません) 言うてな。ヤツツケ 言う事は 生活な (が) 出来てく (ていく) 言うしなあ。ヤツツケカレヤセン 言うとなあ、くてかれやせん なあ (食べていけない) 生活な (が) してかれやせん なあ (していけない) こや (これは) まあ ヤツツケカレヤセンワ

レ、こいな (こんな) 調子やったら (だったら) 言うてな、鏝一文 入らせんのん (ないのに) なんて やっつかれんねど (行かれるのだ) 言うてな。

**やっつくよん** してあげましょう。[会話] ぢゃあ (小便) ヤツテクヨン 言うて。子供らん (に) しょんべ (小便) やったる 言うの (のを) ぢゃあ やったる か、ぢゃあ (小便) すんなよお (するな) 言うて。

**やっつけられ** してあげます。

**やっつけられ** 来る、来ます

**やっつける** (遣来) **【自力変】** こちらへ来る。

**やっつける** 盗んで来る。

**やっつけた** 盗んで行った。

**やっつけたない** 盗んで行った。

**やっつけたんぞお** 盗んで行ったのだ。

**やっつけたのけた。やっつけたのけたれ。やっつけたのけたわい。やっつけたのけたわな。やっつけたのけたわれ** 1) 失敗などしてしまった。2) し終った。[会話] 1) まあ えらい事 (大変な事) ヤツテノケタヨオ 言うてなあ。茶碗うちやっつけたとか、皿うちやっつけたとか。

**やっつけたのける** (遣退) **【他カ下一】** 1) 仕事などをしあげる。終わる。2) してしまう。[会話] 1) ヤツテノケタレ (た) まあ 言う時も あんなあ (有ります)。終わるとなあ、したてしもた (してしまった) 言うて。2) ヤツテノケル 言う事を したてしもて (してしまつて) 言うてな。

**やっど** **【副詞】** 1) ようやく。長い時間を要して、又はさまざまな障碍を克服してそれが実現するさま。余裕が無くて、かろうじて成り立て居るさま。苦勞の多いさま。大変なさま。(志 (片田) 2) 久しく長い間。(鳥 (答志、鳥)、松、度) [会話] 1) ヤツト言うな (のは) よおよおと (ようやく) 出来た言うのを ヤツト きまつた (終わった) 言うて。あゝえらかった (大変だった) ヤツト きまつた 言うて。2) 長い時間かけて 仕上げた言う時と、苦勞して 仕上げた言う時と そげなのお (そんなのを) 二つやなあ (です)。ほん (本当に) よおよおの事で 出来た 言うて せんぎり (充分) 苦心して出来た。2) ヤツト会えたとか 漸くやっただのお (でした) 久し振りん (に) おおた (会った) 言うのを ヤツト おおたのお (会いました) てやら (とか)。

**やっどお** (やっど) **【名詞】** 剣道。剣術。[会話] 剣術。ヤツトオ 言うて なぐんのおかい (撲るのですか)、けんじつ (剣術) しとると (していると)、あや ヤツトオしとんない (している) 言うて。

**やっどかさあ** **【副詞】** かろうじて物事をするさまを表す語。やっどこさ [会話] やっどこさ 行て来たよお (行って来ました) とか、ヤツトカサ 出来た 言うてな。いっしょけんめ (一生懸命) でした まあ やっどこさ やっだよお (でした) 言うてな、よおやく 出来た 言うのをな。

**やっどかぶり** **【形容詞】** 久しぶり。(志、鳥 (答志)、南) [会話] ヤツトカブリ やのお (です) 言うて。久し振りやのお 言うのを、ヤツトカブリやのお 言うて、長い事 会わんと (ずに) おると ヤツトカブリ や (だ) 言うて。

**やっどかめ** **【形容詞】** 久しぶり。長らく。(志、鳥 (答志)、桑市、桑郡、員、三) [会話] 久し振りで来ると、ヤツトカメやのお (だ) 言うてな、久し振りやなあ (です) 言うのをな。

**やっどかんかい。やっどかんかな** (女性語)。**やっどかんかれ。やっどかんかん** (女性語) しておきなさい [会話] どやっどでも (どんなにしても) ヤツトカンカレ。

**やっどかんと** しておかないと

**やっどかんと** しておかないで、しないで居る

**やっどく** 1) して置く 2) 置いておく

**やっどけ** しておけ。しておきなさい。やったれ参照 [会話] やっどけは やっつけたれ (てやれ) ヤツトケ 言うて。

**やっどこ** して置きなさい。

**やっどこ** **【名詞】** 1) 金槌 (南) 2) 釘抜き。

**やっどこさ** **【副詞】** 辛くも。やっどこの思いで。ようやくの思いで。やっどこの事で、いろいろ苦心した後で。(志 (布施田)、松、北、尾) [会話] やっどこの事で 出来たよお (出来ました) 言うねんなあ (言うのです)。ヤツトコサ やっだよお (だった) よおよおの降参で (どうにかこうにか) 出来た 言うのを ヤツトコサで出来た ヤツトコサ やった (だった) 言うて よおよお (ようやく) 出来た言うて。苦心した時 や (は) よおよお出来た 言うの (のです)。

**やっどこせ** **【副詞】** 1) 重い物を持ち上げる時の掛け声。2) ようやく。やっどこの事で。[会話] 1) 仕事して 重たい (重い) もん (物) 持つ、おりん (時に) ヤツトコセ よっこらせたら (とか) どっこいしょ 言うて。

**やっどこのこと** かろうじて、どうにかこうにか

**やっどる** している。特に食事をしている。酒を飲んでいる。元気になっている [会話] 食事 終わったか 言うの、すんだよお (済みました) 言うて、ヤツトルカ

言うて 入って来る人も有るし やったよお (済みました) 言うて。

**やっとなねよお** 1) 食べています。食事中です。  
2) して居ます。[会話] 1) 食べとる (ている) 事をヤットンネヨオ 言うて。

**やっぱし (矢張) 【副詞】** やはり。やっぱりをつめた語。やっぱり、やはりを強めた語。矢張り。以前と同じ状態であるさま。事態が変わらず続いて居るさま。前もつてした予想や判断と同じであるさま。さまざまないきさつが有って、結局始めに予測した結論に落ちつくさま。(桑郡、員、三、鈴、安、一、久、松、上、阿、張、名、度、伊、鳥、北、尾、南) [会話] ヤッパシモ やっぱりも一緒や (です)。感心した事や (です)。ヤッパシ あほ (阿呆) は あほやなあ (だ) 言うて。

**やっぱり 【副詞】** 矢張り。(鳥 (答志)) [会話] ヤッパリ そげなん (そんなの) やったんかい (でしたか) 言うて。

**やつれる 【自ラ下一】** 身体の衰弱する事。痩せる。(鳥) [会話] 身も心も ヤツレラレ (やつれる) 言うて もり (子守) の 歌んも (にも) 有るやんかい (有ります)。痩せる 言う事なあ (です)、身も心も やせられ (痩せる) 言うの (のです)。あやまあ (彼女は) はらんどんのかして (妊娠して居るのか) ヤツレトラレ (て居る) 言うて。顔な (が) ちよいと (少し) 痩せてくるわい (来ます)。つわり すると。が いな (大変) ヤツレトンナア (て居る) つわりやなあ (だ) あや (彼女は)。つわりする にげや (人間は) ちよいと (少し) ヤツレテキテ。鈍 かづいとて (担って居て) つわりかして (と見えて) ヤツレトラレ (て居る) 痩せとられ 言うて。ヤツレテキタ 言うて 弱る 言う事や (です)。心も よおお (弱く) なつとるよつて (て居るから)。

**やて 【接尾語】** だ。だそうだ。です。(志、鈴市、亀、安、一、久、松、阿、張、名、伊、鳥、北) [会話] そおや (だ) てわれ (そうだ) 言うてな。そおヤテナア 言うてな。そげなねてなあ (そんなのだそうです) 言うのをな、あんたげも (貴方の家も) 嫁 貰ろたん (た) ヤテナア言うてな。そおヤテナア 言うのなあ。そおやなあ (だ) 言うのを、そおヤテナア。そげなん (そんなの) やってなあ (だそうです) 言うてな。ヤテナア言う時と やってなあ言う時と、一緒やけど (ですが) その時ん (に) よつてなあ。

…やで …だから、なので、ので (志、鳥、桑市、三、四、鈴市、安、津、一、松、多、阿、度、伊、北、尾、

南)

…やでえ ですよ。だよ。(四、鈴市、安、北)

…やてかい ですか。そうですか。

…や、てて でも (志)

…や、ててな でも、然し

…やてな だそうだ。

…や、てなあ そうだ、そうですね (志、安)

…やてなあ ですから (安、阿)

…やでの。やでのお だから (志)

…やてや …だ。断定の語。[会話] あんな (彼の) せりふ (言いぐさ) ヤテヤ。

…や、てやら だとか (南)

…やてわい だそうです

…やてわれ だそうだ

**やと** …だと (桑市、四、鈴市、安、津、度、伊) [会話] ちよいと (少し) ヤト、などするやあ わけん のん

**やど (宿) 【名詞】** 1) 集合所。(志 (布施田)) 2) 旅館 [会話] 2) ヤド。旅館の事も ヤド (宿)。宿屋 言うし (言います)。1) 富士参りん (に) 行くと せいろ屋 (屋号) の本宅な (が) おしよおじ (御精進、お祭り) の ヤドやつて (でして) 二十八日ん (に) なると あとと (ああ、尊い) 言うて 荒目さん (神様) い (へ) 参つて しよおったやんない (して居たでしょう)。そこで して来ると、あの家い (へ) 上つて ヤドや (です)。おしよおじのヤドや (だ) 言うて。そして (そうして) 歌 うとて (唄つて)。“ヤドのおかか (女主人) は ふくそ (福相) なお方 福も福やな (です) お多福や” (だ) 言うて あの家で しよおったの (して居たのです)。荒目さんへ まあ (杓) と せんまい (米) と 御神酒と もてて (持って行って) 参んねやろ (参るのでしょうか)。その かいりに (掃りに) 皆 家々廻つて 胡瓜や、なすび (茄子) 野菜もん (物) を、ざある (ざる)、大きなざある 持って わかいしゆ (若い衆) な (が)。その人らな (人達が) 夜のさんざい (散財、御馳走) すんのに (するのに) 皆 入れよおったの (入れて居たのです) お金が無いもんで (ので)。お金やなしん (でなくて) 野菜もん (物) を。富士参り すんな (するのは) ごつお (御馳走) して 食べるよおん (に) あがりごつおや (だ) 言うて そげんしよおったね (そんなにして居たのです)。そして 歌うとて (唄つて) 道中 皆、うとて 法螺吹いて プー言うて、裸で 禪一つい (へ) 首い (へ) ずず (数珠)

掛けて、昼間はしといて (しておいて)、よさり (夜) ん (に) になると 里の浜で あととして 麦藁を よれやもんで (沢山あるので) 抱いて (て行って) たっからかして (盛大に焚いて) けぶり (煙) かぶりん (に) 行くね (行くのだ) 言うて。〇〇丸 大漁満足 あとと言うて とごつてきおったんなあ (沈んで行ったのです)。そすと 又 出て来ると△△丸 大漁満足言うて あとと言うて しよおったね (して居たのです)。てえ (手) あわして (合わせて) 海の底い とごつてといて (沈んで行っておいて) あげて来てな (上って来ては) しいして あととや (だ) 言うて。浜一杯 にぎやいおったの (賑わって居たのです)。そすと その数珠持つとんのおな (て居る人が) 悪事、災難逃がして呉れ言うて、ずず こつき廻して (撫で廻して) くれんねてや (呉れるのです)。そして お山するひい (日) (頂上に登って御鉢廻りする日) は 家で ひまち (御祈) して 今日はお山するひい (日) や (だ) 言うて。峠 (頂上) い (へ) 登る日は お山すんね (するのだ) 言うて 富士参り ん (に) いた (行った) 家の家内 (家族) な (が) まめで (健康で) 登山して来るよおん (に) 言うて、祈りおったの (祈って居たのです)。そげん (そんなに) 言うて、どいらい (大変) たつとんで (尊んで) 富士参りは しよおったの。お山する日言うて 頂上い (へ) 鉢廻る日をお山する日や (だ) 言うて 家で ひまち (祈って) して、かないの餅 (陰膳) して 祝いおったの。ヤド 言うのは旅館のヤドと そんなにして 集まる場所 ひまちのヤドや (だ) 言うて、もと (大将、頭) する家を ヤドや (と) 言うて。昔や (は) ごひまち (郷日待) 月に一回 ごひまちや (だ) 言うて。郷 (地区) で、ひまち しよおったわい。十銭つ もていて (持って行って) そすと 喰うもん (者) は 十銭出して いて も (行って) 喰いしたい 喰うても 十銭でええ (よいのです)。そすと (そうすると) 個人へ、朝ん (に) になると ごひまちの餅や (です) 言うて こばつてくんね (配って来るのです)。そすと 二つつ置くと 十銭つ 入れんねやんかい (入れるのです) 郷で 里東や (とか) 石ケや (とか) 言うて、ごひまちや (だ) 言うて しよおったの。そすと それの もと (頭) する家を ヤド。ごひまちのヤドや (だ) 言うて ごおがしら (郷頭) な (の) 家で、今しで (今で) 言うて 内会長やわい (です)。

…やど だ、ですよ (張、度、北)

**やどいれ (やどひれ) (雇入) 【名詞】** 雇い入れること。人を雇うこと。[会話] あの人 ヤトイレテ言うて。人夫な (が) 足らん時んなあ (に) 来てくれえ (下さい) 言うの。ヤトイレテ来たよお (来ました) 言うてな、人な (が) 足らんもんで (ので) やどて (雇って) 来た 言うて。頼んで来た 言うのな 雇とて来た 言うて。ヤトイレ 言う時は たので (頼んで) 来た。わが家い (へ) 来た事をなあ。

**やどいがしら (雇頭) 【名詞】** 人を雇う人。雇って斡旋する人 [会話] ヤトイガシラ 言うな (のは)、人 やどてく (雇って行く) わがと (自分が) 責任持って行くのを 今しで (今で) 言う親方や (です)。

**やどいど (やどひど) (雇人) 【名詞】** 1) 雇われて働く人。使用人。(阿、張、名、熊) 2) 雇い主 [会話] ② ヤトイド言うて やどとる (雇っている) 人。その頼む人な (が) 人を やどとる 人を ヤトイド 言うなし (言います)。

…やどお ですよ

**やどおむし (やどむし、やたうむし) 【名詞】** 夜盗虫よとおむし ミトウガ類の幼虫の総稱。体長3~4cm位の芋虫。キャベツ、ハクサイなど各種野菜の大害虫で昼間は土中や株もとに隠れ夜間表れて食害する。幼虫は淡灰色、またわ灰黒色で若令虫は淡緑色。(南)

**やどか** だとか (南) [用例] かど (鯉) ヤトカ、とんぼ (ピンナガ鱈) ヤトカ言うの (のは) 青魚

**やどがえ (やどがへ) 【名詞】** 転宅。宿替え。引っ越し。(鳥、松、張) [会話] ヤドガエ。ごな (やどかり) の ヤドガエ。宿 (旅館) な (が) 気にいらん思うとヤドガエしよおや (しましよう) 言うて。旅館でも今日は 此処い 泊まったけど (が)、こか (此処は) わり (悪い) よつて (から) こんだ (今度は) 違うのん (に) ヤドガエしよおや 言う時も 有るし。なんやかやの行事の時の 宿する時も 番 (順番) な (が) 来て ヤドガエや (だ) 言うて 交代ですんのを (するのを) ヤドガエや 言うて。引っ越しする時も 今日 ヤドガエすんねよお (するのだ) 言うて引っ越しの事を 言よおったやん (言って居たでしょう)。ヤドガエせな (しなければ) はざんのおで (いけないので) 言よおったやんかい (言って居ました)。

**やどかり 【名詞】** 他人の家で育つこと。[会話] わしや (私は) ヤドカリやれ (だ) 言うて わがうち (自分の家) ん (に) おらんと (居ずに) よその家で 育てもろた (もらった) もんで (ので)。

…**やどき** など。(志、鳥、伊、度) [会話] あいな (あんな) もん (物) ヤドキな、おこしたてて (呉れても) なんに (なにに) なんねてど (なるのだ)。あいな (あんな) もん (物) ヤドキ、おこしたてて (呉れても) 食いも飲みも できよかれなあ (出来ない) 言うて、わりもん (悪い物) やるとなあ。にげ (人間) やったら (だったら) あいな (あんな) もん (者) やとたててなあ (雇っても)、なんの (何の) 役も たとかれ (立たない) 仕事 よおせん (出来ない) 言うのな (です)。

…**やどけ** など。やどきに同じ (伊、鳥)

**やどす** (宿) 【他サ五】 妊娠する。

**やどする** 集会所を提供する。(上、阿)

**やどせん** (宿銭) 【名詞】 宿泊料。旅館に泊まった代金。[会話] とまりちん (宿泊料) は 幾ら やっただ (でした) 言うて ヤドセンの事 ぞおよお (雑費)。

**やどた** 雇った。

**やどちん** (宿賃) 【名詞】 宿泊代金。[会話] ヤドチンも よお拂わんね (拂えないのだ) 言うてな。宿屋い (へ) 泊っても、ぜん (銭) な (が) 無いとな、やどせんも 拂わんと (拂わずに) 無銭飲食した言うて。やどせんな (が) の おて (無くて) 言うて、やどせんも ヤドチンも 一緒や。(です)

**やどて** 1) 雇って。(一) 2) 雇って下さい。[会話] 1) かこよせ言うて、十人なら十人ヤトテ、したけど (が) かこよせしよおや (しましよう) 言うて、ヤトタ人だけ よおで (呼んで) ごっつお (御馳走) して、食うの (のを) かこよせ。

**やどなし** (宿無) 【名詞】 住むべき住所の無い者。次男以下を言う。

**やどや** (宿屋) 【名詞】 旅館。[会話] ヤドヤの せん べぶとん。(煎餅布団)

**やどる** (宿) 【自ラ五】 妊娠する。

**やどわれど** (やとはれど) (雇人) 【名詞】 人に雇われて働く人。[会話] ヤトワレドや (だ) 言うてな。その家い (に) 頼まれとると (していると) ヤトワレド や よって (だから)、おら (俺は) 言うてな。ヤトワレド 言う時は 雇われとる (ている) 人をな。

**やどわんさん** 【名詞】 依頼されないのに手伝いに行く事。その人。

…**やな**。やなあ …だ。ですか。疑問。(志、四、伊賀地方、伊、北、尾) [会話] なん (なに) ヤナ こや (これは) 言うてな、問う時んなあ (に)。なんですか言うて 問う時ん (に)、こや (これは) なん ヤナ

言うて。この芋 なんだね 言うのも 一緒やわい (です)。なん ヤナ こや 言うと、こや こいな (こんな) もん (物) やれ (だ) 言うて。

…**やない** でない。(志、鳥、三、阿)

…**やないか** ではないか。(志、桑市、員、四、鈴市、亀、安、津、松、多、阿、張、度、伊、北、南)

…**やないかあ**。やないかな ありませんか。(安)

…**やないの** では有りません。違います。[用例] それヤナイノ あっちゃんのおやれ (あちらのです)。

**やなぎめ** 【名詞】 若布の葉の幅の狭いもの。[会話] ヤナギメに、まん とめ。ヤナギメ 言うな (のは) 株な (が) ついとて (ていて) ほっそおいなあ (細い) 今 し (今) 店屋ん (に) 売つとんなあ (ているのは) 皆、ヤナギメ。めかぶな (が) 付くなあ。

…**やなしん** でなくて。

**やなみ** (家並) 【名詞】 各戸。軒なみ。(張) [会話] ヤナミに ごっつお (御馳走) しとんない (して居る)、なんやかなあ (なんだろう) 言う時も有るし、ヤナミに 旗立てとんない (立てて居る) 言う時も有るし。みんな (皆) 家々な (が) しとる (して居る) 事 ヤナミや (だ) 言うて。ヤナミに、今日は しとられ (して居る) 言うて。ずうとと 軒並に しとる 言う事 ヤナミ言うて。何処も彼も どの家も 此の家も 皆 しとる 事を ヤナミに しとられ (している) 言うて。

…**やに** です。ですよ。(鳥、三、四、鈴市、安、一、久) [会話] そおヤニ あしこい (あすこへ) 行て来たん (の) ヤニ言うてな、行て来たねんなあ (のです) 言うのを、そおヤニ 言う人も有るしな 行て来たねに (のだ) 言う人も有るし。ねんにい (のです) 言う人も有るし 行て来たねんなあ (のです) 言うのを。

**やにこい** 【形容詞】 1) 弱い。もろい。弱々しい。

(志 (浜島、布施田)、桑郡、桑市、員、鈴市、安、一、多、上、阿、張、名、度、伊、鳥) 2) 柔らかい。(上、阿、張、伊) 3) 手ぬるい。押しが足りない。

(志 (鶴方、神明、志島、国府)、鳥) 4) 否定語を伴って、易しい。容易だ。[会話] 3) ヤニコイ事で 出来よかれ (出来ない) 言うやんかい (言います)。

ちょっとやそつとで 出来よかれ 言うのを ヤニコイ事で 出来よかれ 此の仕事な (が) えらい (大変な) 仕事やどお (だ)、ちよつこらちよいと 出来やせんどお (出来ないぞ)。ヤニコイ事で 出来やせんどお 言うて 言う時な 有るわい (時が有ります)。えらい (困難な) 仕事する時やろなあ (でしょう)。な

まやさし事 出来やへんよって (出来ないから) 頑張らな (なければ) 言うよおな 意味やろなあ。ヤニコイ事 出来やせん ヤニコイ事やないどお (でないぞ) 言うて。なまちよろい事 出来やせんわれ (出来ない) 言うて、ちよつとやそつとで 出来やせん 言うのを なまちよろい事 出来よかれ (出来ない) 言うて。

**やにめ、やねめ【名詞】** 眼脂の多い目。慢性結膜炎。とんとめ参照 [会話] めえ (目) な (が) うじゃけて (ただれて) くんの (来るのを)、とんとめ ヤネメ。ヤニメ 言う人も有るし、ヤネメ言う人も 有るし。ヤネメ 言うね (言うのです) とんとめ (慢性結膜炎) の事なあ (です)。ひんなか (昼間) は ええんけど (よいのだが) 夕方ん (に) になると あんで (あれで) 疲れて来る 言うんやろな (のでしょう) ころころしてやめんの (痛むのです)。そいな (そんなのを) ヤニメ。ヤネメ 言うてな めやね (目脂) な (が) 青いおな (のが) 一杯ついて くんのなあ (来るのです)。

**やにもも【名詞】** 夏桃。水蜜桃の未改良品種。やねもも、なつもも参照 [会話] 夏桃 取って来る 松のじん (樹脂) みたいな (のような) のおな (のが) 出て来て そやもんで (それで) ヤニモモ 言うね (言うのです)。

**やね【名詞】** 1) やに。樹皮から分泌する粘液。(松、多、張、度、伊、北、尾、南) 2) 目やに [会話] 1) 松のじん 松のヤネ 言うねよって (言うのだから)。

…**やね** 1) ですね。だね。(志、鳥、阿、張、北、南、熊) 2) でない

…**やねえ** 1) ですね。だね。(三、安、北、南、熊) 2) でない

…**やねえか** でないか。でわ有りませんか。(志、鳥、松、多、伊)

**やねえけど** でないが

**やねめ【名詞】** 目脂の出る目。やにめ、参照

**やねもも【名詞】** 夏桃。水蜜桃の未改良品種。なつもも、やにもも参照 [会話] 水蜜桃と 夏桃とは 違うのなあ (です)。梅より ちよいと (少し) おっきいて (大きくて)、そげん (そんなに) おっきいならへんの (大きくならないのです) 熟して来ても かつたいの (固いのです) ヤネモモ。

…**やのお** ですね (志、阿、南)

…**やのおて** でなくて (志)

**やのし(家主)【名詞】** 家長。主人。家主。(三、伊)

**やのつづけ** 連続して。続けざまに。[会話] 続け様に言うのをな、ヤノツツケん (に)。おおた (ああ) あの家や (は) 葬式な (が) よけ (沢山) 有って、ヤノツツケやなあ (だ) 言うて、そして ごつおな (御馳走が) よけ (沢山) 有ると あの家や (は) ヤノツツケん (に) 結婚式な (が) よけ 有って えらいやろなあ (大変だろう) 言うて 続け様に 言う事なあ (です) ヤノツツケ言うて。

**やのに** だのに (志、上、南)

**やのふき【名詞】** 草葺屋根の葺き替えをする人。(志 (甲賀、神明)、多) [会話] ヤノフキ 言うな (のは)、ふきや (葺くのを業とする人) の人を 言うの (のです)。くさやぶき (草葺根の家) 葺き替え すんのん (するのに) ヤノフキ 頼まな (なければ) 言うて。

**やのむね【名詞】** 棟 家屋の最上部 (志 (浜島、鶴方、神明、甲賀、国府、立神))

**やのむねはなれる【俚諺】** 死後、四十九日死者の霊が家から離れる (志 (布施田))

…**やのん** だのに

**やばつとる** 四方八方に張り出して居る。張って居る。[会話] ヤバツトル。ふんばつとる (て居る) 言う事 やわい (です)。あつちや (あちら) こつちや (こちら) 方々へ 根 出しとる (て居る) 事 ヤバツトル。

**やばる【動詞】** 草木などが茂る。(志 (鶴方、国府)、鳥 (加茂)、一、多、上、阿、張、名、北) [会話] 草な (が) ヤバツテキタレ (来た) 言うてな。そこら中草な (が) よけ (沢山) 生えて来ると まあ 草で草で ヤバツテキタ言うてな。なんでも (なにでも) よけ 広がって来るとな、草でも きい (木) でも、広がって来ると ヤバル 言うてな 繁って来るのもなあ。

**やはん(夜半)【名詞】** 夜遅く。

**やぶか(藪蚊)【名詞】** 縞蚊。双翅目、カ科、ヤブカ属。一般に藪や木立などに住む大形の蚊で、体長五〜六耗、黒色で体や足に白い縞が有り、昼間活動して人畜を刺す。(上、阿) [会話] ヤブカ 言うのかい (のですか) やまが (山蚊) 言うのなあ。やまがな (が) えろおて (大変で) おらげや (俺の家は) 山ん (の) 中やもん (なので) やまが (で) やまが (で) 言うて やまがは おっきいもんなあ (大きいのです)。

**やぶにもこおのもん【俚諺】** 藪医者。藪医者でも時に立派な診断をする事がある。[会話] ヤブニモコオノモ

ン。藪医者や(です) 藪医者や(だ) 言うても ええ (よい) 事を 言う時も あんで (有るので) 藪医者や(だ) 言うても よお (よく) 当たる時 (診断する) な (が) あんねやろなあ (有るのでしょう)。

**やぶにらみ、やぶねらみ【名詞】** 両眼の視線の一致しない目(鳥)

**やぶれ【名詞】** 1) 古い物。古着。(三) 2) 破れている物、壊れている物。

**やぶれる【自ラ下一】** 1) ぼろぼろになる。ほころびる。(南) 2) 壊れる。(志、鳥、松、伊) [会話] 1) きもん (着物) な (が) ヤブレテマア 言うて。此の袋も じっきん (すぐに) ヤブレテカレ (て行く) 言うてな。しきもん (敷物) もヤブレテ 蓑やあれ (だ) 言うてな。敷いたもん (物) な (が) ヤブレテ来ると しきもん も 破れて 蓑 (に) なつとんない (なっている) 言うて。ぼろぼろん (に) なつとると (ていると) 蓑になつとる 言うね (言うのです)。蓑 言うな (のは) ぶら下がる もんで (ので) なんもかも (全部) 破れて こや (これは) 兎の糞で ぼろくそ やれ (だ) 言うて。2) 壊れる言うのも ヤブレレ言う人な (が) 有るんなあ 破れてて こや 壊れてたれ 言うてな。

**やぶん(夜分)【名詞】** 夕食後から寝る迄。(松、多)

**やへん** しない(志、鳥、桑郡、桑市、員、三、鈴市、亀、安、津、一、松、上、阿、張、度、伊、尾、南)

**やへんだ** なかった。しなかった(伊賀地方)

**やへんだやんかい、やへんだやんかな(女性語)。** **やへんだやんかれ** でないでないか(志)

**やほ【名詞】** 弥帆。矢帆。(弥) は重なるの意、和舟の船首に展張する小型の補助帆。(伊) [会話] ヤホと おもぼ (主帆) と 言うけど (言います)。

**やぼくた【名詞】** 無茶。野暮、又はその人。(志(浜島、鶴方、神明、立神、国府、安乗)、鳥、多) [会話] やばな人やなあ (だ) 言うてな。ヤボクタやなあ (だ) 言うてな。なんでも (なにでも) てえ (手) な (が) あるおて (荒くて) がしやがしやしたりな、言葉で言うとな 荒きたい (荒っぽい) どんぎった (滑らかでない) よおな事 言うと、口汚い事 言うたりな そいな (そんな) 時 言うな (言います) ヤボクタで まあ あや (彼は) 言うてな。

**やぼくたい【形容詞】** 野暮である。粗暴である。田舎臭い。[会話] ヤボクタイ 言うのも 有るし。格好ななあ (が) なつと (なんと) 言うんか (のか) はいからな ふう (姿) しやせん (しない) 人をなあ。

**やばてん【名詞】** 野暮、又はその人。横着。無謀。(志(布施田)、上、阿) [会話] 色気 知らずの ヤボテンオトコ 野暮な男なあ (です)。ヤボテンオトコ 言うて 言うやんかい (言います)。むてつぽ (無鉄砲) な なんも (なにも) 考えんと (考えずに) 仕事してもなあ うちゃったる (壊してしまう) とも 言わんと (言わずに)、てあるお (手荒く) する人なあ。よけ (あまり) 野暮ん (に) すんなまあ (するな) うちゃったんど (壊してしまうぞ) 言うてな 手荒い人 なあ (です)。

**やばてんおとこ【名詞】** 無粋な男。無茶をする人。やばてん参照

**やばにする** 丁寧にしない。粗末にする。だだくさ参照 [会話] 粗末ん (に) する事を。だだくさん (に) するとか、ヤボん (に) する。

**やま(山)【名詞】** 沖に出て、船の位置を定めるための陸地の高い目標物。

**やま【名詞】** 1) 魚釣道具。釣り糸。よつた糸から、よまの転か(志(浜島、鶴方、志島)、度、鳥、尾、南、熊) 2) 海女の潜水時の呼吸の長さ。1) からの転 [会話] 2) ヤマな (が) たらわせんわれ (たらわれない、とどかない) 言うて、磯 (海女) い (へ) いても (行っても) ふつかいとさいご (深い時に) 息な (が) 続かせんのを (ないのを)、深つかいとこ (所) よおいらんもな (潜れない者は) おらな (俺の) ヤマな (が) たらわせんよお (たらわれない) 言うて。息な (が) 無い (長く潜っておれない) 言うの (のを) ヤマな たらわせん 言うて。1) 魚、釣んのん (釣るのに) 道具 さがらかす (さがらす。垂れる) あれを ヤマや (と) 言うやんない (言うでしょう)。そやもんで (それで) 息を ヤマん (に) 例えて 言う事や (です) ヤマな (が) たらわんよお (たらいません) 言うて。1) ヤマは 魚 釣る道具 まがいののおを (のを)。道具も 取り込まな (なければ) 言うて 休みすると 籠い (へ) 干して有ると 道具 取り込んどけよお (込んでおきなさい) 言うて 魚、釣る道具や (と) 言わせんけど (言わないが) 道具や (と) 言うて。

**やまあい(やまあひ)(山間)【名詞】** 山と山との間。谷。そつぽこだに参照 [会話] 山でも じよおほ (両方) から こおして (迫って) 来たの、あの人ら (は) そつぽこ谷ん (に) 住んどんねもんなあ (住んで居るのだから) 言うて、ヤマアイに 住んどる (でいる) 人らを (人達)。

**やまあて【名詞】** 沖に出て陸地の目標で位置を決める。

目標 (度、熊)

**やまあわす** 沖に出て、目標物によって舟の位置を決める。(志 (布施田))

**やまい (やまひ) (病)【名詞】** 病気。[会話] ヤマイな (が) 起って言うて、持病のヤマイな 起った言うて。**癩** (腹痛)。持病な (が) 有る **にげや** (人間は) 腹な (が) 痛いとか、胃えして来るとか言うて、**すんな** (するのは) ヤマイ持ちや (だ) 言うて。ヤマイな (が) 起って**ふさん** (休み) **やよお** (です) 言うて。年中 **病氣しとる** (して居る) 人を **病い持ちや** 言うて、腹な (が) 痛いとか **頭な** (が) 痛いとか 言うて、年中 **言うとの** (言うて居るのを) 病い持ちや 言うて。いつでも **顔よおして** (しかめて) **頭な** (が) 痛いとか **背中い** (へ) のぼるとか **肩い** (へ) のぼるとか 言うのな (のが) **有るわな** (有ります)。**そすと** (そうすると) **あや** (彼女は) **ちいもち** (血持ち) **や** (だ) 言うて、**ちい** (血) **な** (が) 起って言うて。ああ、ああ言うて **かいだり** (だるい) よおな 欠伸して来ると **あやまあ** (あれ) 血持ちな (が) **起ったんかして** (起ったのか) 言うて。欠伸 **そんななあ** (それが) **かいだり** (だるい) よおな 欠伸して来るわい (来ます)。**そすと** (すると) 病い持ちで **のぼせ持ちや** (だ) 言うて。**ヤマイケ** (病い気) 言うな (のは) **病氣な** (が) 起って **来いそおな** (来そうな) 時に **ヤマイケやなあ** (です)。起る前に **欠伸な** (が) 出たりすると **ヤマイケな** (が) 言うて。

**やまいあがり (やまひあがり) (病上)【名詞】** 病気が治ったばかりで、まだ十分に体力が回復していない状態。

**やまいあげく (病挙句)【名詞】** やまいあがり。病後。特に重い病気、慢性の病気の回復した時。とこあげ参照 (志 (浜島)) [会話] 床上げ **したよお** (しました) 言うて、ヤマリアゲクの**事なあ** (です)。ヤマリアゲクで **起き上がったとこを** (所を) **言うね** (言うのです)。ヤマリアゲクで言うて、**具合** (体の調子) **な** (が) **わりかって** (悪かって) **よおなって** (よくなつて) **しとると** (して居ると) ヤマリアゲク**やよつてん** (だから) **大事ん** (に) **せなはざん** (しなければいけない) 言うて。病氣したあと。後の **養生すんのを** (するのを) **よお** (よく) なつて来た **とこやんかい** (ところですよ) ヤマリアゲク言うて。

**やまいいしゃする【俚語】** 病気をすればその病気を始め、色々と病気の事が判り、医師のような知識を持つ様に

なる。[会話] ヤマイスヤ (すれば) イシャスル 言うよおなもんで (言うようなもので) **わがと** (自分が) **してもおた** (してもらった) 事を **しよおった** (して居ました)。

**やまいがち (やまひがち) (病勝)【形容詞】** 病気にかかっている時が多いさま。

**やまいけ (やまひけ) (病気)【名詞】** 病気の気配。やまい参照 (上、阿)

**やまいしやいしやる【俚言】** 病気になると医者のように病気、病人の事が判る様になる。やまいいしやると同じ。

**やまひついでくる** 病気になりそうだ。苛々する。

**やまいづく (病付)【自力五】** 1) 病気になる。病む。

2) やみつく。夢中になる。病気になるほど執心する。

**やまいっぱい【名詞】** 漁に出て、陸地の目標物が見えなくなる沖合。(志) [会話] ヤマイッパイ 言うな (のは) 漁師や (です)。ジヤマイッパイ **いた** (行った) 言うてなあ。じやまな (が) **見えんよおん** (見えなく) なる迄 **行て来たよお** (行つて来ました) 言うてな **山な** (が) **見えやせん** (見えないのです)。皆 **海ん** (に) なつてなあ、**山な** (が) **なんも** (全く) **無いよん** (ように) **なつてくのなあ** (て行くのです)。**とおおい** (遠い) 沖行くとなあ **そんな** (それが) ヤマイッパイ 言うの**なあ** (です)。**じよおし** (漁師) の人**な** (が) **言うやんかい** (言います) ジヤマイッパイ まあ **沖行て来た** (行つて来た) 言うて。

**やまいぬけ (やまひぬけ)【名詞】** 長患いして居た人が

回復し、すっかり元気になる事。(上、阿)

**やまいもち【名詞】** 慢性疾患にかかっている人。(安)

[会話] ヤマイモチ。腹**な** (が) 痛かったりなあ、昔や (は) **べつん** (特別に) ヤマイモチ**な** (が) **有りおつたなあ** (有りました)、持病**な** (が) おこつて 言うてなあ。持病**な** (が) おこつて **腹な** (が) 痛い言うて **言うてくんね** (言うて来るのです)。**はらいた** (腹痛) **な** (が) **あや** (彼は) 持病**な** (が) **あんねてや** (有るのだ) 言うて。**いい** (胃) **な** (が) **わり** (悪) かったり **なんやして** (いろいろして) **腹な** (が) **痛いのおを** (のを) 持病**や** (だ) **言よおつたやんかな** (言うて居たでは有りませんか)。持病**な** (が) 有つて **あやまあ** ヤマイモチ **やてや** (だ) 言うてな。腹**な** (が) **いとなつて** (痛くなつて) **くんね**、**じっきん** (すぐに) **そすと** (すると) **おらん** (俺の) **かか** (妻) **寝とる** (寝ている) 言うて、**なしてえ** (何故ですか) **てや** (言えば) 持病**やもんなあ** (だか

ら) 腹痛の病な (が) あんねもん (有るのだから) 言うてな。

**やまいもん (やまひもん) (病者) 【名詞】** 病者。病人、病弱者。特に慢性病の有る人。

**やまいよわい (やまひよわい) (病弱) 【形容詞】** 病気に對して弱い。

**やまいり。やまいれ 【名詞】** 日没。ひのくれ参照 [会話] しい (へ) おひさん (太陽) な (が) おつてく (沈んで行く) のを ヤマイレ、ヤマイリ 言うて。  
日の暮れ (夕方) の ヤマイリン (に) 忙がしのん (忙がしいのに)。

**やまうる (山売る) 散髪する。[会話]** 頭 かんのを (刈るのを) ヤマウル 言う。頭 刈ると ちっさい (小さい) こおん (子に) ヤマウリン (に) 行かな (なければ) はざんわれ (駄目だ) 言うて。散髪するのを ヤマウル 言うて。ヤマウツテキテ じっばな (立派だ) 言うて よお (よく) 子供らな (が) 床屋へ いて来ると (行って来ると)。“髪<sup>の</sup>結<sup>いた</sup>て (結<sup>つ</sup>てすぐは) 親<sup>でも</sup> 惚<sup>れる</sup>” 言うて 髪<sup>結</sup>いから来ると じっばなもんで (立派なので)、床屋<sup>い</sup> (へ) 行て来ても 髪<sup>の</sup>結<sup>いた</sup>て 親<sup>でも</sup>惚<sup>れる</sup>言うて。

**やまおろし 【名詞】** 西風 (北) [会話] のあけ ヤマオロシ言うて 西の風を、ヤマオロシ言うわい

**やまが 【名詞】** 縞蚊。やぶか参照 (南) [会話] やぶか言うのかい (ですか) ヤマガ 言うのなあ (言うのです)。

**やまが (山家) 【名詞】** 1) 漁の少ない海女、下手な海女 (志、鳥) 2) 山村。いなか。

**やまかた (山方) 【名詞】** 山の多い地方。(志 (布施田)、北) [会話] ヤマカタ (山方) は ひやませ (桧山路) やたら (とか)、鶺鴒方 やとか (だとか)、はざこ (迫子) や (と) 言うの。あいなとこ (あんな所を) ヤマカタや (です)。ヤマカタ 山の方やもんで (なので) ヤマカタ 言うねやるなあ (言うのでしょうか)。

**やまげ 【名詞】** 山の気配。天候の様子。[会話] 山な (が) ほてるよってん (稲光がするから) ヤマゲで、上日 (上天気) やどお (だ) あした (明日)。

**やまごと 【名詞】** 海の事を知らぬ人。海の作業をしない人。(志 (布施田)、北) [会話] 海の事 知らん人らを ヤマゴトや (だ) 言うて。山で仕事する 言うんやなしん (言うのでなくて) 海の事を よおせん人 (出来ない人を)、磯 (海女) も 行かせんし (行かないし) 漁師も しやせんし (しないし) あの家や (は) ヤマゴトやよってん (だから) 言うて。陸 (お

か) の仕事だけする人を ヤマゴトや (だ) 言うなあ (言います)。

**やまごもり 【名詞】** 喪中。なま参照 (志 (安乗)) [会話] 生まれな かかつとること (生まれ、死の忌み言葉) を ヤマゴモリ 言う。喪な (が) あける迄 一年経つ迄は、ヤマゴモリや (だ) 言うて、しょんがつ (正月) ヤマゴモリや (だ) 言うて、死んだ家は つ いたち (元日) は、人の家<sup>い</sup> (へ) 行かせん (行きません)。

**やまさか 【名詞】** 山坂

**やまさかき 【名詞】** 植物。びしゃご。ひさかき。つぶつぶ参照 (志)

**やまし (山師) 【名詞】** 山仕事をする人。(志、鳥、多、張)

**やまし (疚) 【形容詞】** うしろめたい。良心に恥じる所が有る。やましい。

**やましごと (山仕事) 【名詞】** 山でする仕事。木を切ったり、薪を作ったりする仕事。[会話] 買い山い (へ) いたり (行ったり)、樵な (が) きい (木) 切つて 炭焼きしたり すんのなあ (するのを) ヤマシゴトな (です)。

**やます 【他サ五】** 雨や風のやむのを待つ。(志 (布施田)、南) [会話] 雨ヤマス。あまやどりしとんのを (しているのを) 雨、ヤマシテコヤんかれ (て行きましよう) 言うてな。雨な (が) 降つて来ると こや (これは) とおり雨 (俄雨) やよって (だから) ヤマシテコヤんか れ 言うてな。雨や風な (が) 降つとんのを (ているのを) やむのを 待つとる (待っている)、こやなあ (これは) 雲な (が) 早いよって (から) とおり雨やよって ちよいと (少し) ヤマシテこや 言うてな 人の家の軒の方へ しゃごどいて (かがんで) あまやどりしたよお (しました) 言うて。雨 ヤマシテから 行けまあ (行きなさい) 言うて。

**やますそ (山裾) 【名詞】** 山の麓。[会話] 山の裾 麓の事をな (です) ヤマスソ。

**やませ (山背) 【名詞】** 西南風。地方により方向が違う、山の背から吹くので言う (大言海) (志 (船越、片田、鶺鴒方、神明、志鳥、甲賀、国府、安乗)) [会話] ヤマゼ がやし の (返しの) 西や (は) 怖い 言うて。ヤマゼな (が) 吹いて来ると こんだ (今度は) 西な (西風が) 吹いて来んの (来るのを) ヤマゼがやし 言うて。ヤマゼ 言うな (のは) ませ (南) から 急に吹いて来る時な (が) 有るわい (有ります) ませ な (南風が)。ヤマゼな (が) 入れて来た (吹いて来

た) はよ (早く) 逃げな (なければ) こんだ (今度) は ヤマゼが やしな (が) くんど (来るぞ) 言うて、ヤマゼな (が) 止むと 西 (西風) な (が) おとして くんねやんかい (吹いて来るのです)。 そやもんで (それで) ヤマゼが やしの 西や 怖い 言うて。 ヤマゼナミより 人並みや (人並みは) 怖い 言うて ヤマゼな (が) 吹いて来ると 波な (が) おこつて (高くなって) くんねやんかい (来るのです) ヤマゼナミ 言うて どいらい (大変) 波な (が) えろなつて くんの (高くなって来ます)。 そやもんで (それで) ヤマゼナミより 人並みや (は) 怖い 言うて。 人並みん (に) せな (しなければ) 言うて。 なんでも (何でも) 言う やんない (でしょう)。 人並みん (に) せんとさいご (しない時は) みとみない (見苦しい) とか、 何とか 言うて、 人並みん (に) なんでも しとかな (しておかねば) 言うて 言うやんない。 それを ヤマゼの 波ん (に) 例えて ヤマゼナミより 人並みや (だ) 言うて 人並みん (に) せなはざん (しなければいけない) 言うて。 人並み 言う な (のは) 人と一緒の事なあ (です)。 寄付も 人並みん (に) せな 言うて、 人よりすけないと (少ないと) わりし (悪いので) 人らな (が) する とおりん (通りに) 人並みん (に) せななあ (しなければ) 言うて。

**やまぜがえし【名詞】** やまぜ (西南風) の後に吹く西風。 (四、鈴市) [会話] ヤマゼガエシの 西や (は) 怖い 言うて な、 まぜ (南風) な (が) 吹いた後で こんだ (今度)は 返しは 西から 吹いて来る やろ (来るでしょう)。 そやもんで (それで) ヤマゼカエシの 西や (は) 怖い 言う の (のです)。 やまぜ (南風) な (が) 吹いた後で 西な (が) 吹いて くんね (来るのです)。

**やまぜがえしのにしゃこわい【俚諺】** やまぜ (西南風) の吹いた後、西風が吹くと風が強くなり危険である。 やまぜ。はえ参照。(尾)

**やまぜなみ【名詞】** 西南風にともなう起る大波。やまぜ参照 [会話] やまぜ (西南風) な (が) 吹くと、 ヤマゼナミ や (だ) 言うて、 どいらい (大変) 波な (が) えろなつて (高くなって) くんねやんかい (来るのです)。

**やまぜなみよりひとなみやこわい【俚諺】** 交際を人並みにしないと最後に大変な目にあう。やまぜ参照。

**やまだ【名詞】** 田 (志)

**やまたて (山立)【名詞】** 海上で山など目標となる物を見て、現在地を知り、又船の位置を定める事。やまを

たてる参照

**やまっこ【名詞】** 投機気分 [会話] ヤマッコ張つて 言うて よお言う やんかい (よく言います)。一か八か ヤマッコ張つて みよん (見ましょう) 言うて 当るか 当らせんか (当たらないか) 判ら せんけど (ないが) やつて みよ 言うて やま張る 言うて。此れ しよおか あれ しよおか おもて (思つて) 迷よと るけど (迷つて居るが) 一か八か 此れ やつて みよん (みよう) おもて (思つて) すると、 当るとさいご (その時) やまな (が) 当つて 言うて、 思惑な (が) 当つた 言う の やまな (が) 当つた 言うて。 ヤマッコ 言う な (のは) 山張る それを 言うん やろな あ (言うのでしょうか)。 わがとな (自分が) 迷よとん のおを (つて居るのを) ぴゅつと 切り 変えん のを (るのを) やま張つて 見た 言うて。

**やまたつ** 止んだ。終わった。雨な ヤマツタ。泣き ヤマツタ。

**やまた (山立)【名詞】** 海上での場所を陸の山を目印として記憶する方法。漁場。やまたて参照。(志、鳥(菅島)) [会話] 目印 ヤマテ。 ヤマテ な (が) 判ら んで (なくて) 言う やんない (でしょう)。 あおの めさん (青峯さま) と 横山 (横の方の山) と 合わして (せて) こんだ (次に) 縦山は どこたら (何処か) 合わして (せて) 言うて 三つ 合わ さな (さなければ) はざん ね やろな あ (いけないのでしょうか)。 縦山と 横山と 合わ す 言う な (のは) 縦も 合わ して (せて) 横も 合わ して (せて) みいとこ (三ヶ所) で 合わ さな (さなければ) きちつと 其 処 い 行か せん の な あ (行かないのです)。

**やまど (山人)【名詞】** 山で働く人。(志 (布施田)、尾) [会話] かい や ま (立木を買う事) い (へ) 行くとか 木 挽とか 樵とか 炭 焼き や わ い (です)。 山 仕事 や よつて ん (だから)。 伐 採する人 ヤマ ド や (だ) 言うて あ や (彼は) ヤマ ド や よつて ん (だから) なん (何) さ して も (させても) え ら い (偉い) 言うて

**やまなあ【名詞】** 山仕事に使用する荒縄。 [会話] 山へ行く の ん (に) ヤマ ナ あ な わ ん と (編まずに) お ん の ん。(居るのに)

**やまなくうろい** 山を見て舟の位置を定めるのが上手である。

**やまのいも【名詞】** 自然薯。ヤマノイモ科のつる性多年草、茎は他物に左巻きにからむ。塊根は長円形で長さ1~2m、葉は長柄をもち、対生し、葉身は長卵円形

で、茎部は切れ込む。葉腋にむかごを生じる。雌雄異様。夏、淡黄色の単性花を穂状につける。果実には三個の翼があり、房状に群がってつく。塊根とむかごを食用にする。芋に対する語。[会話] ヤマノイモ 長芋。自然薯芋なあ(です)。ヤマノイモ とろろ芋 とろろして 食べるど美味しい やんかな(です)。

**やまのかみ (山神)【名詞】** 1) 山神を祭る祠 道の辻々に有り、十一月一日を祭りの日とする。2) 妻を言う語。里の神(若く美しい)に対して山の神は醜く嫉妬深い女神(松、多、上、阿、張、名、尾、南)

**やまのかみ【名詞】** やまのかみ カサゴ科の海魚 全長約 30 cmに達する。カサゴに似ているが背鰭、尾鰭がふさ状に長く伸びる。体色は淡紅色の地に黒色の横縞が有り、各鰭に黒点列がある。背鰭の棘に毒腺を持ち、刺されると酷く痛む。(志、尾、南)

**やまのし【名詞】** 山の持ち主。

**やまのすそ (山裾)【名詞】** 山の下の方。麓。(北) [会話] ヤマノスソ 言うのも ヤマスソ 言うのも 一緒や(だ)。すそも 麓もなあ(です)。

**やまのてっぺん【名詞】** 山頂(志(布施田)、鳥(答志)) [会話] ヤマノテッペン 言うて 一番峠をすてっぺん とか とっぺん(頂上)。

**やまのはら【名詞】** 山の中腹の斜傾面。[会話] 畑の土手 たあ(田)の土手 ヤマノハラの事を どて。

**やまばと (山鳩)【名詞】** 山野に住む野生の鳩。[会話] ヤマバト。山ん(に) おる(居る) はっと(鳩) ヤマバト。観音さんに おんのやてて(居るのでも) 皆 ヤマバトやわいなあ(です) 山むいて(向かって) 行くもんなあ(から)。

**やまぶき【名詞】** つわぶき キク科の常緑多年草。海岸近くに生え高さ 60 cm全体に褐色綿毛を密生。葉は根生し長い柄が有って葉身は幅 20 cm内外の腎臓形で光沢があり、縁は波状、秋、花茎の上部で分岐し経約 1.5 cmの黄色の頭花をつける、舌状花は12個内外で一列に並ぶ。果実は淡褐色の長い冠毛が有る。(志(神明、志島、国府))

**やまぶどお(やまぶどう)(ぶどう)【名詞】** えびずるブドウ科のツル性。落葉木本、巻ひげで他物にからむ葉は長柄を持ち大きく心臓状円形浅く3~5裂し縁に不規則な鋸歯が有り、裏に赤褐色の綿毛を密生する。秋、美しく紅葉する。初夏、黄緑色の小さな五弁花を多数円錐状につける。果実は径8 mm位の球形で黒熟して食べられる。(志、鳥、桑郡、桑市、員、張、度、北)

**やまほど (山程)【名詞】【形容詞】** 物が沢山あるさま。[会話] ヤマホド もおたよお(貰いました)言うて、沢山貰うとなあ。ヤマホド 願わな(なれば) 針程かなわん言うてな、願い事 すんのものなあ(するの)も よっけ(沢山) ねごてなあ(願って) ヤマホド たっこお(高く) 願わな(なれば) 針程 かなわせん(かなわない)言うて。

**やまみ (山見)【名詞】** 1) 船の位置を知るため陸上の目標を見ること。2) 山の立木を買うのに下見すること。[会話] 2) ヤマミん(に) いて(行って) 来た言うて。買い山 すんのおん(するの)に 山師な(が) こおとんの(買っているのを) 又買ひすんねやんかい(するのです)。小買ひに分けて 貰うの(のを)。山みいん(見)に いて 来たよお 言うて。ええのな(よいの)が 有ったかい(ですか) てや(と云えば) まあ たっかいけど(高い)が こおといて(買っておいて) 来たれ 言うてな。山 こおとる 人ななあ(が) まあ、この山 一山を百円で こおとる(買っている) そすと(すると) わしらな(私達が) そげん(そんなに) 多いよって(から) それ 割ってくれえ 言うてな それ 十円でも 二十円でもな わけて(売って) 貰うの 割ってくれえ(下さい) 言うてな。そすと(すると) また こんだ(今度は) 三軒でも 四軒でも仲間ん(に) なせてくれ(仲間に入れて下さい) 言うてきて、おお なせたるわ(仲間に入れてやる) 言うて。そして 十円を 五軒でしろか(切りましょうか) 二円わりやいやなあ(割合だ) 言うて そげん(そんなに) して 山 みいん(見)に 行きおったね(行って居たのです)。1) 舟で山見る 言うて 山あわすのをなあ 山あわしてくれえ(下さい) 言うてな じょおし(漁師)の人らなあ。

**やまめ【名詞】** 寡夫。やもめの転(志(越賀、畔名、浜島、国府、志島、磯部、鶴方、神明、立神)、鳥(鳥羽、国崎、相差、桃取、坂手)、阿、員、津、松、上、張、名) [会話] やもめ。後家かヤマメか 言うて。男ヤマメに蛆な(が) 湧く 言うて。おなご(女)は後家やし(です) 男は ヤマメなし(です)。

**やまもち (山持)【名詞】** 山を持って居ること、又その人。資産家。

**やまもも【名詞】** 腔腸動物 うみとさか、とさか、おおとげとさか、うみとさか 海鶏冠、群体は樹皮状、キノコ状などさまざまで柔らかく、高さは普通10 cm以下。枝の上にポリブが密生し、ポリブと枝の表面に、無数の骨片が散在している。

**やまもり** (山盛) 【名詞】 【形容詞】 高く盛りあげる事、又その物。[会話] もやがる てんこもる ヤマモリや ヤマモリの事 もりあがる。

**やまやま** 【形容詞】 沢山の意を表す。(志(布施田))  
[用例] ほしな(欲しいのは) ヤマヤマやけど(だが) くれよお言わんで(下さいと言えなくて)。

**やまゆり** (山百合) 【名詞】 笹百合。ユリ科の多年草。高さ0.5~1m地下に経3~5cmの球状で白い鱗茎が有り、茎には紫色の斑点を散布、葉は短柄を持ち被針状で長さ約10cm初夏茎頂に経約10cmの漏斗状で淡紅色か白色の花が横向きに咲く。(三重県) [会話] ヤマユリ 言うな(のは) あっかい(赤い) ちよぼちよぼな(が) あんな(有るのが) ヤマユリ。ヤマユリ 言うな(のは) どいらい(大変) 匂いのええのや(よいのです)。ヤマユリ 言うな(のは) どての方に有って しいろい(白い) てっほゆり(鉄砲百合) みたよん(のように) しとんねけど(して居るのだが)、花一つより 咲かせんねけど(咲かないのだが) 匂いな(が) どいらい ええの。あんな(あれを) ヤマユリ 言うねやろなあ(言うのでしょうか)。百合根 喰うのは 花な(が) あっこおて(紅くて) ちよぼちよぼな(が) 有んのなあ(有るのです)。あや(あれは) 百合根喰うの(食べるのです)。てっほ百合 言うな(のは) 花な(が) 幾つも咲くのなあ(のを)。

**やまらせん。やまらん** 止まらない。やまらな。[会話] 痛みな(が) ヤマラセン 言うて。ここ 打ったや(ら) 薬 つけたけど(が) 痛みな ヤマラセン。

**やまりよおし(やまれふし)** (山獺師) 【名詞】 獺師。狩人。[会話] 獣 捕りん(に) 行くのを 狩に行く 言うて。ヤマリヨオシの事なあ(です)。

**やまる** 【自ラ五】 1) 止まる。終る。 2) 雨などが降り止む。(桑郡、桑市、四、津)

**やまをたてる** 海上で、船の位置を知るため、陸上に二つ以上の目標物を求めて測定する。[会話] ヤマヲタテル。じよおし(漁師、釣るのが) 上手な人は ヤマ、タテルのん(に) 上手で、山な(が) くらうい(詳しい) 言うたり、あのひた(人は) 山な(が) くらおて(詳しく) ぴしゃと よお(よく) 会わず 言うたり。下手なもな(者は) 鴉のヤマタテ 言うて あしこん(あすこに) 鴉な(が) 止まっとた(て居た) それと会わずと、鴉な(が) 飛んでて(で行って) おらんで(居なくて) 今度(次に) 判らせんねやんかい(判らないのです)。そやもんで(それで) 鴉のヤマ

タテ 判らんよおん(に) なった 言うて 此処い(へ) 置いたのん(に) まあ無い 言や(言えば) 鴉のヤマタテやれ(だ) そや(それは) 言うて、よお言うわい(よく言います)。じよおし(の) 人でも くらうひた(上手な人は) きちっと 会うんでわい(会うそうです) 山、会わずのん(が) 上手で。磯人(海女) の とまえ(船上で海女を助ける人) でも いて(行って) 嬢な(が) 其処で おおび(鮑) 採るやんない(でしよう)、そして(そうして) こか(此処は) ええ(よい) 島の下やわい(です) とおやん(お父さん) 言うて ちゃんと(正確に) 山、会わして(せて) 今度行くと そか(其処は) のおな(お前が) おおび(鮑) 採った とこやどお(所だ) 言うて ぴしゃと おろすんで(おろすそうです)。そやよって(それだから)、とまえも よおなけな(よくなければ) 大漁出来やせん(出来ません) 言うて。嬢かざきばつかよおても(潜って採るのが上手でも) とまえ な(が) 下手やと(だと) 嬢な(が) 島の下見付けといて(ておいて) 来ても 其処へ よおやらんやんない(行けないでしよう) そやもんで 大漁出来やせん、そやよって 上下揃わな はざん(駄目だ) 言うて。やっちゃうえした 言うて、上と下と ぴちっと おおて(息が会って) ええのを(よいのを) やっちゃうえした 言うやんかい(言います)。ととかか舟(夫婦舟) の時 上(船上) と下(海中) とで 息な(が) 合わな(なければ) 漁な(が) 出来やせん。かあやん(妻) な(が) 島の下の(へ) 見付けといて(ておいて) 来たや(ら)、とおやん(父、夫) こか(此処は) どいらい(大変) がいな(大変) ええ 島の下やわい 言うて、とおやん(夫) な(が) 山を 合わしとて(合わせて居て) そや(それ) 此処い(へ) 降りよ 言うて 其処い(へ) ぴちっと行く 言うねよって(言うのだから) 上、下な(が) 合わな(なければ)。他の人やったら(だったら) 底のもんな(者が、海底で作業する海女) いて(行って) あやまあ(あれあれ) いつやら(いつか) おおび(鮑) 採ったとこやなあ(所だ) 言うて 探さな(なければ) はざんけど(いけないが) 上な(が) 上手なと(だと) 今度(次に) 行くと 其処い 降すねよって(のだから) 大漁な(が) 出来んねけど(出来るのだが) ととな(夫が) 山 よお(よく) 合わさんと、しよおて(初手) 採った とか(所は) 何処やったかいのお(だったですか) 言うて 底のもんな(者が) いて(行って) 探さな(なければ) はざんよ

って 疲れも倍ん(に) なるし 入つとる (潜つて居る) 時間も 長いし。かちど (徒人。自分で泳いで採る海女) なら (ならば) 泳えんで (泳いで) もお (藻) や 下を合わせて (せて) 此処らやった (だった) おんな (俺の) あじら (あじろ-よい所は) おも (思つて) わがと (自分) 探して出来るけど (が) そやけど (しかし) 舟や (は) とまえ な (が) やる とこ (行く所) を、いってかな (潜つて行かなければ) はざんねよつて (いけないのだから) 上、下な (が) 揃わな (なければ) はざん。

**やみ (闇) 【名詞】** 1) 闇夜。2) 先の事が判らない事。

[会話] 2) クラヤミ。一寸先や (先は) ヤミやれ (だ) 言うて、にげ (人間) でも 先な (が) 判らん事な (が) 有ると。1) 月の出とらん (出て居ない) 時は 暗闇で 宵 (日没間もない頃) のうち (間) ヤミのうちや (間は) よいやみ (宵闇) 言うし (言います)。ふつか (二日) や (とか) みっか (三日) のおや (折りは、時は) 宵闇や (だ) 言うて、十五夜迄は 宵闇や (だ) 言うて 朝闇言うな (のは) 夜明けに 月な (が) 出て来んのなあ (来るのです)。十七闇や 十八闇や (だ) 言うて、八時か九時なあ (月が出る)。にじゅうさんちの さんやばば (二十三日) 言うのは、にじゅうさんちは 暗闇で 一寸先な (が) 見えやせん (見えません) 時化な (が) 荒い日 なすんの (日がします)。にじゅうさんち (二十三日) の さんやばば 言うて、二十三日ん (に) なる と むら雲な (が) さがつて (出て) さんやばば 言う人な (が) そのむら雲い (へ) 乗って来る 言うて、二十三日はたいがい (大体) 天気な (の) ええ日 (よい日) は しやせん。そして 真つ暗がりて 二十三日は ほんとの (本当の) ヤミや (です) 大闇の時や ろのお (時でしょう)。二十三日は がいん (あまり) ええ日 は しやせん (しません) たいがい (大体) 天気な (が) ぐずつたり 荒い日な (が) するな あ (します)。昔の人は 二十三日は降らねば曇る 言うて、さんち (三日) は ええ日な (が) しやせん のなあ (しないのです)。二十三日は旧 (大陰暦) の事やなあ (です) 旧の二十三日ん (に) なる と 降らねば曇る 言うて 降らんでも (降らなくても) 曇つて その、むら雲な (が) 下つて くんねやれ (来るのだ) 言うて。網掛け (海老刺し網漁) やなんや (何か) すんのも (するもの) 潮時 (干満) も 旧やなけな (でなければ) 新 (太陽暦) は 潮時も 判らせん し (ないし) 月の出も 判らせんのなあ (判りませ

ん) 新でいても (行つても) 合わせんのなあ (合いません)。

**やみあかす** 一晩中痛んで居る。痛みのため一晩中眠れない。(志 (布施田))

**やみあがり (病上) 【名詞】** 病気が治つたばかりで、まだ十分に体力が快復していない状態、またその時期や人。[会話] ヤミアガリ。寝とておつて (寝て居て) 起きて来たのおを (のを) ぐあいな (調子が) わりいて (悪くて)、よお (よく) なつてなあ 起きて来ると ヤミアガリで ほん (本当に) えらいねなあ (大変だ) 言うてな。

**やみあげく 【名詞】** 病後。病後で充分に体力の快復していない時、又その人。[会話] やみあがりも ヤミアゲクも一緒やなあ (です)。

**やみくたん** 無闇に

**やみくも (闇雲) 【名詞】** 際限の無いさま。無闇やたら。思慮分別の無い様。(志 (布施田)) [会話] ヤミクモに そげな (そんな) 事 したてて (しても) はざお かれ (駄目だ) 言うて。無茶苦茶にしたてて 言うのをな、ヤミクモな事 したててな そんな (それが) あおかれな (合わない) 言うてな。

**やみつき 【名詞】** 1) その事に没頭する。耽ける。2) 病気になる。(志 (布施田))

**やみつく (病付) 【自カ五】** 1) その事に没頭する。習慣になる。2) 病気になる。

**やみのよ。やみよ 【名詞】** 闇夜。伊勢海老漁の出来る夜。満月中心の一週間を除いた日。

**やむ (病) 【自マ五】** 病氣する。痛む。[会話] 人な (が) ヤンドテモ (でいても)、どおせ あやまあ (あれは) はざんわれ (駄目だ) 死んでくんやれ (で行くのだ)。

**やめあしに はれあし 【俚諺】** 悪い事の上に更に悪い事の重なること

**やめた** 終りにした。もうしない。

**やめとかんかい。やめとかんかな (女性語)。** やめとか んかれ 止めておきなさい。

**やめとく** しないでおく。[会話] こいな (こんな) 事 したない (したくない) ヤメトク。

**やめとけ** やめておけ。しないでおきなさい。[会話] せんとおけ (しないでおけ) 言うのを、ヤメトケまあ 言うてな。そいな (そんな) 事しても はざん (駄目だ) よつて (から) せんとおけまあ (しないでおけ)。そいな事しても 二度手間やれ (だ) 言うてな まあ せんとおけ 言うて、ヤメトケ 言うの (のです)。

**やめとこ** 1) やめにしなさい。2) 止めにしておきます。止めます。しません。

**やめとこやんか**、**やめとこやんかい**、**やめとこやんかな** (女性語)。**やめとこやんかれ** 止めましょう。終わります。終わりにしましょう。[会話] 今日はヤメトコヤンカナ 言うて、今日はこんで (これで) しまおやんか (終わりました) 言うて。

**やめな** 1) やめなければ 2) やめなさい。

**やめまい** やめない

**やめまいや** やめないでおきましょう。

**やめや** 終りだ。止めた。

**やめやす** 止めさせる。終りにさせる。(南)

**やめやせん** 止めない、中止しない

**やめやせん** 痛まない

**やめやれ** 止めです、中止してしません

**やめやれ** 痛みます

**やめる** (病める) 【**自マ下一**】 病む。痛む。感ずる。(志 (浜島、布施田、右型、立神、甲賀、国府、安乘)、鳥 (鳥羽)、松、桑市、津、多、張、伊、北、尾、南) [会話] 痛いのおを (のを) ヤメル 言うの (のです)。はあ (歯) な (が) ヤメル、頭な (が) ヤメル かいな (腕) な (が) だらけて (だらだらと) ヤメル 痛いのおを ヤメル。腹はなあ (です) 腹な (が) 痛い 言うて。腹な (が) ヤメル 言わへんけどなあ (言いません)。お産する時は 腹よおだ (やんだ) よおどる (やんで居る) 言うけど (が)、つねの (普通の) 腹な (が) 痛いのおは 腹な (が) 痛お (痛くて) 言うけど (が)。神経痛で 足な (が) ヤメル てやら (とか) 痛いのおを (のを)、頭な (が) ヤメル 歯な ヤメル 耳な (が) ヤメル、かいな な ヤメル どおぼね (背骨) な ヤメル 言うて。痛いとこ (所) を、皆、腹な (が) 痛いのだけ 腹な 痛い。

**やめれん** やめられない。

**やめんと** 中止しないで

**やめんと** 痛まないで

**やもめ** (寡夫) 【**名詞**】 妻を失った男。(志 (鶴方、浜島、御座、志島、甲賀)、鳥 (神島、答志)、多、上、阿、張、名) [会話] 後家か ヤモメか 親無しか 言うてな。嬬な (が) 無いのを なあ ヤモメ。戻つたり (で行ったり) 死んでたり (で行ったり) すんのなあ (するのです) あや ヤマメ。男ヤマメに 蛆な (が) 湧く 言うて。

…**やもん** だから (四)

…**やもんで** 【**接尾語**】 用語の連体形を受けて、それ故にの意を表す。ものだから。ので。(安、飯、松、伊、北、尾) [会話] 稲荷さんの 日ヤモンデ、今日はなんヤモンデ、なんやらヤモンデ 言うて 後でモンデを付けんのなあ (付けるのです)。今日は 年忌ヤモンデとか 結婚式ヤモンデ とか。

…**やもんな** だから (度)

**やや** 【**感嘆詞**】 嫌だ。自分の気持ちとしてある動作をする事、ある人や物に接する事を欲しないさま。不愉快なさま。好ましくないさま。いやだ、いやや、ややと詛り略された。(志 (越賀、布施田、片田)) [会話] ヤヤレ おら (俺は) 今日 さぶいのんなあ (寒いのに) 言うのを いやや (いやだ) 言うのを、いやは 言わんと (言わずに) ヤヤ 言うて。今日はおら (俺は) かいだりのん (疲れて居るのに) ヤヤレ 言うて。

**やや** (稚) 【**名詞**】 赤ん坊。幼児。ややこの略 (志) [会話] 赤ん坊も ヤヤ 言うなあ (言います) ややこ、や (だ) 言うて。

**ややげた** 衝突した。

**ややげてた** 衝突して行った。

**ややげてく**、**ややげる** 衝突する。乗り上げる。やりあげるの詛。[会話] とばげる (つまづく) 言うのは、やりつけてく (衝突して行く)。とびやげる (衝突する) とか ヤヤゲルとか。

**ややこ** 【**名詞**】 赤ん坊。乳児。やや参照 (桑市、一、上、阿、張、名) [会話] 赤ん坊も やや 言うなあ (言います) ヤヤコ 言うて。

**ややこし**、**ややこしい** 【**形容詞**】 こみ入って居る。煩雑である。複雑で面倒である。(志 (浜島、布施田、鶴方、神明、立神、志島、国府)、鳥、北) [会話] ヤヤコシ。せせかし 言うのも 一緒やけど (だが) ヤヤコシ 言うもん (者) も有るし、ほんまあ (本当に) せせかしわれ (です) こげな (こんな) 事すんな (するのは) 言うて。こまこおて (こまかくて、小さくて) せせかし 言うて、こげなこた (こんな事は) せせかして したないわれ (したくない) 言うて。めんどくさい (面倒臭い) 言う事を せせかし とか、ヤヤコシとか 言うて、こいなもん (こんなもの) めんどくそおて (臭くて) したないわ (したくない) 言うて 言やええんけど (言えよいのに)、せせかしわれ こいなもな (物は) 言うて。磯もん (小さな貝) 拾ろて来て 剥いて、喰うて、うそせせかし そげなもん (物) 剥いて喰うて ロい (に) たまるか (たまらない) 言うて。喰うていておって (食べて居るの

に)。うそせせかし そいなもん 言いもて (言いながら) くとんね (食べて居るのです)。

…ややった しなかった (志)

ややなかった 嫌だった。[会話] 結婚して まゆのき (眉毛) すんの (するの) ヤヤナカッタ。

ややひさし 【副詞】 暫らくの間 (志 (布施田))

ややれ 嫌だ。拒否する時の言葉。やや参照 (志 (船越)) [会話] ヤヤレ おら (俺は) さぶいのんなあ (寒いのに)。

ややわい 嫌です。

…やよって。…やよってん 【接続詞】 だから。(志、上、北) [会話] 今日は まあ 霜月一日ヤヨッテン とか、山の神さんヤヨッテン ごっつお (御馳走) せえよお (しなさい) 言うたりな。

やら 【名詞】 奴。野郎。やろうはの略訛。(尾) [会話] あのヤラ なつとも (なんとも) しよないね (仕様が無いのだ) おっちやくで (乱暴で)。あのやろ (野郎) 言うのを あのヤラ。あのヤラ わり (悪い) 事 ばっかして (ばかりして) 拳骨で むくつとかな (撲っておかなければ) はざんわれ (駄目だ) 言うてな。ヤラア言うて 怒る様な時んな (に) ええまあ あのヤラ 言うてな。

…やら (助詞) 【副助詞】 不確実。推量の意を表す。かも。疑問。(志、鳥 (加茂)、阿、張) [会話] なんヤラ かヤラ。なんヤラ (何か) 知らんけど (知らないが) あしこい (あすこへ) 置いといて来たれ (置いて来た) とか言うて、なんヤラ かヤラ 判らへんもんを (判らない物を)。

やらあ 【名詞】 奴 (尾)

やらかい 【形容詞】 柔らかい。(志 (国府、浜島、鶴方、神明、立神、甲賀、安乗)、桑郡、三、鈴、鈴市、安久、一、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、南) [会話] どんざれがしん (菓子の名称)。ヤラカイ くうろい (黒い) ねじったのおも (のも) 有る。

やらかした 1) した。行なった。2) してしまった。失敗した。3) 飲食を終わった。4) 盗んだ。[会話] 2) 失敗した時も、ヤラカシタヤオ (やってしまった) 言うて えらい (大変な) 事 ヤラカシタ 言うて。

やらかしたかい 1) しましたか。2) 食事は終わりましたか。

やらかしたた してしまった。失敗した。やらかした参照

やらかしてきた 1) 食事を終えて来た。2) 盗んで来

た。[会話] 1) やらんかい (食べませんか) 言うて、まあ ヤラカシテキタよお 言うて、飯をな くとり (食べている) とこい (ところへ) 入って来ると。2) 人のもん (物) を ぬすで (盗んで) 来た のおも (のも) ヤラカシテキタ 言うて。あすこんの (のを) ヤラカシテキタよお (来ました) ちよいと (少し) 言うて。

やらかしとる 1) 食事中です。飲食している。2) している。

やらかしとんのおかい。やらかしとんのかい 食事中ですか。[会話] ヤラカシトノカイ 言うて、飯くとり (食べている) とこい (ところへ) 来ると ああ (はい) やらんかい (食べませんか) 言うて やって (食べて) 来たよお 言うて 食べとんのかな (ているのですか) 食べんかな (ませんか) 言うのを くて (食べて) 来たよお 言うのをな やって (食べて) 来たよお やらかして来た言うて。

やらかす (遣) 【他サ五】 1) 遣らかす。やるのぞんざいな言い方。する (失敗)。食う。飲む。取る (盗む)。(志 (布施田)、桑市、員、鈴市、上、阿、張、名、南、熊) 2) 痛い目に会わず。

やらかせえ 食べなさい。しなさい。[会話] 食べとる (ている) 事を やとんねよお (食べています) 言うてなあ すと (すると) 早よ (早く) やれえ (食べなさい) ヤラカセエ言うてな。

やらかもん 【名詞】 柔らかいもの。やらこもん参照

やらかい (柔) 【形容詞】 柔らかい。(志、桑市、三、鈴市、鈴、安、松、多、上、阿、張、北、尾、南、熊) [会話] 柔らかい事を ヤラコイ。ヤラコイナア とか、ぐしゃぐしゃやなあ (だ) 言う人も有るし (有ります)。柔らかい 言わせんの (言わないのです) ヤラコイ言う。今日は 畑い (へ) いたや (行ったら) ぐしゃぐしゃやれ (だ) 言うて、雨な (が) 降った挙句 畑い 行くと、水つきい (水はけの悪い所へ) 行くと 鍬使い すんのん (するの)に 鍬い (へ) 土な (が) ひつつくと ぐしゃぐしゃで ヤラコオ (柔らかく) て、今日は 畑のこた (事は) 出来やせんわれ (出来ない) 言うて。食べるもん (物) でも ヤラコイ。飯でも ヤラコオテ ぐしゃぐしゃや (だ)。

やらこもん 【名詞】 手ざわりの柔らかいもの。絹織物。歯当たりの柔らかい物。柔らかい食べ物。やわらかもん参照 [会話] 絹もん (物) 見ると こや (此れは) ヤラコモンや (だ) 言うて。

やらこもんづくし 【名詞】 柔らかいものばかり。食べ

物、衣類など。やわらかも参照 [会話] 食べもん (物) でも 年寄りやよって (だから) やらこいもん (柔らかい物) ばっか (ばかり) 出さな (なければ) はざんわれ (いけない) 言うて、やいこいもん (柔らかい物) ばっか (ばかり) 出すと ヤラコモンゾクシや (だ) 言うて。

**やらし。やらしい (嫌) 【形容詞】** いやらしい。汚い。嫌だ。(志 (布施田、鶴方、神明、立神、国府、安乗)、鳥、鈴、北) [会話] いやらしい事を ヤラシ。くれんのこ (呉れるのですか) 言うて なんか (何か) 持てくと (持って行くと) 心やすい (仲のよい) もん (者) な (が) 言う事やけど (ですが)、おおた (あゝ) ヤラシ くれんのこ (くれるのですか) 言うて。そいな (そんな) 言葉な (が) はやり おつたな あ (流行して居ました)。ヤラシ 言う 言葉な (が)、綺麗なもん (物) もろても (貰っても) 牡丹餅もおても (もらっても)、おおた ヤラシ くれんのか (呉れるのですか) 言うて。そしたや (そうしたら) そげん (そんなに) ヤラシきや (いやらしければ) もてくわい (持って行きます) 言うて、怒って もてた (持って行った) 人も あんねてわい (有るのだそうです)。汚い時でも ヤラシなあ こや (此れは) 言うて。

**やらしがる** 嫌がる。汚がる。(桑郡) [会話] いやらし (いやらしい) 言う。おおた (ああ) あのひた (人は) いやらしなあ 言うてな、じろじろ人の顔ばっか (ばかり) 見て、いやらし人やなあ (だ) 言うて嫌がる。ヤラシ 言うね (言うのです)。嫌がる 言うのを ヤラシ ヤラシなあ 言うてなあ おおた あの人な (が) ヤラシよ (です) 言うて いやらし (いやらしい) 言うのを ヤラシガル 言うて。

**やらしこと** 1) 嫌な事。2) 嫌だ。

**やらしよ** 嫌だ。嫌です。汚い。

**やらす 【他サ五】** ある行為を行わせる。[会話] これ したれ (してやれ) 仕事さすのをなあ (させるのを)。此れ ヤラサナ (なければ) はざんわれ (駄目だ) あの こお (子) ん (にも)、いつもかも (いつも) 遊ばしとかんと (せておかず)に) 言うてな。仕事させる 言うのを ヤラス。

**やらせ** させよ。させなさい。

**やらせん** 1) あげません。2) しません。していません。[会話] 1) やりたない (したくない、与えたくない) 時は ヤラセン 言うて。

**やراتらし** 嫌だ。

…**やらった** でなかった。しなかった。

…**やらって** しなくて。でなくて。

**やらな 【助詞】** 1) しなければ。してやらなければ。

(上) 2) 与えなければ。[会話] 1) ヤラナ はざんない (駄目だ)。これ せな (しなければ) はざんない 言うのをな、これ、ヤラナ はざんない 言うのな (です)。しなければ いけない 言うのを。2) あれんも (彼にも) ヤラナ 言うて、あれんも (彼にも) 芋 ヤラナ はざんなあ (いけない)。呉れてやる事も、ヤラナ 言うの (のです)。あれげ (彼の家) も だいこ (大根) も、やって 芋も、ヤラナ はざんなあ 言うてな。

**やらまい** 1) 与えないでおこう。2) しない。[会話]

1) なんでも (何でも) ヤラマイ (与えまい) 思とんの (思っているのを) もてた (持っていった) おり (時) も、あれん (彼に) ゆわされたたよお (盗られてしまった) 言うて、盗まれた とか、とられた 言うのを やられたた (盗まれた)。

**やらまいか** 1) 与へないでおきましょう。2) しないでおきましょう。

**やらまいや** 1) あげないでおきましょう。2) しないでおきましょう。

**やらよかい。やらよかな (女性語)。やらよかれ** 1) 出来ません。2) あげられません。[会話] 2) 一つより 無いもん (物) やよって (だから) のおん (お前に) ヤラヨカレ (あげられません)、くれらよかれ (呉れられません) 言うのをなあ ヤラヨカレ。

**やらら** 1) します。2) あげます。[会話] 1) やります (します) 言うのをなあ ヤララ 言うて。2) まあこれ ヤララ わいにも (お前にも) 言うて、そしたら おれげ (俺の家) も くれるこお (くれますか) 言うて。俺も くれの (下さい) 言うの (のを) くれるこお 言うて問う訳や (です)。おお (はい) ヤララ 言うて ヤララ 言うのは あげます。おんな (俺が) ヤララ 言うて 物、呉れたんのも (てやるのも) ヤララ 言うし、1) 仕事したんのも (してやるのも) ヤララ言うしな (言います) おんな (俺が) ヤララ こや (これは) 言うて。

**やららった。やららったない。やららったれ** 1) しなかった。2) あげなかった。[会話] 2) くれ (下さい) 言うたけど (が) ヤララッタ。

**やられ** 1) あげます。2) します。[会話] 1) ヤラレ 言うのも、くれたる (くれてやる) 言う事をなあ。やるわら (あげます) 言うので、ヤラレ。あげます 言

う事を ヤラレ 言うて。2) 仕事すんのも (するの  
も) ヤラレ 言うて。

**やられざった** 1) 出来なかった。2) あげられなかつた。  
[会話] 1) 出来なかった 言うのを ヤラレザツ  
タ 言うて。

**やられた** 1) された。2) 盗まれた。3) 出来た。す  
ることが可能だった。  
[会話] 2) 盗まれた とか と  
られた 言うのを ヤラレタ。

**やられたた** 1) された。2) 盗まれた。  
[会話] 2) おれげや (俺の家は) まあ よっけ (沢山) 南瓜な  
(が) なつとたのん (ていたのに) 皆、ヤラレタタ。  
盗まれたた (てしまった) 言うのをな ヤラレタタヨ  
オ 言うてな。 いたされたたんよお (盗まれてしまつた)  
言うたりな 盗まれたた 言うのをな ヤラレタ  
タ。そすと ぬすで (盗んで) 来たもな (者は) やつ  
て来たんよお (来たのだ)、いたして来たねよお と  
かな。1) しやれた (された) された 言うのも ヤラ  
レタタ。

**やられやせん。やられやせんわい。やられやせんわな**  
(女性語)。**やられやせんわら。やられやせんわれ**  
1) あげられません。2) 出来ません。  
[会話] 1) や  
りたない (やりたくない) 時は やらせん (やらない)  
言うて。 こや (此れは) ヤラレヤセン、くれ (下  
さい) 言うても、こんだけ (此れだけ) のもん (物)  
家い (に) 置いとかな (置いておかなければ) はざん  
よって (いけないから) ヤラレヤセンワイ 言うて。

**やられやった** 1) あげられなかった。2) 出来なかつた。

**やられる【動詞】** 1) とがめられる。叱られる。罰せら  
れる。2) 盗まれる。3) あげられる。4) 食べられ  
る。  
[会話] 2) 今日 此処ん (に) 置いて有つたや  
(たら) 誰やら (か) やってたない (盗んで行った)  
言う時も 有るなあ (有ります)。盗まれたると (て  
やると) 此処ん (に) 置いて有つたや 無いよおん  
(に) やられたたなあ (てしまった) やられたたんな  
あ 言うて。 あんな (彼が) 通つたよって (から) や  
つてたんどお (盗んで行ったのだ) 言うて。 ぬすでた  
(盗んで行った) 言わんと (ずに) やつてたんどお  
言うて。1) げんこ (拳骨) むくられた (撲られた) 言  
わんと (言わずに) ヤラレル 言うて。 そして (そう  
して) 人を やりつける (やっつける) 時も やりこ  
めた 言うて。 あれん (彼に) やりこめられたよおて  
やら (とか) 言うて。 あれん やられてまあ 言うて  
してやられた てやら 言うて。

**やられんわい。やられんわな** (女性語)。**やられんわれ**  
あげられません

**やらん** 1) やらない。上げません。2) しない。

**やらんかい** 1) 食べませんか。飲みませんか。2)  
しませんか。3) あげなさい。  
[会話] 1) めしどき  
(食事時) ん (に) 他所の家ん (へ) 行た時ん (に)  
ヤランカイ 言うやんかい (言います)。

**やらんかな** (女性語)。**やらんかれ** 1) あげなさい。  
2) 食べなさい。3) しなさい。  
[会話] 1) のお (お  
前) ばっか (ばかり) 喰わんと (食べずに) 此の子も  
(にも) ヤランカレ。

**やらんこ。やらんせ** 1) 食べませんか。2) しません  
か。

**やらんでく** 柔らいで行く。痛みが次第になくなる。  
(志 (布施田))

**やらんならん** 1) しなければならぬ。2) 与えなけ  
ればならぬ。

**やりあう** (やりあふ) (遣合) 【他ワ五】 互いにする。言  
い争いをする。喧嘩する。

**やりあげる** 【他ガ下一】 衝突する。舟が岩礁などに乗り  
上げる。  
[会話] ヤリアゲル やりやげる 言うね  
(言うのです)。ややげた 言うてな ややげてた  
言うてな 島い (に) とびやげてた (突き当たつた)  
言うたりな。浅瀬い (へ) 乗つてた (ていった) 事を  
なあ ややげてた 言うてな、舟な (が) 浅瀬い  
(に) 乗つてくやんない (て行くでしょう)、それを、  
ややげたよお 言うね (言うのです)。島い (に) 舟  
な (が) のしやげとる (乗り上げている) 言うのを  
ややげとんね (ているのだ) 言うてな。衝突する ヤ  
リアゲル。衝突する 言うのを ヤリアゲル。やりつ  
けて来ても もの言わせんね (言わないのだ) 言う時  
な (が) 有るやんかい (有ります) とびやげて (突き  
当たつて) 来ても もの言わせん (言わない) てやら  
なあ (とか) あのにげや (人は) 怒つとんのかして  
(ているのか) 俺ん (に) とびやげて (突き当たつ  
て) 来ても もの言わせん 言う時も有るなあ。やり  
つけてた (ていった) のおも とびやげてた (ていつ  
た) のおも (のも) 一緒や (です)。

**やりいおにおおいお** 【俚語】 逃がした魚は大きい。  
[会話] ヤリイオニオオイオ 言うてな、どいらいの  
(大きなのを) 突いたや (たら) やつたたれ (逃がし  
た) 言うて。ちっちゃい (小さい) のおでも (の  
で) おつきい (大きく) 言うもんで (ので) ヤリイオ  
ニオオイオ 言うね (言うのです)。逃がしたたな

(てやったのは) ひた (人は) 見やせんよってんなあ  
(見ないから) 大きなみたいん (のように) 言う  
んやんかい (言うのです) どいらいの 突きそこねて  
(損じて) やったたよお (逃がしてしまった) 言うて  
逃がした魚を おっきい (大きく) 言うね (のです)。

**やりいか** 【名詞】 けんさきいか 剣先鳥賊 ジンドウイカ科のイカ。胴の長さ約35cm、触腕を含めると約55cmにもなる。胴が細長く、形を剣の先に見たててこの名がある。ヤリイカに似て居るが胴の後端が鋭くとがって居るので区別出来る。肉は厚く甘味がある。やりいか 槍鳥賊 ジンドウイカ科の大形のイカ。胴長約40cm。体は細長い円錐形で槍の穂先に似る。ひれは三角形で胴の左右にあり、腕は短く胴の長さの四分の一以下。肉は薄い、味はよい。

**やりおき** 仕事が完了ししだい終える事。[用例] 今日 は さぶいよって (寒いから) 仕事きまつたら (終わったら) ヤリオキして 家 行こや (行きましょう)。

**やりかけ** 仕事が途中で有る事。

**やりかけ** 【名詞】 鯛。(うるめいわし) [会話] ヤリカケイワシ 言うのも 有るやんかい。(有ります) 鯛をヤリカケや (だ) 言うて。

**やりかける** 【他カ下一】 1) 座礁させる。2) 喧嘩などをふっかける。3) 仕事を始める。

**やりきったる** 徹底的に行う。(志(布施田))

**やりきり** 向おみず。やりはなし。[会話] ヤリキリ みたよん (のように) 言うにげ (人間) を やんちや (腕白) やよってん (だから) 言うて。

**やりきる** 【他ラ五】 1) 最後迄し遂げる。2) 勢いよく行う。[会話] 1) ヤリキル、仕事してして しいきつ たた (しきつた) 言うのを ヤリキル。今日は まあ 頑張って やりきつ といて (ておいて) 来たよお (来ました) 言うて。

**やりぐい** 【名詞】 魚を釣るのに餌を入れるとすぐ釣れること。[会話] 入れ食い 言うな (のは)、魚つんのん (釣るのに) ヤリグイ 言う。まあ 魚な (が) 餌さ いて (刺して) 直ぐんと (直ぐに) 啜えて来るやんな い (でしょう) そすと (すると) また はずし といて (ておいて)、やるとまた 啜えてくんの (くるのを) ヤリグイ やよお (だ) 言うてな。

**やりくさる** する。しているを卑しめて言う語。

**やりくされ** せよ。しなさいを卑しめて言う語。[会話] しくされ (しなさい) とか、ヤリクサレ とか、腹の立つ時ん (に) 使う言葉や (だ)。

**やりくち** (遣口) 【名詞】 物事のやりよう。手段。方法。

[会話] ヤリクちな (が) 一緒やよって (だから) あ や (あれは) あの にげやどお (人間だ) 言うて。手口な (が) 一緒や (だ) 言うの なあ。ぬすでた (盗んでいった)、して有る仕事な (が) 一緒やよって あれん (彼に) 違いないわれ (ないのだ) 言うて、なん やかや (いろいろ) 盗られたると なあ (てやると)、手口な (が) 一緒やよって (だから) あや (あれは) あの にげ (人間) やどお、ヤリクちな (が) 一緒やんかあ (でないか) 言うて。した事な (が) よお (よく) 似とると (似ていると) ヤリクちな (が) 一緒や (だ) 言うて

**やりこす** (遣越) 【他サ五】 1) 後ろから来た者を先に行かせる。2) なにもしないので時の過ぎるのを待つ。3) 程度を越えて行なう。

**やりこなす** 【他サ五】 終了する。難しい事をしあげる。[会話] ヤリコナス 言うな、仕事して 終わった 言う事や なあ (です)。仕事な (が) 全部終わった 言う事や なあ。

**やりさがし** 色色とするがいずれも未完成である。(志(布施田))

**やりさがす** 完成しないのに、あれこれ手を出す。

**やりすえとられ**、**やりすえとる** 盛に行なつて居る。(仕事、食事) (志(布施田)) [用例] 腹な (が) へつ とんのかして (空いているのが) 飯 ヤリスエトル。

**やりすえる** 1) 一生懸命にする。一心にする。2) 飲食など盛んにする。

**やりせない** やるせないの訛 1) 心のやりどころがない。(員) 2) 思いを晴らす方法がない。する方法がない。[会話] 2) 尻がさ (尻の出来物) な (が) 痒い のおと (のと)、孫の かわい (可愛い) な (のは) ヤリセナイ。

**やりそくない**、**やりそこない** (やりそこなひ) 【名詞】 失敗。しくじり [会話] ヤリソコナイ。ヤリソコノタ よお (ないました) 言うんなあ (言います)。ヤリソコナイ やなあ (です) こや (これは)、えらい (大変) わりやんかあ (悪いでないか) 言うて。ヤリソコノタ テ (なつてしまつて) 言うて ヤリソコナイ やなあ (だ) 言うて。失敗したこと しぞこない した事 な。

**やりそこいた** 失敗した

**やりそこね** 【名詞】 失敗。

**やりそこなた**、**やりぞこなた** やりそこなつた。失敗した。そこねる参照 [会話] 何か失敗した事を ヤリソコノタ。

**やりたい** 1) したい。2) あげたい。[用例] 1) 今日  
はさぶうて (寒くて) よさや (夜は) 一杯 ヤリタイ  
ナア。

**やりたくる** 1) 一生懸命にする。2) したい放題をす  
る。(南) [会話] 1) ヤリタクル 言うな (のは、仕  
事 しいまくる 言うのを ヤリタクル、ヤリタクッ  
タタ (てやった)。喰うのでも いっしょけんめ (一  
生懸命) で 喰とると (食べて居ると) あやれ (あれ  
見よ) ヤリタクットラレ (て居る) 一人で 言うて、  
誰も (誰にも) 喰え (食べよ) とも 飲めとも 言わ  
んと (言わずに) 一人 やらかしとられ (やって居  
る) 言うて。仕事も沢山して来ると、仕事もヤリタク  
ットイテ来た、やりまくっといて来た、てやら (と  
か) 言うて、充分にした 言う事。自分の思うよおに  
して来た、ぞんぶん (存分) に して来た 言う事や  
わい (です)。

**やりだし**【**名詞**】 1) 漁船のへさきの突き出た所。  
2) すこし飛び出して居る所。3) し始め。[会話]  
3) しい始め (仕始め) 言うのを ヤリダシた。子供ら  
な (が) しょんべ (小便) すんのでも (するのでも)  
窓からしょんべ ヤリダシとられ (て居る) 言うて、  
やりかけとる (て居る) てやら (とか)。1) 舟の先の  
尖とる (て居る) あしこも (あすこも) ヤリダシ。  
あや おもて (表、前の部分) の先やよって (だから)  
おもてのとっさき 言うて、へさき 言う人も有  
るし。おもてのさき 言う人も有るし。2) 飛び出しと  
る (て居る) 時ん (に) 飛び出しとんの (て居るの  
を) 平行になつとらな (なつて居なければ) いかんの  
ん (いけないのに) そや 此処な (が) ヤリダシとて  
(て居て) はざんわれ (いけない) 言うて そお言う  
場合も 使うの (のです)。

**やりだしとる** 1) 突き出て居る。2) 仕始めている。

**やりだす**【**他サ五**】 1) 突き出す。2) 仕事を始める。  
[会話] 1) 大きな腹 ヤリダシテ うみずき (臨月)  
ん (に) よばれてく (招かれて行く)。

**やりつきおおいお**【**俚諺**】 逃がした魚は大きい。[会話]  
突き手 (突く人) な (が) 突いて 落としたると (て  
やると) ヤリツキオオイオ 言うて やったのおは  
(逃がしたのは) おつきい (大きく) 見えて。

**やりつけてきた** ぶつかって来た。突き当たって来た。  
ぶつかる参照 [会話] ぶつかる 言う事を ヤリツ  
ケテキタ 言うの (のです)。

**やりつけてく** ぶつかって行く (志 (布施田))

**やりつけてた** 衝突した。ぶつかった。[会話] 衝突す

んのも (するの) ヤリツケテたんよお (のだ) 言う  
てな。柱い (に) ヤリツケテて (ていって) 頭 もも  
(瘤) ん (に) したよお (しました) 言うて。とびや  
げてく (衝突する) のを とびやげてた (突き当たっ  
た) 言う時も有るし。ヤリツケテタ (て行った) 言う  
時も 有るしなあ。やっつけてた言うてなあ。打ちつ  
けたた (てやった) てやらなあ (とか)。

**やりつける** (縫付)【**他カ下一**】 1) 突き当たる。ぶつ  
かる。(志 (片田)) 2) やっつける。叱る。[会話]  
1) ヤリツケル 言うて、とびやげてくのを (飛び上げ  
て行くのを) おおた (あゝ) あんな (彼が) ヤリツケ  
テ来たんよお (来たのだ) 言うて、ものも 言わんと  
(言わずに) ヤリツケテ来たよお (来た) 言うて 突  
き当たる 言う事を、とびやげて (突き当たって) 来  
た。突き当たる 言う事を とびやげる 言うやんか  
い (言います・言うで有りませんか)。

**やりつける** 仕慣れている、いつして居る

**やりて** (遣り手)【**名詞**】 1) 腕前のすぐれた人。仕事  
のよく出来る人。(南) 2) 仕事をする人。[会話]  
1) あやまあ (彼は) ヤリテやよって (だから) 言うて、  
えらい (すぐれた) 人を ヤリテや (と) 言う。あや  
まあ (彼は) ヤリテやよって なんでも 言うて。頭  
のええ (よい) 人の事 あんで (あれで) 言うんかい  
なあ (言うのでしょうか)。物 上手ん (に) する人  
も あや (彼は) ヤリテでなあ 言うし。頭な (が)  
冴えとる人な (が) する事を ヤリテやよって (だから)  
言うて。あつちいも こつちいも 商売あげたり  
土地も こおたり (買った) する人を ヤリテやな  
あ (だ) 言うて。商売人の えらい (上手な) 人を  
よけ (多く) 言うなあ (言います) あや (彼は) ヤリ  
テや 言うて。

**やりどく** (遣得)【**名詞**】 やると得になること。やって  
得をすること。

**やりとり** (遣取)【**名詞**】 やったりとったりすること。  
交換。売買。交渉。

**やりぬくい**、**やりのくい** 困難だ。するのが難しい。や  
りにくい。(志) [会話] やりにくい 言う事、ヤリ  
ノクイ。ヤリノクウテ (くくて) ヤリノクウテ 言う  
てな、しのくうて とか。難しいとか 困難や (だ)  
とか 言うのをな ヤリノクウテ 言うて ヤリノク  
イも、しのくい (しにくい) も 意味は一緒やけどな  
(です)。

**やりまくる** 一生懸命に行う。やりたくる参照 [会話]  
仕事も沢山して来ると やりたくっといて (ておい

て) 来た ヤリマクツトイテ来た、てやら (とか) 言うて 充分にして来た。

**やりやい【名詞】** 1) 競争。喧嘩。やりあいの訛。  
2) 交換。[会話] 1) 競争することをヤリヤイ。競争すんのを (するのを) ヤリヤイしょおか (しましようか) 言うて、仕事 ヤリヤイしょおや (しましよう) とか。言葉をゆいやい (口争い) すんのを やりよて (あつて) まあ 言うて。やりよたよお (やりあつた) 言うて 喧嘩すんのを やりよて 言うて。ヤリヤイしたよお (しました) あれと (彼と) 言うたり。競争したり 喧嘩したり すんのを ヤリヤイ。2) お前げ (家) ヤリヤイしょおか ヤリヤイしょおや 言うてな、わしな (私が) あんだげ (貴方の家) い (へ) 此れやるよつて (から) 此れ あんた (貴方) くれえ (下さい) 言うのを ヤリヤイしょおや 言うね (言うのです)。交換すんのをな (するのを) ヤリヤイしょおや 言うて。

**やりやう** 1) 喧嘩する。口論する。争う。やりあうの訛。(南) 2) 交換する [会話] 1) ヤリヤウ、喧嘩する。2) そしてな (そうして) 物を やつたりとつたり (交換) すんのも (するの) ヤリヤウ言うのな (です)。ヤリヤウ 言うのは 交換する事も有るし、争う。あやまあ (彼は) やりよとんねよお (あつているのだ) 言うて 喧嘩しとるとな (していると)。

**やりやがって** しての卑語

**やりやがる** するの卑語

**やりやがれ** せよの卑語

**やりやげる** 乗り上げる。やりあげるの訛。[会話] やりあげる (衝突する) ヤリヤゲル 言うね (言うのです)。島い (へ) とびやげてた (突き当たっていった) 言うたりな 浅瀬い (に) 乗ってた (乗っていった) 事をなあ。

**やりやりよかい。やりやりよかな (女性語)。やりやりよかれ** やられよかれの訛。1) 出来ません。2) あげられません。[会話] 2) ヤリヤリヨカレ 言うて、くれらりよかれ (あげられません) 言うのを のおん (お前に) ヤリヤリヨカレ。

**やりよい** しやすい。やりやすい。(北) [会話] ヤリヨイ 言うのは、しやすい 言う事を、ぜん (銭) な (が) よけ (沢山) 入って 生活も ヤリヨイ言うてな やりやすい。

**やりよた** 喧嘩した。争った。[会話] 喧嘩すんのを (するのを) ヤリヨタ 言うて。やりやいしたよお (しました) あれと (彼と) 言うて、競争したり、喧

嘩したりすんのを ヤリヨタ。

**やりよて** 喧嘩して。

**やる (遣る)【他ラ五】** 1) 船を進める。2) くれる。

与える。他人に物を与える。(志 (布施田)、桑郡、三、四、鈴、阿、度、伊) 3) 仕事する。何かをする。

4) 酒を飲む。飯を食う。5) 盗む。[会話] 2) ヤル 言うのは 相手に 物品をヤル。人に物やんの (やるのを) あの人ん (の) とこい (処へ) やろかいなあ (あげようか) 言うて。貰うもな (者は) もらを (貰おう) かいなあ (か) 言うて。ヤルワ 言うのは あげます 言う事や (です)。あんに (貴方に) 此れくれるわい とか ヤルワイ (あげます) とか 言うのなあ (のです)。貰うときや (時は) もろてこかいなあ (貰って行きましようか) ひとばか (少しばかり) 言うて。はい もてかんかい (持って行きなさい) 言うて。やれ 言うのは あげなさい 丁寧な言葉で言う。1) ヤル やけど (だが) 舟を進めるのもヤル。あつちやむいて (あちらむけて) うわて (風上) 向いて やつてけよお (行きなさい) 言うて、しもてへ やれよお 言うて 梶かう (梶を操る) 事をやれ 言うて、しもて (下手) へ やれとか、うわて (上手) い (へ) やれとか。

**やるかい** 食べますか。飲みますか。やらんかいは自分の意志を強く出し、やるかいは相手の意志を尊重している。[会話] おせきしょ ヤルカイ 言うて 晩酌の事を。

**やるくち【名詞】** 酒の飲める事、又その人。やれるくち。

**やるせ (遣瀬)【名詞】** 心を晴らす手段。施すべき方法。セ (瀬) はセキトマル (塞止) 所の意 (大言海) [会話] 悲しい 寂しい ヤルセない。寂しいて (寂しくて) ヤルセない 言うたり 悲しくて ヤルセない 言うたりな 身の置き所が無い。

**やるせない (遣瀬無)** 心のやり所が無い。思いを晴らす方法がない。心が晴れない。[会話] 外孫のかわい (可愛い) のと 尻がさ (尻の出来物) の痒い のおは (のは) ヤルセナイ。

**やるわ** 1) あげます。2) します。

**やるわい** 1) あげます。2) します。[会話] 1) これヤルワイ 言うて、呉れるわい (あげます) 言うのを ヤルワイ 言うの (のです)。のげ (お前の家) も これヤルワイ 言うて おれげ (俺の家) まあ ええわ (よろしい) 言うてな。

**やるわな (女性語)。やるわら。やるわれ** 1) あげます。2) します。[会話] 1) やられ (あげます) 言う

て くれたる (くれてやる) 言う事をなあ、ヤルワラ言うて。

**やれ** 1) しなさい。やるの命令形。(志、桑市、上、阿、度、鳥、南) 2) あげなさい。[会話] 1) ヤレも仕事せえ(しなさい) 言うのを、此れ やったれよお (してしまいなさい) 言うて 命令する時ん (に)、此れやっつけよお (しておきなさい) そや (それ) 今日は こっから (此处から) ここい迄 (此处へ迄) やっつけよお 言う時も 有るし、こんだけ (此れだけ) ヤレ 今日 言うて。仕事すんのも (するの) も やる 言うて、今日は 此れ やったらな (してしまわなければ) はざん (いけない) 言うて 此れ今日は やっついて (して) 何処其処もやっつて 言うて。

…**やれ【助詞】** 文末について軽い感情を表す。だ。(志、鈴市)

**やれぎ【名詞】** 石臼の柄。臼摺り臼の腕の部、手で持つ所。[会話] 臼のヤレギ。挽きもん臼の ヤレギも有るしな。臼摺りのヤレギも 有るしな。臼廻すのを便利なよおに つけてある ええ (柄) を ヤレギや (だ) 言うて。

**やれきゆうん** 突然に。今すぐに。

**やれざった** 1) 出来なかった。2) あげられなかった。(志) [会話] 1) したろん (してやろう) おもたけど (思ったが)、今日ちん (に) ヤレザッタ 言うて、出来なかった 言うのを。

**やれそれ【感動詞】** 1) 物事が簡単なさま。2) そばからせき立てるさま。3) 急ぐさま [会話] 3) ヤレソレ 言うて いたれ (行った) 言うてな。やれこら 言うてな、はよな (早く) せいて (急いで) 行く言う事を ヤレソレいたれ 言うてな。1) ヤレソレと 出来よかれ (出来ません) 言うて 簡単に、急いで 出来よかれ 言う事を ヤレソレに出来よかれ 言うて。

…**やれて** されて、られる、しやれる。(桑市、阿)

**やれやせん。やれやせんわい。やれやせんわな(女性語)。****やれやせんわれ** 1) 出来ません。2) あげられません。[会話] 1) こや (これは) 今日中に ヤレヤセンワレ 言うてなあ。こいな (こんな) 事 今日中にヤレヤセンワレ 言うてな。やらりよかれ (出来ない) 言うたりな、出来ません 言うのを やらりよかれ とか、こんな (これが) 早速 出来よかれ 言うてな。2) ヤレヤセン、くれられやせん (呉れられない) こや (これは) 大事のもん (物) やよって (だから) 言うてな。やりやりよかれ 言うて くれらりよ

かれ (呉れられません) 言うのをなあ。のおん やりやりよかれ (あげられません) こや (これは) おんな (俺が) 大事のもん (物) やのん (だのに) 一つより無いもん やよって (だから) のおん (お前に) やりやよかれ。

**やれやせんかった** 出来なかった。(志)

**やれやった** 1) 出来なかった。(志) 2) あげられなかった。[会話] 1) ヤレヤッタ。やられらった (出来なかった) 言う事かい (ですか)。やれざった (出来なかった) ヤレヤッタ 出来なかった言うのを やられざった (出来なかった) 言うて、まあ 今日中に ヤレヤッタレ 言うのな。したろん (してやろう) おもたけど (思ったが) 今日ちん (に) やられざったれ 言うて、やらよかれ (出来ません) またなあ言うて 出来やせん (出来ない) 言うのを やらよかれ。

**やれやれや** 仕事を終わった後の気持

**やれやん** 1) 出来ない。2) あげられない (桑市、鈴市)

**やれよお** 1) しなさい。2) あげなさい。

**やれらった** 出来なかった。(志)

**やれる【自ラ下ー】** 1) 出来る。(志、桑市、三、鈴市、亀、安、津、一、飯、松、多、上、阿、張、度、伊、鳥、北、尾、南、熊) 2) 酒を飲む事が出来る。[会話] 1) こんだけ (これだけ) 今日は よおやるかい なあ (よく出来るだろうか) ヤレルかい なあ (出来るだろうか) 言う時も あんなあ (有ります)。迷う時ん (に)。ヤレルやるに (だろう) 言うて、出来るやる (だろう) 言う事を。ヤレルだけ やってみよ (してみよう) 言うて、出来るだけ してみよ (みよう) 言うのを。やる 言うのも 出来る 言うのも 一緒 やなあ (です)。

**やれるくち【名詞】** 酒の呑める事、又その人。[会話] 酒 ヤレルくちや (だ) いけるくちや (だ) 一緒やけど (です)。あやまあ (彼は) ヤレルくちや やよって (だから) あんな (彼が) 来たら 一杯出さな (なければ) はざんどお (いけない) 言う時ん (に)。だいぶ (だいぶん) いきそおな (呑めそうな) 顔しとられ (して居る) 言うて あからがお (赤い顔) の 顔見ると あやまあ (彼は) いけそおなくちや (だ) 言うて。飲む口 も ヤレルくち も いける口 も 一緒 や (です)。

**やれん** 1) 出来ない。(志、四、津、上、張、度、尾、南、熊) 2) あげられない。[会話] 2) こんな なあ (これが) 人ん (に) ヤレンワレ (あげられません)

これは 大事のもん (物) やよって (だから) ヤレンワレ 言うてな、やられん (あげられない) 言うのをなあ。<sup>1)</sup> ヤレン 言うて、出来やせん (ない) 言う意味も 有るしなあ 此れは出来ない 言うのをな、ヤレン 言う時も 有るしな。

**やれんかった** 出来なかった。

**やれんで** 1) 出来なくて。(志) 2) あげられなくて。

[会話] <sup>1)</sup> まあ 今日中に ヤレンデ あした (明日) ん (に) 残したよお 言うて。

**やれんわい。やれんわな (女性語)。やれんわれ** 1) あげられません。2) 出来ません。

**やろ** あげます。やらう。(志、桑郡、員、一、松、上、阿、張、名、度、伊、鳥、南) [会話] ヤロ 此れはあげましょお 言うのも 有るし。ヤロカ (しましょうか) 言う時も 有るし。まあ (もう) いっぶく (一服、ひと休み) したよって (から) 又 ひといき (一息、もう少し) ヤロカ 言うて 言う時も 有るし物、ヤロ言うのと 仕事、ヤロ 言うのと。

**やろ (野郎) 【名詞】** 男の子。(志 片田、立神、布施田、浜島、鶴方、神明、国府、安乗、甲賀)、度、北、南) [会話] ヤロ (野郎) 言うて ヤロ クソヤロ 言うて。あの くそやら 言うて 男の人ら よお (よく) 言うやんかい。ヤロ ヤロ 言うの (のです)。男の子は ヤロ。こや (こら) ヤロ 言うやんかい。ヤロな (が) 出来たよお 言うて 男の子 もおけると (産むと)、おなご (女) の子 やったら (だったら) びたやよお (だ) 言うて。

…**やろ** だろう。にやあらむの転で、あるやらんから。…のだらう。…だらうかの意を表す。不確実な事を漠然と表す。(志、鳥、桑郡、桑市、員、四、鈴市、亀、安、津、一、飯、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、尾、南、熊) [会話] 今日は来るヤロ てやら (とか) 行くヤロド (でしょう) とか言うて。此れはこちらの考えを ヤロ 言うて。あてこと (見当をつける) みたよおん (のように) えごと (完全に) はつきり判らんで (判らなくて) 来るヤロ ぐらいで 話しする時な (が) あるやんかい (有ります)。来るヤロ おもたけど (思ったが) こらったれ (来なかった) 言うて。

…**やろ** しましよ。

…**やろお (やろう)** でしょう。断定の意を表す。(志、鳥、桑市、三、鈴市、安、津、久、多、上、阿、張、名、度、伊、北、尾、南) [会話] するヤロオ するやろなあ 言うてな、今日中に 出来やせん (出来な

い) やろなあ (だろう) 言うて。そして (そうして) どこそこい (へ) 行くやろなあ 行かせん (行かない) ヤロオ 言うてな。

**やろお、(やろう やらう) (野郎) 【名詞】** 野郎。男の子 (志、鳥、南)

**やろか** 1) あげましょうか。2) しましよか。しようか。3) だらうか。かしら。(志、桑市、桑郡、三、鈴市、亀、安、津、一、久、上、阿、張、度、伊、北) [会話] <sup>1)</sup> 物を あげよか (あげようか) 言う時も ヤロカ 言うし。<sup>2)</sup> 仕事しよおか (しましよ) 言うのも ヤロカ 言うて。まあ ヤロカ ぼちぼち (ぼつぼつ) 言うて。やすどて (休んでいて) 仕事い (に) かかる時 まあ ヤロカ言うたりな。<sup>3)</sup> それヤロカ 言うて 疑う様な時もな。

**やろが** だろう。(志) [会話] そおヤロゴ 言うて。そおやんない (でしょう)、そげなの (そんなの) やんない 言うのをな。そおヤロゴ 言うて そおだろお 言うの (のを) そおヤロゴ 言うて。

**やろかあ** 1) しましよか。しようか。2) あげましょうか。[会話] <sup>1)</sup> ど (樽) 漕んどて (でいて) ヤロカア てや (と言えば) もてこい (持って来い、やって来い) 言うて 樽 漕ぐのもな 競漕する時なあ、ヤロカア 言うて もて来い 言うて。<sup>2)</sup> ヤロカア 言うて あげましょうか。

**やろかい** 1) あげましょうか 2) しましようか [会話] <sup>1)</sup> ヤロカイ 言うて くれえ (下さい) 言うて、あげます 言う事や (です)。

…**やろかい** 【接尾語】 否定の意を表す。では有りません。[会話] それ ヤロカイ 言うてな。そおではない 言う事な (です)、違う 言う事 そいなね (そんなの) ヤロカイ 言うてな それは違う 言う事。

**やろかいなあ** 1) あげようかな。2) 始めようか。[会話] <sup>1)</sup> 此れ ヤロカイナア 言うて ヤロカイナア てや (とあれば) もて (持って) こいてや (来なさい) 言うて、<sup>2)</sup> 仕事すんのも (するのもの) ヤロカイナア 言うし、物 くれたんのも (くれてやるのもの) やろかい 言うし。

…**やろかいなあ** ではありません。ですな。(志) [会話] やろかい 言うな (のは) そおやない (でない) 言う事。うたごどる (疑っている) 時やなあ (です)。ヤロカイナア 言うて なあ つける時は そいな (そんな) 事 ヤロカイナア 言うて 嘘や (だ) 言う事を。そいな事 ヤロカイナア そや (それは) 嘘やわいなあ (です) 言う事をなあ。

**やろかな** あげようか。[会話] くよかい (あげましようか) 言うのを ヤロカナ 言うて、そや (それは) ちよいと (少し) ええ言葉や (です)、ヤロカイ言うのと。かなな (が) つくのは ちよいと てえねえんなね (丁寧なのです) ヤロカア 言うのは ざつくばらんやし (です)。

**やろかな** ではありません。[会話] 違う。そげなのヤロカナ 言うてな。そおやない (でない) 言うのな (です) そいな (そんなの) ヤロカナ言うてな そや (それは) 違うわい (違います) 言う事な (です)。

**やろがな** でしょう。[会話] 失敗するヤロガナ 裁縫しとでも (しても)。

**やろかれ** 否定。ではない。[会話] どうせ (どっちみち) どくな (大した) 事 ヤロカレ。

**やろかれ** あげません

…**やろけど** [接続詞] 肯定の否定。であらうが。そうだらうが。(桑市、多、北)

…**やろぞ** でしょう。だらう。(志)

**やろっぱち** (野郎八) 【名詞】 野郎。男性をののしって言う語。(南) [会話] ヤロッパチ 言うて、こらら (子供) わるう (叱る) 時空 (は) 此の ヤロッパチャ 言うて 言う時な (が) 有るわい (有ります)。

…**やろど** でしょう。だらう。

**やろな** でしょお。(志、桑市、鈴市、安、松、多、上、阿、張、名、度、北) [会話] そお ヤロナ 言うの ほんと (本当) ヤロナア 言うのな (です)。

…**やろなあ** でしょう。(志、桑市、安、津、一、阿、張、度、北)

**やろに** あげます。(志)

…**やろに** でしょう。だらう。[会話] やれる (出来る) ヤロニ 言うて 出来る**やろ** (だらう) 言う事を。

…**やろのお** でしょう。(志、安)

**やろまいか** 1) やらないでおきましょう。やらない。

2) しましょう。いっしょにヤロマイカ。

…**やろまいか** 多分でしょう。(亀、津)

**やろや** 【名詞】 宿屋。

**やろや** しましょう。酒のみましょう。食べよう。[会話] わが (自分の) 思い思いの事 すんのを (するのを) 別別のことを すんのを (するのを) めんめんころび (各人) で ヤロヤ言うて。

**やろやんか** 彼だ。

**やろやんか**。**やろやんかい**。**やろやんかな** (女性語)。

**やろやんかれ** しましょう。

**やろら** 【名詞】 奴ら。特に子供に使用する。(北) [会

話] 子供らを 腕白小僧らを ヤロラ 言うの (の) です。この ヤロラ そこらこらん (に) おって (居て) みよ (見よ) どいらいめん (大変な目に) したろん (してやる) 言うてな ヤロラ 言うて。

**やろん** あげましょう。(志 (神明、立神、国府)、鳥 (鳥羽、浦村))

…**やろん** でしょう。

**やわ** (やは) (和) 【副詞】 【形容詞】 柔かい。抵抗が少ない。

…**やわ** 文末にあつて、だ、よ、等決定を表す。(志、桑市、三、四、安、津、一、久、松、多、阿、張、名、度)

**やわい** (やはい) 【形容動詞】 柔かい。抵抗が少ない。(上、阿)

…**やわい** です。だそうだ。(鳥 (加茂))

**やわかい** 【形容詞】 柔らかい。(志 (神明、鶴方、国府、安乗)、鳥 (相差、桃取、坂手)、多、上) [会話] こやし (肥料) かけて したよってん (したから) ヤロカイ。

**やわこい** 【形容詞】 柔らかい。(志、鳥 (加茂)、員、一、多、上、阿、張、名)

**やわこお** (やわこう) 柔らかく。[会話] かったいもん (堅い物) 炊きづめん (に) しとんのより (しているのより) さっと 十分位 炊いて 火消して ほとらしとくと (蒸さしておく) ヤワコオ なんのなあ (なるのです)。

**やわつと** 物静かに 柔らかく

**やわな** 【形容詞】 軟柔な。簡単な。抵抗がない。[会話] ヤワナ 言うのは 弱い 言う事をなあ。**やかな** (抵抗の少ない) 事を ヤワナ。**やかななあ** (です) こや (これは) 言うて、やにこい (柔らかい) のおを (のを) こや まあ どいらい (大変) ヤワナ もん (物) やなあ (だ) 言うて。ほっそかたり (細かたり) うっすかたり (薄かたり) やにこいもん (物) を こや (これは) ヤワナなあ (だ) 言うて。

…**やわな** です。(志、四、安、津、度) [会話] すんね (するの) ヤワナ 言うて。あしこい (あすこへ) 行くん (の) ヤワナ 言うて。ヤワナ 言うのは なになにです。そおヤワナ 言うて そおです 言うのお。

…**やわなあ** ですね、だね

**やわやわ** (やはやは) 【副詞】 1) そろそろ。ゆっくり。慎重に。(員) 2) 優しく。やんわり。

**やわやわと** 【形容詞】 そろそろと。慎重に。(員)

**やわらかづくめ【名詞】** 1) 絹織物のみ、身につけて居る事。2) 柔らかい食物のみの食事。[会話] 2) ヤワラカづくめ 言うな (のは)、やいこい (柔らかい) もん (物) ばっか (ばかり) 喰うよおん (食べるように) となると ヤワラカづくめや (だ) こや (これは) 言う時な (が) 有るやんかい (有ります)。やいこい もん (物) ばっか 出とると (出て居ると) やいこい もんづくしや (だ) 言うて。ならんどると (で居ると、すべてそうなって居ると) ずくしや 言うて。1) 絹や あいな (あんな) もん (物) ばっか (ばかり) も やいこい (柔らかい) のなあ (のを) やわらかもん (柔らかい物) やらこもん (柔らか物) や (だ) 言うて。そいな時も (そんな時も) ヤワラカづくめ やらこもんづくしや (です)。やわらかもん 言うの (のは) 絹やなんや (何か) やいこい もん (物) を やらこもん 言うね (言うのです)。あの人ら (等) が 持つとるもな (持って居る物は) やらこもんばっか で言うて。

**やわらかもの (やはらかもの)。** **やわらかもん (柔物)**

**【名詞】** 柔らか物。手ざわりの柔らかな織物。絹織物。柔らかい食べ物。

**やわらぐ (やはらぐ) (和) 【自ガ五】** おだやかになる。きびしさがなくなる。[会話] 暑さな (が) ヤワライデ しのぎやすい。

**やわらげる (やはらげる) (和) 【他ガ下一】** やわらぐようにする。なだめる。

**やわらこい (やはらこい) (柔) 【形容詞】** 柔らかい。[会話] やえこい 言う人な あんねやろなあ。やいこいとか やわらかいとか ヤワラコイ言う人も有るし。

…やん **【接尾語】** さん。様。親しい目上の人に対す尊称。(志 (鶴方)、鳥、三、鈴市、鈴郡、安、津、一、久、松、多、上、阿、張、名、度、伊、尾、北、南、熊) [会話] 小父ヤン 小母ヤン 言うて、ヤン 付けんのなあ (付けるのです) さん (様) 言わんと (言わずに)。姉ヤンとか さんづけ を ヤンや (と) 言うね (言うのです)。とおヤン (父) かあヤン (母) 爺ヤン 婆ヤン 姉ヤン 小母ヤン 小父ヤン 兄ヤン 皆、ヤン付けんの (付けるのです)。目上のもん (者) ばっか (ばかり)。ちっさい (小さい) もん (者) は 言わへんけど (言わないが) わがと (自分) より上のもん (者) に ヤン。

**やん【感動詞】** 櫓を漕ぐ時の掛け声。

…やん **【助動詞】** 一段活用の動詞の連用形を受けて、そ

の事をしないと言う打ち消しの意を示す。行かれヤン。見ヤン。出来ヤン。(三重県全域)

…やん 推量の意味を表す。だろう。(志、鳥、北)

**やんいやんい。やんえやんえ【感動詞】** 櫓を漕ぐ時の掛け声。(志) [会話] ヤンイヤンイ 言う人も有るし ヤンエヤンエ 言う人も 有るしなあ (有ります)。鶴方の人ら やっしんとろりとへんぎいこお やっしょんやっしょん 言うて 浦 (内海) の人ら 呑気に言うどんの (言うて居るのです)。おもて (太平洋) の人は いそんどるもんで (急いで居るので) ヤンエヤンエ 言うたり へんやへんや 言うたり。とろんとしとたら (して居たら) 波な (が) 荒いよつて (から) うっかりしておられやせんやんない (して居れないでしょう)。そやよつて (それだから) へんやへんや 言うたり ヤンエヤンエ 言うて 急ぐよおな言葉やわい (です)。浦のもん (者) は なぎや (風は) ええし (よいし) なみや (波は) 無いし とろんと しとや (しておれば) ええんよつて (よいのだから) やっしんや やっしんよお 言うて こんどんの (漕いで居るのです)。“鶴方のこえかや (肥かえは) 横山 見かけて やっしんよいそら やっしんよい へんぎこお 言うて。表のもんら (者は) そんな事、しておられやせんよつて (おれないから) 言葉も荒いし する事も荒いし、櫓 漕ぐよおん (に) となると みんなな (皆が) へんやあ あ へんや 言うたり ヤンエヤンエ言うたり、大きな声で。そして ヤンヤン 言うて。せいぎづくよおんなると (生氣、勢いがついて来ると) いきつて (力入れて) 来ると ヤンエ 言わんと (言わずに) どお (櫓) 押さんならん よおんなつて来ると (漕ぐようになって来ると) ヤンエも 言うどろかい (言うて居ません) ヤンヤン 言うて。あんだけ (あれだけ) なんかなしん (なにかなしに) きもち (気が荒く) ん (に) なつてくんね (来るのです) 海な (が) 荒いだけん (に) にげ (人間) も荒い。ヤンエヤンエ 言うどる (言うて居る) うちや (間は) まだやさし (優しいけど)。ヤンヤン 言うて来ると 力入れて いっしょけめや (一生懸命です)。波な (が) あるなつて (荒くなつて) 来ると ヤンエ 言うどる (て居る) ひま (時間) が無いの (のです)。風のええ (よい) 時 ヤンエヤンエ 言うて 風な (が) 吹いて来たら そげな (そんな) 事 しとたら (して居たら) しゃくられるわい (取り上げられます)。偉い人 (上手な人) らな (が) 若い衆や (とか) どおな (櫓が) とろくさい (下手) もんら

(者は) だれ おこせ 言うて 取りん (に) 行くわい (行きます)。波な (が) 荒るなって (荒くなって) 来ると どんだけでも (どれだけでも) はよ (早く) 着かな (なければ) はざんやんない (いけないでしょう) そやもんで (それで) 偉い人らな (が) いましたなって来て しゃくれんねてや (取りあげられるのです)。のそのそ こんどると (漕いで居ると) 下手なもん (者) は どお (櫓) 浮かされて やん 言うて どっこいだったん 言うて 落としたん ねやんかい (落としてしまうのです)。波を よお (よく) 乗せんねやんかい (乗せないのです) 櫓へ。力入れて はやお (早緒、櫓に掛ける綱) 張つとると (て居ると) どお (櫓) な (が) 浮かせんねけど (浮かさないのだが) 早緒 よお 張らんと (張らないと) “早緒のたるみに しゃね (女陰) ほそだ” (挟んだ) 言うて、早緒たるむと 力入らせんもんで (入らないので) どお浮かされんねやんかい 波で。 そやもんで (それで) 稽古のもん (者) ら (が) 漕んどると (漕いで居ると) やん どっこい がったん 言うて 落としたんで (落としてやるので) いれこと おきざと よお はさけとらんで (はさんで居れなくて) 浮かされて ぼんと したると (してやると) がたん 言うて 来て、やんない (来るので)。そやもんで 早緒も張って 漕がな (なければ) どお (櫓) な (が) 浮かれ (浮く) 言うて。

…やんか【接尾語】 何々でないかの意。(志(鶴方、神明、立神、志島、安乗)、鳥、四、鈴市、亀、安、津、一、久、松、多、上、阿、張、名、度、北)

…やんか です。(志、鈴市、亀、一、久、阿、伊) [会話] そおヤンカ そや (それは) ほんと (本当) ヤンカ 言うて。嘘やれ (だ) 言うて そやほんと ヤンカ 言うて やんかあ 言うて。

…やんかあ ではないか。(志、鈴) [会話] そおです 言う時と そおでは有りません 言う時に、そおヤンカ そや (それは) ほんと (本当) ヤンカ 言うてな。嘘やんない (でしょう) 言うて、ほんと ヤンカ こや (これは) 言うてな。ほんと ヤンカ 言うのを そおヤンカ 言うのな (です)。“か”で切つたる (てやる) 時と “かあ” 言うて延べる時と。

…やんかい 1) …でしょう。推量の意を表す。2) です。断定の意を表す。(志、伊) 3) しましよお。しなさい。寝よヤンカイ。行こヤンカイ (志、鈴市) [会話] 2) そおヤンカイ (そうです) 言うて、こや (これは) こげなんヤンカイ (こんなのです) 言うた

り。そげなね (そんなのでは) 無いヤンカイ (ありません) 言うたり。疑う時や (は) そや (それは) そいなね (そんなので) ないんかい (有りませんか)。そおヤンカイ (そうです) 言う時や (は) はっきり しとんねけど (して居るのだが) そおやないんかい なあ (無いのだろうか) 言う時や、ちよいと (少し) 疑いしん (心) な (が) 有る時なあ (です)。そおやんかれ (だ) 言うて こや (これは) 今日 此れしたら な (してやらなければ) はざんやんかれ (駄目だ) 言うて、したれよお (してやりなさい) 言う時は 命令する時や (です)。やんかれとか かれが付く時は 命令やなあ (です)。おおた けんたい (横柄づく、当然の事) に あげん (あんなに) したらんかれ やてわれ (だ、そうだ) 言うて、言う時な (が) 有るんなあ (有ります)。けんたいらし 言うて 此れ したてくれよお (してやって下さい) 言うときや (言っておけば) ええねけど (よいのだが) 此れ したらんかれ 言うて 命令して あげん (あんなに) したらんかれ や てわれ 言うて 言う時な (が) あんね (有るのです)。したてくれえ (してやって下さい)、したてくれ (下さい) 言うて がいな (大変) ええねけど (よいのですが) したらんかれ 言うて命令やもんで (なので) 相手ん (に) なると 癩にさわる (腹が立つ) 時な (が) 有んねてや (有るのです) そやもんで (それで) おおた (おゝ) けんたいらし したらんかれ や (だ) てわれ 言うて 言う時な あるんなあ (有ります)。けんたいらし 言うて 当たり前 みたよおん (のように) 命令する言う 言葉やわい (です)。遠慮せんと (せずに) 偉つそぶつて (偉そうにふるまう) 命令的に 言うよおな 感じん (に) なんねや るなあ (なるのでしょうか)。けんたいらし 言うのは 当たり前 みたいな 顔して 命令する 言うて 同じしたらんかれでも おとなし (おとなしく) 言う時と、ちよいと (少し) 気にくわん時な (が) あんね (有るのです)、言いかたん (に) よって、したれ (してやれ) したらんかれ 言うて 力入れて 言うて べつんも (別にも、特別に) 相手は 癩ん (に) さわんの (のです)。ものも言ひよで 角が立つ 言うて 言葉な (が) かつとお (堅く) 言うのと やい こお (柔らかく) 言うのと。

…やんかな【接尾語】 です。(志、一) [会話] そおヤンカナ、そおやんかあも一緒や (です)。そおヤンカナ 言うて 目上の人ん (に) 言う時はなあ (です)、目下の人ん (に) 言う時は そおヤンカ 言うて

そおヤンカナ 言うて ちよいと (少し) 丁寧な言葉や (です) “な” つけんのなあ (つけるのです)。

…**やんかれ** です。だ。…のです。断定の意を表す。やんかい参照 (志 (片田、志島)、度)

…**やんこ** 【接尾語】 です。だ。(志 (甲賀)) [会話] そおヤンコ 言うななあ (のは) 友達に言う事なあ (です)。そおヤンコ ほんと (本当) ヤンコ 言うと、嘘やら (だ) 言うて。

…**やんせ** しなさい。(志、鳥、桑郡、鈴郡、度、伊、南、熊)

…**やんだ** しなかった (志、鈴市、亀、安、一、久、松、伊)

**やんちゃ** 【名詞】 【形容詞】 腕白者。子供が大人の言う事を聞かない事。いたずらや我儘をする事、又そのさま、又そのような人も言う。(桑郡、員、鈴郡、津、一、久、多、上、阿、張、名、度、南) [会話] ヤンチャモン (者) 言うな (のは) お転婆の事や (です)。何でもかんでも 無茶苦茶に すんのを (するのを) ヤンチャ みたよな (のような) 事して ヤンチャや なあ (だ) あや (彼は) 言うて。ヤンチャボウズや (だ) 言うて 男の子は 言うけど (が)、おなご (女) でも、ヤンチャモン (者) やどお (だ) 言うて、やりきりみたよん (向う見ずのように) 言うにげ (人間) を ヤンチャやよってん (だから) 言うて。暴れる 言うんでも (のでも) 無いんけど (無いが) する事な (が) 荒くたい (荒っぽい) のなあ (のです) ヤンチャのにげは (人は)。

**やんちやもん** 【名詞】 わんぱく者。やんちゃ参照張、

**やんでえ** 1) あげます。2) します。仕事などを始める。

**やんど** 1) あげましょう。(上、阿、張、名、度) 2) するだろう。[会話] ① のおん (お前に) ヤンド 言うて、くれるど (呉れるぞ) 言うのをなあ ヤンド 言うの。のおに (お前に) それヤンド もてけ (持っていけ) 言うて ほんえ (本当ですか) そしたら もろてこかいなあ (貰って行きましょうか) 言うて、あげます言う事をなあ、ヤンド とか くれんど 言うたりな。② 見とれ (見ておれ) あんな (彼が) ヤンド 言うて あや (彼は) わりことし (悪戯者) やよって (だから) みとれよ (見ていなさい) あんな (彼が) ヤンド まあ 言うてな。あんな (彼が) するやろ (だろう) 言うのをな あんな (彼が) きっと (必ず) ヤンド言うてな。

**やんどお** やるぞ。くれてやる。行かせるぞ。[会話]

片田の石の 置いてある家へ ヤンドオ 言うて 子供わるう時 (叱る時)。

**やんな** するな。禁止。やるな。(松、度、尾)

**やんな** 与えるな。[会話] ヤンナ それやったら (与えたら) はざん (いけない) やんな (でしょう) それ やったんな (与えずにおけ) 魚でも逃がしたると (てやると) やったたよお 言うて。物くれたら いかん (いけない) 言うのも ヤンナ やったらはざん 言うて。

…**やんな** …だろう。(志、鈴市、安、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、尾) [会話] そおヤンナイ 兄よ そか (そこは) ええわれ (よいです) 言うて ヤンナイ そか (そこは) つぼやもん (だから)。ヤンナイ 言うて そおヤンナイ 言うて。

**やんない** 1) あげます。2) あげるのに。

…**やんない** …だろう。やんな参照 (志 (布施田))

…**やんに**、**やんにい** です。ですよ。[会話] そお ヤンニ 言うて、ですよ 言うよおな、そおやに 言うて そおです 言うのを、そおヤンニとか こおやに 言うてな。

**やんに**、**やんにい** あげます [会話] やるに (あげます) 言うのをな ヤンニ 言うてな。ヤンニイ 言うて “い” つける人も あんなあ (有ります)。これ ヤンニイ お前に 言うて やるわい (あげます) いや (言えば) ええのん (よいのに) ヤンニイ 言うて。

**やんね** 1) あげるのです。するのです。2) でしょう。(張) [会話] ① あれん (彼に) ヤンネ。こればな (これを) おや (俺は) まあいなんよって (要らないから) 言うてな。くれてやる 言う事な、あれん (彼に) ヤンネ言うて 要らんよって 言うてな。

**やんねけど** やるのだが。与えるのだ。[会話] 此れをやるのだが 言うのを これヤンネケド やらなはさんねけど。

**やんねけど** するのだが

**やんの** 1) あげるのです。やるのです。(安、北) 2) するのです。[会話] ① こや (これは) まあ あれん (彼に) ヤンノ 言うて。あれん (彼に) やろ (やろう) おもて (思って) きめて (決定) しとるもんで (しているのです)。こや (これは) なとすんねどい (どうするのですか) てや (と云えば)、こや (これは) まあ あれん (彼に) ヤンノ 言うて。

**やんやん** 1) 激しく催促するさま。(桑市) 2) 急ぐさま。(志 (布施田)) [会話] ② ヤンヤン言うて いたれ (行った) 言うて。いそんで (急いで) いたり

(行ったり) 来たり するとなあ まあなあ 忙しそ  
ん (そうに) ヤンヤン言うて いた (行った) 言うて  
な。 1) 催促すんのに (するのに) ヤンヤン 言うて  
突つかれて 言うてなあ。

**やんやん【感嘆詞】** 櫓拍子。やんえやんえ参照

**やんわり (やんはり)【副詞】** 物静かに。柔らかく。や  
あわり [会話] 声でも ヤンワリ 言うると (言  
っていると)、猫なで声や (だ) 言うて。